



# 共同図書館事業報告書

2011>>>2013

愛知県立大学>>

愛知県立芸術大学>>

愛知淑徳大学>>

名古屋外国語大学>>

名古屋学芸大学>>



# 目次

共同図書環事業について 事業の概要、実績、構築、運営管理、成果、課題、考察	i
--	---

## 第1章 連携校図書館長からの報告

「5大学共同図書環」—平成26年度からの親密で効果的な連携を求めて・・・	1
愛知県立大学 学術研究情報センター長 鶴殿悦子	
「共同図書環の成果」・・・	3
愛知県立芸術大学 芸術情報センター長 松野 修	
「学生が参加する図書館づくりをめざして」・・・	4
愛知淑徳大学 図書館長 垂井洋蔵	
「共同図書“環”の新しい地平へ」・・・	5
名古屋外国語大学・名古屋学芸大学 図書館長 塩見治人	

## 第2章 実務責任者からの報告

「変化の時代を生き抜くための読書」・・・	7
愛知県立大学 学術情報部共同図書環 事務局 大仲聡子	
「愛知県立大学と『共同図書環』事業」・・・	9
愛知県立大学 学術研究情報センター 荻田政範	
「愛知県立芸術大学図書館と共同図書環の3年間」・・・	10
愛知県立芸術大学 芸術情報センター 中島 圭	
「愛知淑徳大学における共同図書環事業について」・・・	11
愛知淑徳大学 図書館室長 武藤まり子	
「第2フェーズを終えて思うこと」・・・	12
名古屋外国語大学・名古屋学芸大学 図書館課長 守田正江	

## 第3章 共同図書館 資料編

### 実績

平成23～25年 3か年の共同図書館事業実績一覧	13
--------------------------	----

### 関係者名簿

	25
--	----

### 蔵書構築

・選書方針	26
・共同図書館購入状況	27
・蔵書報告	28

### 統計

・Tosho Ring 利用統計	30
・Tosho Ring 利用者ID登録数	31
・共同図書館貸出冊数推移	32

### 企画

・学生選書ツアー	33
・ID登録記念式	36
・トリ キャラクター名称募集企画	37
・先進事例調査 (名古屋工業大学、中部大学、愛知工業大学、金城学院大学)	38
・BOOK PARTY	41
・共同図書館巡回展示企画 実施報告	46
・共同図書館事業5周年記念講演会 (諏訪哲史氏講演会)	63

### 発表

・発表 (研究会・掲載)	73
・第15回図書館総合展 ポスターセッション出展	74

### 広報

・新入生向け案内	76
・Tosho Ring News	77
・BOOK PARTY 冊子	90
・学生編集広報物	91
・新聞記事	92

## 「共同図書環事業」について、

平成 20 年度文部科学省戦略的大学連携支援事業「共同図書環（館）のネットワークシステムの構築と新たな教養教育プログラムの開発」を第 1 フェーズとして補助事業期間の平成 20 年～22 年度に、愛知県立大学、愛知県立芸術大学、愛知淑徳大学、名古屋外国語大学、名古屋学芸大学（以下連携校という）で取り組み、平成 23 年度からは第 2 フェーズ「共同図書環事業」として事業継続している。連携校の図書館にて自立的運営に移行して活動している。

連携校の図書館が既存の蔵書とは別に共同購入した教養書・専門書・一般書など約 16,000 冊の貸し借り、巡回展示、BOOK PARTY など様々なイベントを実施している。そして Tosho Ring（連携校で共同蔵書を構築し、運営するネットワークシステム）は、図書検索だけでなく、書評投稿・図書情報交換・図書交流を可能とした。

共同図書環事業は、従来の大学図書館活動を超えた公私立の連携 5 大学との共同購入した図書を媒介とした活動である。



## 共同図書環事業について

### 共同図書環事業の概要

連携校：愛知県立大学、愛知県立芸術大学、愛知淑徳大学、名古屋外国語大学、名古屋学芸大学（公私5大学 4図書館）

対象者：連携校学部生、大学院生、教職員

実施期間：平成20年10月～平成26年3月

準備期間：約1年

実施場所：愛知県立大学学術研究情報センター

担当職員：専任事務局職員1名（司書）、（兼任システム担当1名）

準備の概要：独自の図書館システム開発、人材確保、機材・備品・図書購入、諸手続き

広報：掲示物（館内・館外）、図書館ホームページ、メール、グッズ配布

費用：1億4,432万7000円

用途内訳：平成20年度 36,427,000円（文部科学省補助金事業）

平成21年度 45,000,000円（文部科学省補助金事業）

平成22年度 38,000,000円（文部科学省補助金事業）

平成23年度 8,000,000円（連携校分担金）

平成24年度 8,000,000円（連携校分担金）

平成25年度 8,000,000円（連携校分担金）

教養図書を中心とした教育資源の共同利用を通じて、人的交流をはじめとした地域大学の連携強化を図ることを目的とした。

### 共同図書環事業の実績一覧

#### ① 共同図書環の構築

共同図書環事業は、平成23年度は「魅力ある共同図書環」、そして平成24・25年度は「魅力ある楽しい共同図書環」をコンセプトとして、共同図書利用促進・読書推進のために下記各種企画実践・広報を展開し、共同図書の貸出と書評投稿、学生交流を図ることとした。

- 1) 連携校図書館での共同図書購入・共同管理による図書の貸出
- 2) 図書取寄せサービス
- 3) 書評機能
- 4) 学生選書ツアー
- 5) BOOK PARTY（図書交流会・冊子発行等）
- 6) 共同図書巡回展示、同関連事業等（年度テーマ設定による図書展示活動展開）  
各種団体との協働・協力（日本赤十字社、JICA、あいちトリエンナーレ）
- 7) 利用者ID登録記念イベント
- 8) 事例調査・見学・職員交流

- 9) 外部資金申請、講演会・演奏会
- 10) Tosho Ring News 発行(機関誌)

## ②事業の運営管理

- 1) 各種会議
- 2) 運営サポートサイト
- 3) 先進事例調査・見学・職員交流
- 4) 広報活動

## 共同図書環事業に係る具体的な実績

### ①共同図書環の構築

- 1) 共同図書環の蔵書構築においては、学生選書ツアーなどの学生や教員が参加する様々な取組を実施した結果、約16,000冊のベストセラー小説や文芸書など多様な学生のニーズに応じた蔵書を構築することができた。
- 2) 共同図書蔵書は、平成23年度1,901冊、平成24年度2,043冊購入し、平成25年度1,266冊増加した。図書取寄せ依頼冊数は平成23年337冊、平成24年度237冊、平成25年度は171冊となり、連携校間の図書取寄せ受付館による送料負担として問題なく定着した。
- 3) 前年度からの利用実績ある学生に加えて、新入生への入学時の配布資料に共同図書の利用案内を封入したこともあり、利用者登録数は6,438名となり、それに伴い共同図書の総貸出冊数もシステム運用前を含めると合計53,000冊を超える高い利用率となった。利用者ID登録数は平成23年度1,136名、平成24年度1,110名、平成25年度1,005名、貸出冊数は平成23年度11,432冊、平成24年度10,482冊、平成25年度9,422冊、Tosho Ring への書評投稿は平成23年度100件、平成24年度265件、平成25年度68件であった。
- 4) 愛知県立芸術大学では、平成23・24年度教養教育講義の1教員の Tosho Ring 活用授業として書評投稿などの読書活動による成績評定方式を導入している。学生選書ツアーは愛知県書店商業組合の協力を得て、平成23年度はちくさ正文館書店でバスツアーとして35名・359冊選書、平成24年度は三省堂書店 JR名古屋タカシマヤ店11階では23名・292冊選書し、平成25年度も同書店にて28名・392冊選書した。利用者のニーズそして連携校の特色ある選書方針に従い資料収集・蔵書構築を行い、そして利用者の満足度を高める蔵書と読書に有効的な書評活動や交流 (BOOK PARTY) の提供を連携校とともに活動した。
- 5) 共同図書の利用が進んだことにより、連携校図書館の利用も促進されるといった連動した効果も見られた。大学連携事業での外部評価では、学生の選書に対する意識、参加意識への意欲向上、図書への興味の喚起、書評を書くことで文章力の育成になるなど、学生の基礎教育としての効果は高いと評価されていたため、学生選書ツアーを継続し、

BOOK PARTY・同冊子制作へと発展させた。

BOOK PARTYは平成23年度後期に2回、2大学で開催し、のべ合計23名参加し、紹介図書は3冊であった。平成24年度は年間4回、3大学で開催し、のべ合計50名が参加し、紹介図書は合計82冊であった。平成25年度は3回、3大学で開催し、のべ合計27名が参加し、紹介図書は合計54点であった。**BOOK PARTY 1**は名古屋外国語大学・名古屋学芸大学で「おススメの一冊」をテーマに開催し、図書紹介後はお茶会をコミュニティプラザで開催して、図書情報交流ばかりでなく、図書を媒体とした学生の交流がなされた。**BOOK PARTY 2**では、愛知県立大学サテライトキャンパスにて「新入生・新生活応援の一冊」をテーマとし、春季休業中ながら開催した。**BOOK PARTY 3**は、学生選書ツアー後に選書図書を書店から借り出し、愛知県立大学サテライトキャンパスに移動して、本日選書した「おススメの一冊」を紹介した。**BOOK PARTY 4**は、愛知県立芸術大学にて「夜の図書館@県芸大：こわ〜い本」を図書館の夜間開館時間に開催した。室内を暗くし、懐中電灯で本を照らしながら紹介するという特殊な試みを行った。**BOOK PARTY 5**は、愛知県立大学の元学食を活用して「もぎもぎ秋の本祭り：おいしい本」を食べ物画像とともに紹介した。**BOOK PARTY 6**は、愛知淑徳大学星が丘キャンパスの交流ラウンジを活用して「一目惚れ、」図書装丁紹介を行った。平成25年度からは企画委員を各連携校で構成し、企画・運営・開催し、他連携校へ開催案内を行っている。そのため標記を2013BOOK PARTY@大学名とした。そして連携校の特色を活かしたテーマや広報を促した。

2013BOOK PARTY@愛知県立大学長久手キャンパスでは「自然・人」をテーマとして、見晴らしの良いラウンジで開催し、冊子にはマスコットを活用した物語を連載している。同@愛知淑徳大学星が丘キャンパスでは「ミステリー」をテーマとして、図書館ボランティアが組織的に活動協力した。同@愛知県立芸術大学では「da capo (ダ・カーポ)」と題し、繰り返し読む図書の紹介をした。各BOOK PARTYでは紹介図書コメントを冊子として編集・発行、HPにて公開した。また連携校では、この冊子を紹介図書とともに展示に供し、読書活動を紹介した。

- 6) 平成23年度には、東日本大震災において絆・命を全体として考えようと、共同図書展示テーマ「私たちにできることは何か？」として東北と震災に関する図書を展示した。平成24年度は、前年度の共同図書展示テーマを継承しての「つなげる“いのち”ワタシがダレカを救うとき」という共同図書巡回展示を新たに行った。これは図書を通じて医療の基礎情報・知識習得そして奉仕・福祉的・人道的活動のための機会を設け、連携校の学生が各自で考え、行動しようとする共同図書巡回展示を展開した。また同企画の関連事業団体として、日本赤十字社（以下日赤という）の協催を得、献血活動に関する資料配布・DVD上映会・BOOK TALK・献血活動協力等を行い、人道的協力活動・医療支援の啓蒙と同時に具体性を促した。平成25年度は、さらに前年度のテーマを発展継承して「世界へ踏み出す最初の一歩〜地球市民になる〜」として多角的な視点を身

に付け、幅広い分野にまたがる普遍的な知の習得目的とした。同企画の関連事業団体として、独立行政法人国際協力機構 JICA 中部と協力して国際協力・国際貢献・フェアトレードに関する資料を配布・掲示・展示等を行い、連携校図書館での巡回展示を行った。連携校から巡回展示の主題、テーマ名称、巡回意義の意見を出し合い、展示用図書を選書そして展示日程・期間の調整を行った。併せて「あいちトリエンナーレ2013」のパートナーシップ事業として協力をする事もできた。

- 7) Tosho Ring ID 申請が平成23年10月には4,000人、平成24年9月には5,000人、平成25年7月には6,000人を達成した。名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館にて、ID 登録者記念式を執り行った。平成24年度の5,000人目は名古屋外国語大学への中国からの留学生であった。日本語の現代小説読書で共同図書を利用しており、留学生への日本文化・日本語学習・趣味読書としての一助を担っているともいえる。
- 8) 先進事例調査として、平成23年度には名古屋工業大学（名古屋市昭和区）において、図書館での書架デザイン学生コンペについての視察見学を行った。平成24年度には、中部大学（春日井市）で、図書館相互利用、講演会、学生選書ツアーについて。愛知工業大学（豊田市）では、イメージキャラクター視察見学を行った。各事例は本事業において大変有効な調査となった。平成25年度には金城学院大学（名古屋市守山区）にて書評活動・学生ボランティア活動の事例調査を行った。近隣大学の事例調査は、公私立大学の垣根を越えた参加職員交流の場を可能ともなった。
- 9) これらの視察見学を基に外部資金・助成事業申請を行った。平成23年度には公益財団法人田島記念大学図書館振興財団へ「学生公募による共同図書環展示用書架新設デザインコンペ」を申請した。平成24年度は公益財団法人大幸財団へ地域の学術文化振興助成として「共同図書環5周年記念講演 変化の時代を生き抜くための読書 諏訪哲史氏講演会」を申請し採択された。（同企画もあいちトリエンナーレ2013パートナーシップ協力）
- これにより平成25年9月28日に、同講演会を名古屋外国語大学・名古屋学芸大学中央図書館にて開催することができた。この講演会では読書啓蒙・図書情報交換・大学間の交流を図る目的であった。同講演会を通じ、連携校の学生・教職員への日本語・外国語・小説・読書についての作家視点でのリアルを説くことにより、日本語言語芸術のより深い読書方法を啓蒙することができた。そして大学の教職員が学生読書活動についての更なる理解と支援のための効果が示唆された。また講演会後には同校の全面的な協力により学生・教職員の交流会が実現された。このことは向後の大学間連携・交流の有効性・好影響が期待される。
- 10) Tosho Ring News は平成23年は6月より隔月にて年5回発行、平成24年度からは季刊にて年4回発行してきた。連携校の図書館内で掲示・配布され、HPにも掲載した。その内容は、利用者登録数、共同図書巡回展示報告、連携校図書館探訪と称し、図



書館の構造・装飾品・司書による図書紹介などを掲載した。本誌は環（リング）や水玉を基調として季節や連携校ラベル色にリズムを付け、本事業のコンセプトとしての明るい楽しさ「魅力ある楽しい共同図書環」を印象付けるデザインとした。

## ②事業の運営管理

- 1) 平成23年度は5大学学長懇談会を4回、図書部会を1回、実務者会議を1回開催した。連携校見学、事業報告等を行った。平成24年度は5大学学長懇談会は実施しなかった。事業を実施するための図書部会を3回、実務者の情報交換会を1回、そして事務局の連携校訪問を数回実施した。継続事業の共同図書環事業報告と継続事業3か年後の展望、共同図書環運営や共同図書の利用促進、学生参画に向けた活動、次年度計画などについて意見の交換を行った。平成25年度は図書部会を事業の方向性の協議のため4回実施した。連携校での会議開催は図書館のみならず大学見学も行うことができた。そして5大学学長懇談会を開催し、3か年の事業報告を行った。
- 2) また共同図書環事業運営サポートサイトを通じての意見交換、情報提供・交換、資料の共有を進め、活発な事業を推進した。
- 3) 連携事業成果の普及と事例交流のため、先進大学の事例調査・見学や同様の観点で取組んでいる大学を訪問して情報収集を進め、年度事業への反映や検討材料に活かした。
- 4) そしてマスコミ、学生企画出版や図書館広報誌への情報提供・取材協力等では、効果的な画像・チラシ・ポスターを提供し、積極的に本事業の広報活動を展開した。

## 共同図書環事業の成果

### ①利用促進

一般教養書を中心とした図書の構築により、貸出数の増加、図書館の利用者の増加、学生の図書館ボランティア活動への関与することを可能とした。学生視線の企画を展開した学生参画の意義は大きい。

### ②交流とネットワーク化

連携校の学生間での図書を通じた交流が促進し、書評を通じて相互に刺激しあう関係が構築された。

### ③大学図書館サービスの充実

学生視点での蔵書構築や学習環境の整備、展示手法、アクティブな事業展開など、連携校図書館の業務への刺激となり、その成果は随所に継承されている。

### ④大学図書館の連携

資料交換だけでなく、人的交流（学生・教職員）を可能とした。連携することにより、ひとつの図書館ではできない企画を実施可能とした。各連携大学の特色を活かした企画運営も可能とした。他大学との交流・連携企画は、学生への好影響・好刺激となるため、連携の意義は大きい。そのためには連携校と定期的な会議を必要とし、信頼を確保して情報を共有し、意見交換・調整して企画運営に反映させる必要がある。

## 共同図書環事業の課題

- ①共同図書環の各種サービスが、大学図書館の本来業務に継承されつつあり、重複し合理的でなくなってしまった。
- ②本館と共同図書環で異なった図書館システムを併用するため、利用登録、貸出、返却が職員にとって煩雑となったので、手続き・作業上の簡略化が必要。
- ③事業終了後の、共同図書の大学図書館蔵書への取り込み問題。
- ④システム維持の保守費用やセキュリティ対応の問題が発生する。

## 共同図書環事業の考察

共同図書環が学生に定着したのは、各連携校の協力により、新入生への入学時の配布書類に利用案内を封入したことも一助と考えられる。こうした連携校の協力・協働により新入生の利用登録を可能とした。一般教養書を中心とした蔵書構築による図書貸出増加、図書館活動への参与等は図書館利用促進に繋がった。また書評活動として活用授業、書評投稿、BOOK PARTY 書評は、図書を通じた交流とネットワーク化の構築といえる。

平成23年度認証評価結果において、「学生に読書をすすめるなど様々な形で自発的な学習の支援をしている」と優れた点として評価された。それを踏まえ平成24・25年度の共同図書環事業では、図書館の発展に寄与することを目指し、平成23年度の「共同図書展示」を連携校での「共同図書巡回展示」としてテーマ継承し発展することができた。これは共同図書の活用とともに独自の展示存在として、平成24年度は日本赤十字社との協働、そして平成25年度は独立行政法人国際協力機構 JICA との協力をを行い、学生の自らの意思によって社会的貢献・社会的存在・国際的意識を止揚しようとする自主的な努力の支援に結びついた。大学図書館の評価における学習支援とともに、本企画は大学の社会的責任としての支援を連携校とともに可能とした活動として社会的有用性が高いといえる。

共同図書環事業は図書を媒体の発展的図書館活動を担う効果として、公私立大学の境界を越えて発展し、連携校との図書・図書館による講演会・学生交流活動が読書啓蒙、図書情報交換として人材育成・生涯教育の機会を提供することができた。生涯学び続け主体的に考える力を持つ人材を育成する環境の形成の図書館として、活力ある読書・大学間連携を目指した活動となることが示唆される。

こうした共同図書環事業の学生視点での蔵書構築や学習環境の整備、アクティブな展開の取り組みは各連携校図書館業務への刺激となり、その成果は連携校図書館業務の随所に継承されつつある。この質保証は、連携校が自主自立を堅持しつつ、関係者が連携しつつ、社会に対する取るべき大学図書館の連携責務として、今後一層の努力が重ねられることを望む次第である。

共同図書環事業事務局

共同図書館事業

平成23～25年度

# 事業報告書

愛知県立大学

愛知県立芸術大学

愛知淑徳大学

名古屋外国語大学

名古屋学芸大学

# 第一章 連携校図書館長からの報告

〈連携校図書館長〉

愛知県立大学 学術研究情報センター長

鵜殿悦子

愛知県立芸術大学 芸術情報センター長

松野修

愛知淑徳大学 図書館長

垂井洋蔵

名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館長

塩見治人

## 「5大学共同図書環」——平成26年度からの親密で効果的な連携を求めて

愛知県立大学 学術研究情報センター長 鶴殿悦子



平成25年4月から、愛知県立芸術大学、愛知淑徳大学、名古屋外国語大学、名古屋学芸大学の5大学4図書館の図書館関係者が4回にわたって集まり、26年度からの連携の形について話し合ってきた。一年間の議論の末、来年度からお金のかからないソフトな協力関係を続ける、という結論を得ることができた。輪番制の当番館を決め、6年間続いた「共同図書環」の理念を継承し、相互に協力してより良い図書館サービスを目指すことを合意した。

6年前の平成20年4月、愛知県立大学が発案し、文部科学省の戦略的大学連携支援事業の「共同図書環(館)のネットワークシステムの構築と新たな教養教育プログラムの開発」として、5大学連携は始まった。加藤義信元学術情報センター長(愛知県立大学)によると、事業の企画段階で、図書館職員・教員が一緒になってブレインストーミングし、様々な斬新なアイデアを出し合ったという。その結果、3年計画で1億5千万円という大規模な補助金を獲得することができ、それを使って、5大学で共同所有する教養図書の構築、学生による選書、学生間での書評、5大学を繋ぐ独自のネットワークシステムの構築等を遂行した。

公的補助金の3年間の23年度末、5大学学長が合議し、資金を拠出しあってさらに3年間事業を継続することを取り決めた。佐々木雄太前愛知県立大学学長はその時のことを以下のように書かれている——  
「支援事業の大きな問題は、所定の年限の助成金が切

れた後の対応である。とりわけ複数大学の共同事業ともなれば、継続について合意を形成することは必ずしも容易ではない。しかし、これも杞憂であった。」この取決めを受けて、各図書館で、システムの維持、図書の購入、事務局の運営のために同額の拠出を行い、23年度～25年度の3年間の運営を行ってきた。本年度がその最後の年に当たるため、26年度以降をどのように運営していくかを取り決める必要があった。

3年前、水谷修前名古屋外国語大学学長は、「この事業が3年で終わってしまうことがあっては大きな損失となる(中略)さらに意義のある活動を深めていくためにも第2期、第3期の計画を用意すべきである」と書かれた。私たちは、本年1月の図書部会で、この連携を「5大学共同図書環」と名付けることとし、次年度からの計画をおおよそ次のように合意した。

- 1) 図書を媒介として相互に協力する体制を維持し発展させる。
- 2) 教養教育の充実のために情報交換を行う。
- 3) 学生が主体となって企画し実施する図書館活動をサポートする。
- 4) 当番館を決め、一年に一度全体会議をもち協議を行う。

連携事業当初の内容に比べたら、細々としたものに見えるかもしれない。磯見輝夫前愛知県立芸術大学学長は、今後の展開のためには、「それぞれの大学が得意とする分野や特徴をどう結びつけることができるか、それが鍵となろう(中略)連携にはそれぞれの大学に対する理解が必要だろう」と書かれている。6年間続いた交流の後、他連携大学への理解は当初に比べたら比較にならないほど深まっていると思う。私に関して申せば、この一年連携大学図書館を見学させていただき、それぞれの図書館が限られた予算の中で、学生のために地道で良心的な努力を続けていらっしゃることに感銘を受けた。こうした努力をされる方々と連携していただけることはたいへん光栄なことである。築き上

げた信頼関係を礎にし、規模は小さいけれども、より親密で効果的な連携を実践することができれば、各大学の学生にとって大いに利益となるはずである。

---

## 共同図書環事業の成果

愛知県立芸術大学芸術情報センター長 松野 修

---



正直に申しあげる。当初は誤解していた。2013(平成25)年4月、本学の芸術情報センター長(図書館長)を命じられ、その直後に共同図書環事業についての概要説明を受けた。そのときにはこの事業の意義がよく理解できず、会議の場で見当ちがいな意見を述べたこともある。

その後、この事業に関する毎年の報告書を読み、改めて本学の図書館を案内されて…慌てた。例えば、報告書にある「登録者数」、「貸出冊数」などの指標を通覧すると、本学の実績数は他大学と比しても概ね半分程度に収まっている。しかし今指摘した実績数を学生総数で割り算した場合、つまり「学生1人あたりの利用頻度」は、本学は他大学の数倍に達していることになる。つまり、この事業から最も恩恵を受けた大学は、ほかならぬ本学なのであった。誤解していた。

本学にとって事業の効果が大きかった背景を明らかにしたい。まずは本学の規模である。この事業は本学含め3法人5大学が連携しているが、本学の学生総数は約千人と連携校中で最も規模が小さく、図書費も他学とは比較すらできない程度のものである。図書館の本は学生各自に平等に配分するものではなく、1人あたりの費用は同じでも、本学のように小規模図書館では当然蔵書が貧弱になる。しかしこの共同利用制度のおかげで5大学分の図書が利用可能となり、本学の規模からいけば数年分にも相

当する図書を多くの学生の利用に供することができた。

次に、本学図書館の蔵書構成も大きく関係している。本学の図書館のばあい、所蔵資料の多くは芸術関係の雑誌、専門書、楽譜に集中している。その反面、あまりに芸術に偏っていて教養関係の蔵書が決定的に不足している。この場で教養教育の重要性を改めて強調するまでもあるまいが、共同図書環事業は教養関係書の不足を補完する重要な契機になったことを報告しておく。

本学に進学してくる学生の中には高校時代に音楽科や美術科に在籍していた者もいる。いきおい普通科の卒業生とはちがって、一般常識すら身に着けることなく大学に進んでしまった学生もいる。この共同図書環事業をきっかけに、細々とはいえ、教養関係の書籍を6年間蓄積できた意義は少なくなかった。

資料だけでなく、今後は事業で蓄積したノウハウを活かしつつ、この事業の利点を継承させることになろう。6年間を通じて、共同図書環事業の一環として学生に書評を課した授業もあったと聞く。本事業の本来の主旨を活かした取り組みとして高く評価したい。その他、選書ツアー、BOOK PARTY、講演会、巡回展示など大学間の交流については、特に戦略的連携支援事業の予算措置が切れてからの3年間は、本事業の専任スタッフ、各図書館のスタッフの献身的な努力があった。そのことは将来にわたって連携を継続するための重要な資源であり、この事業の、報告書に現れない大きな成果だと思っている。

## 学生が参加する図書館づくりをめざして

愛知淑徳大学図書館長 垂井洋蔵



平成20年度からの三年間の、文部科学省による戦略的大学連携支援事業の発展的継続として進められた、平成23年度からの三年間にわたる共同図書館事業が平成25年度をもって一応の終了を迎える。この機会に、この事業を振り返って、当初のビジョンをふまえて、得られた成果と、顕在化した将来への課題について考えてみたいと思う。

学生の教養教育に資するため、従来の図書館の相互利用サービスから一歩進んで、図書が共同図書館の間を活発に移動して、あたかも一つの仮想図書館のように学生達が図書検索や貸出しできるシステムを構築し、将来的な地域の5大学図書館のより緊密な連携を目指す上での実験的な試みが行われた。この事業の中で、連携5大学の特色が、選書の傾向にあらわれ、本学が今までカバーしきれていなかった分野の学生教養図書がリストアップされ、本学学生の興味と読書の幅を広げる上で効果があった。従来の相互利用サービスでは、図書を実際に手に取ってみることが簡単ではなかったので、この図書が循環する、「図書環（リング）」の仕組みは新しく、成果も大きかった。ただ同時に将来に向かっての課題も浮かび上がって来た。

現状では各大学図書館の間のシステムの違いや、受け入れ形態が異なる図書を他の所蔵資料と同等に扱えないという点から、全く別の仮想図書館システムを構築せざるを得ない。このことは本学図書館の

中に別の管理システムによる図書が混在するという煩雑さを産み、本事業による蔵書数がふえることにより業務上の影響が無視できなくなっていく傾向が見られる。遠い将来のビジョンとしては、連携大学の図書館の資料を統合的に管理、利用できるサービスを構想することもできるが、その前に、まず本学図書館が当面解決しなければならない、さまざまな課題が多くあり、これは他の連携大学図書館も同様であろうと思う。

こうした図書館の連携事業と同時に、各大学の学生間の図書を介した交流、共同作業が行われ、本事業を通しての、この分野での成果がより大きかったと言える。「選書ツアー」「BOOK PARTY」等従来の図書館サービスの中では聞き慣れない学生参加型の活動が紹介され、活発な学生参加があった。

本学では、平成22年度から、本事業と並行する形で、図書館学生サポーター「Lib Mates」が創設され図書館や本好きな学生達のグループが、この共同図書館事業のさまざまな学生参加型の活動に加わることによって成長し、本学図書館のサービスの向上、学生が図書館を身近に感じる企画づくりに活躍してくれている。大学図書館はこれから学生にとって「利用する図書館」だけでなく、学習支援の場として、「参加する図書館」として、本を通して学生が成長する場所としての役割が重要になると思われる。

本事業を通して得られたこうした成果を生かして、学生交流の場としての連携図書館の役割はこれからも重要であろう。



## 共同図書“環”の新しい地平へ

名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館長 塩見治人



われわれの共同図書“環”は、共同図書環の構築を目指すばかりでなく、17の教育プログラムを立ち上げて、講座、講演会、シンポジウム、合同キャリア教育の開催、教育用映像ソフトの開発、さらに地域を巻き込んだ「長久手学」の試みにまでにおよぶ地域大学連合のスタンスを持つものであった。いま、この部局横断的な事業を、図書館を起点とした学習や学習支援へ集約して5大学交流の財産を継承して行こうすることは、図書館長として立場からは、積極的な意味を持つように思われる。この視座から課題を少し述べておきたい。

私がどの授業で調査しても、図書館利用者である学生は「新聞をまったく読まないが8割」、レポートを書くのに利用するのは「インターネットが8割、図書館は3割（複数回答）」である。どの大学でも一般化した「活字離れ」「図書館離れ」「新聞離れ」による図書館の空きスペースに「ラーニング・コモンズ」が入り込んできている。私は過去5年間図書館運営に携わり、あらゆるレベルの図書館会議を経験してきたが、そのいずれの会議も主要テーマは例外なく「ラーニング・コモンズ」だった。従来の図書館サービスにくわえてグループ学習室やパソコン室の拡充、論文やエントリーシート書き方指導、カフェやビオトープの設置、さらには寝転んで読むクッションのある空間の必要・・・などなど、キャンパスにおける「多機能型の知の拠点」を目指す将来

像を議論してきている。最近では、「うちは何平米の広さを確保している」と図書館の成熟度を競い合うようになった。1990年代の図書館情報化にかわる明確なムーブメントであるといえる。

しかし忘れてはならないのは、今日でさえも図書館のコアは《ブック形式》の情報媒体だということである。電子媒体は確かに長期保存性、空間節約性、多角的即時検索性において抜群で、辞書、百科事典、古文書などの領域に浸透していくとしても、他の領域では《ブック形式》は携行性、一覧性、反復性などにおいてまだまだハイテク媒体ではないのだろうか。私はむしろ、書架に本を並べておいても、本の世界に近づこうとしない多くの学生たちへ、本の世界の魅力、その広がりや深さを伝える《発信力》がいま新たに図書館に問われているのではないかと思うのである。《発信力》すなわち学生吸引力へのビジョンを少し指摘してみたい。それはテーマをもつことに約言できるかもしれない。

われわれの共同図書“環”の蔵書構築ポリシーは、シラバス対応の教養書の選書から始まり、専門書へも進んだ。5大学の多様な学部・学科でのシラバス対応がなされれば、それを連ねて豊かなライブラリーになると想定されていた。しかしそれでは通常業務の選書活動と何ら変わらないのではないか。つぎのステージでは、5大学の学部・学科に横グシを入れる独自性をもった選書のテーマを設定して、そのテーマに多学部・多学科でアプローチし、学生たちがここでなければと頼れる独自性を持った蓄積にすることである。そのさら一步に踏み込む余地がある。そのテーマには、例えば、平安末期にはじまる<この地域のものづくり文化の伝統を辿る>、芸術・文化・産業・科学の<ポストモダンとは何か>、エネルギー問題をふくむ<地球環境問題の現状>、低開発国問題や共生社会にかかわる<フェアトレードの動向>などを考えたいのである。

これとの関連で、学生選書の活動は、これまでの書店で好きな本を自由に選びなさいでは、教育的でない。ここでも選書テーマを指定するか、シラバス対応という枠組みを与えて、学生が課題を考え、成長するためのひと工夫の必要があると思う。

図書館の良書推薦・読書啓発機能は重要である。私は、読書啓発パンフレット『大学というステージに立って ー 新入生への 10 選』『自分自身からのスタート 若い皆さんへの 10 選』、《生きる》をテーマに映画紹介パンフレット『まだ生きていなかった頃の名画たち 10 選』を作って配布し、図書館に実物を展示したことがある。好評で 7 割がいつも出払っていた。学生たちの多くはテーマを持って読書しているわけではない。しかし何かの機会に自分自身のテーマに気づいてくれたらと願うのである。もしその気づきを得られれば、私の経験からしても、あとは先生が要らなくなるのだ。人生を変えることもある。図書館の目指す気づきは 100 人うち 5~6 人でも十分過ぎる。目指すのは効率ではないと思う。図書館の使命は、ロスを覚悟で多面的でエキサイティングな機会を提供することであろう。

最後に、このように考えれば、われわれの共同図書“環”は「本の世界」のなかでの 5 大学の交流に拘りたい。毎年、統一テーマを決め、ブックトーク、シンポジウム、講演会のようなイベントを企画し、それを学生・教員間で共有していきたいものである。

## 第二章 実務責任者からの報告

《実務責任者》

愛知県立大学 学術情報部共同図書環事業事務局  
大 仲 聡 子

愛知県立大学 学術研究情報センター  
荻 田 政 範

愛知県立芸術大学 芸術情報センター  
中 島 圭

愛知淑徳大学 図書館室長  
武 藤 まり子

名古屋外国語大学・名古屋学芸大学 図書館課長  
守 田 正 江

## 変化の時代を生き抜くための読書

愛知県立大学 学術情報部 共同図書環事業事務局 大仲聡子



文部科学省による平成20年度戦略的大学連携支援事業の3年間を第1フェーズとして連携校とともに取り組んだ。平成23年度からの3年間を第2フェーズとして本事業は自立的運営・発展的継続としていたものの、事業縮小に伴い、運営経費の大幅削減が余儀なくされた。予算立てのない中、事務局として成果を得なくてはという焦り、新たな企画において発展性を模索、連携校分担金への連携成果還元という視点からの責務、相互連携のための使命遂行が重圧となった日々であった。

事業継続を通じて、一般教養図書を中心とした構築、連携校間の図書を媒介とした交流を開催（BOOK PARTY）、学生視点での環境整備・各種企画の展開を行うことができた。これらの成果により学生の図書館活動への関与等がなされ、相乗効果として利用率が増加したという報告を受けた。そして本事業での企画が連携校図書館の随所に継承された。しかしシステム保守のための再開発・費用問題、図書狭隘化問題等もあり、本事業は平成25年度をもって終結することとなった。

この6年間に築いた5大学4図書館の親密な関係を活かし、平成26年度からは第3フェーズとして「5大学共同図書環」を協力活動していくことと

なった。この行動計画は、図書を媒介として相互に協力する体制を維持し、信頼関係を維持して発展し、教養教育の充実のために情報交換を行い、学生が主体となる企画を実施する図書館活動を支援するものである。公私立大学の境界を越えて発展し、活力ある大学図書館活動として継承されたことは、事務局として大きなよこびである。

今日、深刻化する活字離れ・読書離れが危惧される昨今の状況を踏まえ、平成22年に「国民読書年」を制定し、国をあげ政官民協力の下、あらゆる努力を重ねることが宣言された。これは文字・活字によって伝えられてきた知的遺産を継承・発展させるためである。しかし学生自身がそれに気づくことは難しいことから、図書館司書として、学生が読みたいと思えるような読書環境整備を長時間の流れの中で支えていく必要性を感じた。電子書籍からの読書に加え、情報検索等のツールがデータベース、インターネットへの依存傾向となりつつある今、図書を読むことの意味がさらに問い直しされている。知の宝庫である図書館から自ら足りないものを補い、学生の柔軟な発想により、さらなる考える力を養って欲しい。足りないものを補う力を付けることにより、未来を切り拓いていく力となると考える。読むこと、学ぶことがどれほど面白く、可能性を秘めているかということに気づいて欲しい。

本事業展開において、私に何が出来るだろうか、どのように向き合うことができるだろうか、と常に自問してきた。連携校の実務責任者との会話からのヒントや助言は、運営事務局として大きな推進力となった。皆、図書を媒体とした読書の楽しみや活用する発想力を学生に見出して欲しい、学生の自発的活動を尊重して読書活動を支援するという考えであった。事務局として連携事業企画を練り、読書で

心を涵養させる環境や企画を実践できればと **Tosho Ring News** 発行、学生選書ツアー、共同図書巡回展示企画、BOOK PARTY、作家講演会等を実施してきた。

学士力向上・グローバル人材育成・生涯学習といわれている今日、学生時代から図書館を積極的に活用することができれば、人生の質を高めることも可能である。大学図書館の在り方を考察したとき、この変化する時代において、未来を切り拓き、生き抜く力を身につけさせるという視点で柔軟な発想・自発的学習の支援が重要だと考える。学生たちを社会へ、そして未来へ希望を持って送り出せる大学図書館・読書環境整備を進めていく上で、本事業での様々な企画の成果がその一助となることを願ってやまない。

## 愛知県立大学と「共同図書環」事業

愛知県立大学 学術研究情報センター 荻田政範



平成 20 年度文部科学省戦略的大学連携事業（「共同図書環（館）のネットワークシステムの構築と新たな教養教育プログラムの開発」）として 3 年計画で始まった本事業は、連携 5 大学の合意のもとさらに 3 年間の継続期間を経て、今回ひと区切りを迎えることとなった。今後はこの事業で培われた理念と連携関係を活かし、新たな活動方針に舵を切った形だが、今改めて振り返ってもこの「共同図書環」事業は、従来型の大学図書館サービスというものを見直す上で非常に革新的な試みだったと言えよう。大学図書館単館の枠の中では、成立し得ないサービスも、複数の大学間の連携という広がりを持つことによって初めて可能となることも証明した。また、連携校それぞれの特徴を生かした選書による蔵書の共同構築によって、目的である教養教育の観点に適いつつ、学生にとっても魅力的でユニークなコレクションが作られた。そうでなければ、本学においても、月平均 500 冊以上の高い貸出冊数を数えることはできなかったであろう。これは、本学 Tosho Ring 蔵書冊数の 1 割を超えており、貸出回転率の高さは、コーナーの書架の本を手取る時、高い利用の痕跡、傷み具合に実感として見て取れる。本学においては、大学図書館が持つ固い専門図書群の中であって、この Tosho Ring コーナーは、学生がある意味的に寛げる自由な読書空間でもあった。ソファ 4 台を配置し、思わず気軽に座ってブラウジングしたくなるように演出された雰囲気が学生を誘った部分はある。そ

れ以外にも、学生に Tosho Ring がこのように積極的に受け入れられた原因として考えられるいくつかは、まさに本事業の企画によるものでもある。「学生選書ツアー」によって、自ら図書館の蔵書を選書するという行為を通し、読みたい、あるいは読んでもらいたい図書を図書館に入れようという主体性を学生は持てたのではないか。その図書を媒介としての交流は、「BOOK PARTY」や、Tosho Ring サイトでの「書評」の共有という活動においてさらに顕著に活かされる。それによって学生が、大学図書館は自分たちと無関係に存在するのではなく、むしろ自分らも「知」という場において当事者であり、図書館運営や蔵書構築に参加できるのだ、という意識が芽生えたのだとしたら、図書館との距離感を縮めることに大いに貢献したと言える。また、この「共同図書環」事業が円滑に行われた背景として、事務局スタッフの役割を抜きには語れない。連携校間の調整、学生の指導、斬新な企画（巡回展示や講演会）の立案・実施など、各図書館側のできない部分を全て事務局が補完することによって事業が成立していたこともまた事実である。今後の活動は、事務局を設けず、図書を媒介とした交流活動に目的を絞って行われる。学生の自主性をどこまで伸ばしていけるかが今後の活動の鍵となると思われる。



## 愛知県立芸術大学図書館と共同図書環の3年間

愛知県立芸術大学芸術情報センター 中島 圭



愛知県立芸術大学は学生数1,000人程度の小規模大学である。小さいながら共同図書環ID登録申請数は毎年180～200人近くに上っており、学部・大学院の新入生数が300人程度であることから概算すると、実に6～7割の学生が共同図書環を利用している計算になる。また当館独自のアンケート調査によれば、本学図書館に来館する者のうち5人に1人は共同図書環の資料を目当てに来館しているという結果も出ている（平成25年度図書館利用者アンケートより）。

共同図書環は資料の魅力だけでなく、企画にも特筆すべきものがある。学生目線で図書館資料を選書する「学生選書ツアー」、テーマに沿ってお互いに本を推薦し合う「BOOK PARTY」、社会問題などをテーマに取り上げた「巡回展示」などであるが、どれも読書推進を基本理念とした訴求力ある企画であり、参加した学生の満足度は概ね良好であった。特に本学では、「巡回展示」企画において学生ボランティアと共に展示装飾を作り上げたり、日赤と協働で献血車の学内乗入を行ったりといった「共同」事業を実現することができた。3か年の共同図書環事業の活動が、当館を大いに活気づけるものであったことは、これら実績数値および取り組みの事例から読み取ることができるだろう。

もともと共同図書環事業とは、文科省による戦略的大学連携支援事業の助成を得てスタートした事

業である。ネットワークシステムの構築・教養教育プログラムの開発という趣旨で、名古屋市東部丘陵地帯の大学が平成20年度から3ヶ年の連携事業を行い、最終年の平成22年度、図書館活動のみを継続することが連携校学長間で合議された。

共同図書環事務担当として着任した平成23年度当時、愛知県立大学、愛知淑徳大学、名古屋外国語大学・名古屋学芸大学という中規模大学とともに共同で事に当たるには、本学の規模を考えるとあまりに不均衡であるとの思いがあった。だがその心配に反して、5大学4図書館の連携は非常に公正でスムーズなものであった。この連携校の関係性こそ、事業の最も大きな成果であり、今後ネットワークシステムが失われたとしても保持すべき理念だと考えている。

平成23年度から継続してきた共同図書環事業は間もなくシステムを停止するが、その終結に際し、各図書館はこの事業の「成果」と「課題」を実感しているのではないだろうか。これからの大学は独自の個性や特色を自覚し、自主的な連携によって地域社会の知的基盤となることが期待されている。それを支えるため大学図書館に必要なものは何か。当館でも、これからの大学図書館の理想形を考えるに当たり、共同図書環の成果・課題から学ぶことは多いと感じている。

最後に、このような事業に関わることができたことは本学にとって大きなプラスであったことを改めて述べておく。綿密な協力体制でもって関係性を構築した関係者各位に、深い感謝を申し上げたい。



LIBLAB 作業風景

## 愛知淑徳大学における共同図書環事業について

愛知淑徳大学図書館 武藤まり子



平成20年度文部科学省戦力的大学連携支援事業「共同図書環（館）のネットワークシステムの構築と新たな教育プログラムの開発」の継続事業として、「共同図書環事業」が平成23年～平成25年までの3年間の予定で事業が継続された。

この3年間は、共同図書の貸出・返却、取り寄せ、共同図書の選書などといった通常の事業のみならず、事務局を中心として立案された「学生選書ツアー」、「共同図書巡回展示」、「Tosho Ring News」（ニュースレター）の発行、「BOOK PARTY」、講演会など様々な企画が実施された。当館においても微力ではありましたが、企画の一端を担わせていただいた。

選書に関しては、初年度より大手新聞社の書評欄に取り上げられた図書を中心にした選書と準大手出版社の入門・啓蒙書のシリーズを揃えてきた。また、Lib.Mates に選書を依頼するなど学生目線の図書の購入も行った。学生からは入門書、当館が所蔵していない図書も多く利用しやすいと概ね好評であった。

「共同図書巡回展示」は展示期間が授業期間外（夏休み）ではあったが、POP、書評、キャラクターグッズなど利用者の目を引くものがあり、来館した学生達は展示図書を手にすることが多く、共同図書の利用促進に繋がったのではないと思う。また、職員からは他大学の展示方法など参考になったとの声が聞こえてきた巡回展示であった。

この6年間の事業を通じて当館にとっての大きな収

穫は、「図書館学生サポーターLib.Mates」の発足（平成22年）と「図書館〈書評〉大賞」を創設（平成23年度）したことである。

前者は他大学図書館の学生ボランティアの存在を知り、当館でも広報の一端を担う学生サポーターの募集を企画するに至った。今年度で4年目を迎え、Tosho Ring の活動にも積極的に取り組んでくれている。特に平成25年9月13日（金）開催の「BOOK PARTY @愛知淑徳 in 星ヶ丘」では事務局の助力を借りながらではあったが、企画・運営を自分たちの手で行ったことは、次の開催に向けて大きな自信となったのではないと思う。

後者は Tosho Ring は書評投稿ができるシステムであったので、当館でも図書館蔵書および共同図書を対象に書評を募集して優秀作品を表彰してはということで「図書館〈書評〉大賞」を創設した。いずれの企画も本事業にかかわることによって実現することができた企画であった。

本事業は平成25年度をもって終了することとなるが、この6年間の繋がりを活かし、「BOOK PARTY」等の企画を通じての学生同士の交流だけでなく、職員同士のネットワークも充実させていければと考えている。





## 第2フェーズを終えて思うこと

名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館 守田正江



「共同図書環事業」(平成23年度～25年度)は、平成20年度から始まった「共同図書環(館)のネットワークシステムの構築と新たな教養教育プログラムの開発」に続く「第2フェーズ」の位置づけであった。第1フェーズに比べ、その規模も予算も縮小され、連携各校の学長によるお墨付きと事務局担当者の行動力が頼みの綱と目され、一抹の不安を抱えてのスタートだった。

実際、事務局O氏の目の付けどころは鋭く冴え渡り、日本赤十字社や国際協力事業団とのコラボレーションなど、一大学の一図書館では到底切れないカードを何枚も提示してくれた。助成金の申請にもトライした。不採択もあったが見事採択もされた。そうした努力のおかげで、我々は学生や教職員に向け、興味や意欲を呼び起こすような様々なイベントを提供することができた。学生・教職員と図書館関係者の双方にプラスとなる得難い3年だったと言える。

しかし逆に、事務局の働きぶりに頼り切り、連携の意識の薄れが出てしまったことも事実である。BOOK PARTY や選書ツアーでの事務局の孤軍奮闘の活躍は、裏を返せば孤立無援だったからではないか。我々に甘えが無かったと言えるのか。反省すべき点である。

採択された助成金を活用し、平成23年9月に「諏訪哲史氏講演会」を本学図書館で行った。芥川賞

受賞という著名な地元出身作家を招く100名規模の講演会だ。準備に際し、事務局からは細かな段取りや助言・提案が次々と出され感心した。またマスコミを始めとする各方面への積極的な働きかけを目の当たりにすることで、効果的な広報のノウハウを教えられた。事務局によると、過去に主催した講演会での経験を蓄積した勘どころがあり提供したまで、とのことだった。だがこの時の経験が、すぐ「次」をひかえていた本学には非常に役立つこととなった。

同年10月21日から12月21日まで、名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館では「亀山郁夫全著作展～至福と共苦の旅」を開催した。名古屋外国語大学学長である亀山郁夫先生の著作を、書籍や雑誌に限らず、少年期の新聞掲載作文に始まり現在執筆中の原稿に至るまで全て収集・展示するという一大企画である。はるばる遠方からも多くの方々に来場いただき、成功裏に終了することができた。この展覧会を課員わずか5名の我が図書館で成し得たのは、諏訪氏講演会の貴重な経験が下地となり、そこから「出かけてみよう」と強く関心を持っていたくためにすべきこと」のイメージを膨らませ、形とすることができたからだ。広報活動を含め、経験が「次」の力になったと実感した。

経験の積み重ねは、当然ながら継続してこそ得られるものである。幸いにして、平成26年度から共同図書環は第3フェーズとして先に進むこととなった。大学では、数年という時間で学生も職員も多くが入れ替わる。人に頼る部分が多い以上、昨年まで上手くいったことが今年はまだ駄目ということもありうる。状況が変われば止めた方が楽かと思いがちであるし、続けるにはそれ相当の努力が必要となる。しかしながら図書を通じた諸活動において、大学間の競争はなじまず、むしろ協力が不可欠だ。人員増の望めない今は、まさに共同する時である。

## 第三章

# 共同図書館環 資料編

### 《資料編》

実績

関係者名簿

蔵書構築

統計

企画

発表

広報

## 共同図書環事業 実績

\*平成23年度\*

実施日	実施内容
4月～	新入生向け共同図書環広報活動 入学時資料封入配布、オリエンテーション・ガイダンス・図書館案内ツアー等でのチラシ活用、掲示、館内設置等
4月～（前期）	【愛知県立芸術大学】教養教育講義「外国文化史」（水野留規准教授）において、Tosho Ring 活用授業（書評投稿などの読書活動による成績評定方式）
4月～（通年）	【名古屋外国語大学・名古屋学芸大学】読書スタンプラリー Tosho Ring への書評投稿による景品（オリジナルメモ等配布）
4月1日 ～5月31日	【愛知県立大学】「学科・専攻の20冊」約240冊再展示（共同図書環コーナー） 教員が学生にむけて専門分野への入り口となる選りすぐりの各20冊を各学科・専攻ごと雑誌架に配架。学生の専門学習意識の向学心を高めた。
4月8日 ～5月6日	平成23年度 学生選書バスツアー企画委員募集
4月28日	「平成22年度 大学改革推進等補助金（戦略）実績報告書」集約・作成、文部科学省へ提出
5月10日	「平成20年度文部科学省戦略的の大学連携支援事業 実績報告書」発行、配布、事業用HP・愛知県立大学HP掲載
5月16日	平成23年度 図書発注等打合せ・感謝状贈呈（愛知県書店商業組合）（参加者4名）
5月17日	学生選書バスツアー学生企画委員会開催（愛知県立大学図書館会議室）（参加者10名） 学生の参加意欲を活かすために、バスツアーの企画運営について学生が主体に取り組んだ。
6月1日 ～6月30日	トリ キャラクター名称募集 共同図書環事業継承として愛称募集（応募者3名）
6月1日	「Tosho Ring News 創刊号」発行（名古屋外国語大学・名古屋学芸大学 取材）
6月1日 ～6月21日	学生選書バスツアー 募集
6月6日	平成23年度 第1回選書発注 【愛知県立大学】 職員選書 【愛知県立芸術大学】 教職員選書 【愛知淑徳大学】 日本経済新聞社書評欄より選書 Lib.Mates(図書館学生サポーター)選書等 【名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館】 職員選書
6月22日	学生選書バスツアー実施（ちくさ正文館書店） 学生選書バスツアー選書発注（参加者35名）
6月23日	中日新聞朝刊（なごや東版）に学生選書バスツアー記事掲載
6月24日	学生選書バスツアー企画委員会・反省会（愛知県立大学図書館会議室）（参加者5名）

## 【共同図書環事業】

6月28日	2011年度 東海地区協議会第1回研究会（名古屋学院大学名古屋キャンパス白鳥学舎） 研究会参加・図書館見学 (参加者1名)
6月29日	Japan Knowledge フレンドセミナー2011（キャッスルプラザ）講演会参加（参加者1名）
7月7日	第18回東京国際ブックフェア（東京ビッグサイト）専門セミナー参加（参加者1名）
7月7日	【ToshoRing システム】サーバ証明書更新
7月12日	中日新聞朝刊「学生之新聞」に学生選書バスツアー記事掲載 (学生選書バスツアーの学生企画委員記事採用)
7月22日	「トリ キャラクター命名記念式」（愛知淑徳大学星が丘分館） (参加者3名)
8月1日	「Tosho Ring News 第2号発行」（愛知県立芸術大学 取材）
8月5日	「平成22年度 大学改革推進等補助金（戦略）実績報告書」確認事項回答 文部科学省へ提出
夏季休暇中	【愛知淑徳大学】共同図書新着図書一部をテーマ展示コーナーに展示
7月11日 ～9月30日	【名古屋外国語大学・名古屋学芸大学】共同図書環資料の学生選書募集 「この本を図書館に！！」
8月17日～	共同図書展示企画「・・・私たちにできることはなにか（東日本大震災関係）」 【名古屋外国語大学・名古屋学芸大学】63冊展示（1階カウンター前展示コーナー） 【愛知県立芸術大学】28冊展示（2階閲覧室共同図書環書架横）
8月17日	「国公立私立大学を通じた大学教育改革の支援事業」の各公立大学における継続事業の実施についての照会を公立大学協会事務局へ提出
8月19日	「大学図書館の整備について（審議のまとめ）変革する大学にあって求められる大学図書館像一を受け、各大学図書館の参考になると思われる先進的な取り組みを広く紹介するための実践的例集」作成原稿を文部科学省へ提出
8月19・20日	【Tosho Ring】サーバ停止対応（電源保守に伴う作業、シャットダウン・起動確認）
8月24日	【Tosho Ring】愛知県立大学 SINET3 接続回線停止（確認作業）
9月1日～	【愛知淑徳大学】共同図書移動 長久手本館 4～9分類、星が丘分館 0～3分類 排架場所変更
9月14日～ 12月28日	【愛知県立大学】「もっと知ろうカフェのこと」展示
9月21日	共同図書環事業「図書部会」開催（愛知県立大学図書館会議室）（参加者8名）
10月1日	「Tosho Ring News 第3号発行」（愛知県立大学 取材）
10月1日～	「トリイの葉」配布 トリイ命名記念、Tosho Ring の日を記念
10月1日 ～10月15日	図書交流会企画委員募集
10月12日	Tosho Ring ID 申請 4000 人目登録達成 運用より約2年

10月16・17日	【Tosho Ring】 上半期システム機器に対する確認作業、LDAP サーバーバックアップ
10月19日	平成23年度 第2回選書発注 【愛知県立大学】学生・職員選書 【愛知県立芸術大学】職員選書 【愛知淑徳大学】日本経済新聞書評より選書 【名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館】職員・学生選書
10月19日	平成23年度 第1回 図書交流会企画委員会開催（愛知県立大学図書館会議室） （参加者7名）
10月19日	Tosho Ring の日 （2009年10月19日 Tosho Ring 稼働開始）
10月20日	共同図書環事業案内チラシ完成
10月28日	2011年東海地区協議会第2回研究会（中部大学）事例報告・図書館見学（参加者2名） 「大学連携による共同図書環の取組：学生視点に立った展示と学生の参画手法」について事例発表
10月31日	「大学図書館の整備について（審議のまとめ）変革する大学にあって求められる大学図書館像一を受け、各大学図書館の参考になるとされる先進的な取り組みを広く紹介するための実践的例集」修正確認を文部科学省へ回答
11月1日 ～11月25日	平成23年度 第1回 図書交流会参加者募集
11月9日	平成23年度 第2回 図書交流会企画委員会開催 （名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館多目的室） （参加者8名）
11月10日	先進事例調査（名古屋工業大学）助成金申請調査・書架・図書館見学（参加者3名） 助成金申請のために参考になる意見が得られ大変有益な事例調査であった。
11月24日	田嶋記念大学図書館振興財団助成金申請
11月29日	平成24年度 新入生向けチラシ完成 入学時資料封入配布、オリエンテーション・ガイダンス・図書館案内ツアー等での チラシ活用、掲示、館内設置等
11月30日	平成23年度 第1回図書交流会開催（名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館） テーマ：「おススメの一冊」 （参加者15名）
12月1日	「Tosho Ring News 第4号発行」（愛知淑徳大学 取材）
12月1日～ 2月15日	【愛知県立大学】「図書館ボランティア apul-s のおススメ本」展示
12月14日	平成23年度 第3回 図書交流会企画委員会開催（愛知淑徳大学図書館長室） （参加者5名）
1月4日	私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会研究会会誌「館灯」50号原稿投稿 「大学連携による共同図書環の取組：学生視点に立った展示と学生の参画手法」について事例発表に基づく原稿投稿。
1月11日 ～3月9日	平成23年度 第2回図書交流会参加者募集
2月1日	「Tosho Ring News 第5号発行」（共同図書環事務局紹介）

2月17日	「平成22年度大学改革推進等補助金（戦略）実績報告書」確認事項回答を文部科学省へ提出
2月27日	共同図書環事業「実務者会議」開催（愛知県立大学図書館会議室）（参加者10名）
3月9日	平成23年度第2回図書交流会開催（愛知県立大学サテライトキャンパス） テーマ：「新入生・新生活応援のおススメの一冊」（参加者8名）
3月9日	平成23年度第1回図書交流会冊子「BOOK PARTY 1」発行
春季休暇中	【愛知淑徳大学】図書館職員推薦の共同図書をテーマ展示コーナーに展示
3月29日	【Tosho Ring】下半期システム機器に対する確認作業
4月1日	【Tosho Ring】下半期Tosho Ring利用統計

## \*平成24年度\*

実施日	実施内容
4月～	新入生向け共同図書環広報活動 入学時資料封入配布、オリエンテーション・ガイダンス・図書館案内ツアー等でのチラシ活用、掲示、館内設置等
4月～（前期）	【愛知県立芸術大学】教養教育講義「外国文化史」（水野留規准教授）において、Tosho Ring活用授業（書評投稿などの読書活動による成績評定方式）
4月～（通年）	【名古屋外国語大学・名古屋学芸大学】読書スタンプラリー Tosho Ringへの書評投稿による景品（オリジナルメモ等配布）
4月1日	「Tosho Ring News 6号」発行（名古屋外国語大学・名古屋学芸大学 取材）
4月2日～ 5月11日	【愛知県立芸術大学】巡回図書展示装飾ボランティア募集
4月～（随時）	平成24年度 学生企画委員募集
4月4日～ 5月18日	【愛知県立大学】BOOK PARTY 総集編 共同図書展示
4月～（随時）	日本赤十字社 愛知血液センターとの打ち合わせ・連携校案内・配布物設置等
4月上旬	愛知県立大学学生出版会冊子「aps!」春号 発行、共同図書環事業 取材記事掲載
4月10日	愛知県書店商業組合 平成24年度 図書発注等打合せ（参加者5名）
4月11日	平成24年度共同図書環事業での事業計画、選書方針
4月20日	BOOK PARTY 2 冊子 発行「新入生・新生活応援の一冊」（連携校配布、HP 掲載）
4月20日	平成24年第1回選書発注 【愛知県立大学】職員選書 【愛知県立芸術大学】教職員選書 【愛知淑徳大学】日本経済新聞社書評欄より選書 Lib.Mates(図書館学生サポーター)選書等 【名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館】職員選書

## 【共同図書環事業】

4月26日	先進事例調査：中部大学附属三浦記念図書館 (参加者4名)
5月9日	共同図書巡回展示用図書 移動 搬出(名古屋外国語大学・名古屋学芸大学)・搬入(愛知県立芸術大学)
5月11日	平成24年度第1回図書部会 (愛知県立大学図書館会議室) (参加者9名)
5月23日	共同図書巡回展示企画・連携校展示箇所視察 (参加者2名)
5月24日～ 6月12日	学生選書ツアー&BOOK PARTY 3募集
5月29日～ 6月6日	学生選書ツアー&BOOK PARTY 3職員参加確認
6月13日	学生選書ツアー&BOOK PARTY 3実施 (参加者23名、16名) 三省堂書店 JRタカシマヤ店、愛知県立大学 サテライトキャンパス 学生選書ツアー図書発注(第2回選書)
6月14日	中日新聞(名古屋・市民版、なごや東版)に学生選書ツアー&BOOK PARTY 3記事掲載 (掲示用チラシ作成、HP掲載)
6月14日～ 7月4日	BOOK PARTY 4募集
6月15日	第1回選書 図書納品(第1回選書未ヒット図書納品 7/10)
6月18日	学生選書ツアー&BOOK PARTY 3反省会(愛知県立大学図書館会議室) (参加者5名)
6月22日～ 7月20日	【愛知県立芸術大学】共同図書巡回展示(図書館閲覧棟2階)
6月27日	トリイ葉作成(データ作成・印刷等)
6月28日	【愛知県立芸術大学】共同図書巡回展示関連企画 DVD上映会 (参加者6名) 同・献血活動 (参加者43名)
6月29日	中日新聞(名古屋・市民版、なごや東版)に共同図書巡回展示・関連企画記事掲載 (掲示用チラシ作成、HP掲載)
7月1日	「Tosho Ring News 7号」発行(愛知県立芸術大学取材)
7月5日	BOOK PARTY 4実施「夜の図書館@県芸大 こわ〜い本」 (参加者13名) (愛知県立芸術大学図書館視覚室)
7月4日	BOOK PARTY 3冊子 発行「学生選書ツアーの一冊」(連携校配布、HP掲載)
7月10日	第1回選書図書開架可能
7月12日	中日新聞(なごや東版)にBOOK PARTY 4記事掲載(掲示用チラシ作成、HP掲載)
7月11日	第2回選書 図書納品(第2回選書未ヒット図書納品 7/20、24、25)
7月20日	第2回選書図書開架可能

7月28日	Amazon への書影再投影手続
7月30日	BOOK PARTY 4 冊子 発行「夜の図書館@県芸大 こわ〜い本」 (連携校配布、HP 掲載)
8月1日	【愛知県立大学】学生選書ツアー図書展示
8月2日	第66回東海地区大学図書館協議会 総会・研究会参加 (中京大学 名古屋キャンパス)
8月3日	共同図書巡回展示用図書・装飾品移動 搬出 (愛知県立芸術大学) ・搬入 (愛知淑徳大学長久手キャンパス)
8月7日～28日	【愛知淑徳大学 長久手キャンパス】共同図書巡回展示 (図書館入口正面)
8月29日	【愛知淑徳大学】共同図書巡回展示図書・装飾品移動 搬出 (長久手キャンパス) ・搬入 (星が丘キャンパス)
夏季休業中	【Tosho Ring】ID 登録関係記載変更、学生企画タグ変更、書誌画面変更、書影再投影、サポートサイト検索機能付加、スタッフ用画面へのアクセス制限強化
8月24日～26日	【Tosho Ring】サーバー停止対応 (愛知県立大学 長久手キャンパスの電源保守に伴う作業、シャットダウン・起動確認)
8月下旬	【Tosho Ring】上半期システム機器に関する保守点検作業
9月3日～21日	【愛知淑徳大学 星が丘キャンパス】共同図書巡回展示 (1号館4階図書館ガラス側壁面)
9月5日	平成24年度共同図書環事業情報交換会 (愛知県立芸術大学管理棟会議室) (参加者11名)
9月7日	Tosho Ring ID 申請5000人目登録達成 (運用より2年11か月弱)
9月22日	【Tosho Ring】愛知県立大学 SINET3 接続回線停止 (確認作業)
9月26日	共同図書巡回展示用図書・装飾品移動 搬出 (愛知淑徳大学 星が丘キャンパス) ・搬入 (名古屋外国語大学・名古屋学芸大学)
10月1日	「Tosho Ring News8号」発行 (愛知淑徳大学取材)
10月1日～ 11月20日	BOOK PARTY 5 募集
10月8日	【名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館】Tosho Ring ID 登録5000人目記念式 (参加者7名)
10月10日	平成24年第3回選書発注 【愛知県立大学】職員選書 【愛知県立芸術大学】教職員選書 【愛知淑徳大学】図書館職員選書及び Lib.Mates (図書館学生サポーター) 選書 【名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館】職員選書
10月11日	先進事例調査：愛知工業大学図書館等 (参加者8名)
10月15日～ 11月20日	【名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館】共同図書巡回展示 (図書館1階)



## 【共同図書環事業】

10月16日	平成24年度第2回図書部会（愛知県立大学図書館会議室）（参加者10名）
10月22日～ 10月31日	【名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館】共同図書巡回展示関連企画 ・DVD上映会 10/22～31、BOOK TALK 10/27（参加者30名） ・献血活動 10/27（参加者114名） ・東日本震災関連イベント（名古屋学芸大学青年赤十字奉仕団ハートフルエデ）10/28
10月24日	平成25年度共同図書環事業案内チラシ納品（県大・県芸大・名外大・学芸大）
11月20日	第3回選書 図書納品（第3回選書未ヒット図書納品 11/30）
11月19日～ 1月22日	【愛知県立芸術大学】共同図書環 秋の展示「食べる本だな」
11月21日	共同図書巡回展示用図書・装飾品移動 搬出（名古屋外国語大学・名古屋学芸大学） ・搬入（愛知県立大学）
11月21日	BOOK PARTY 5 実施「もぎもぎ秋の本祭り@県大 おいしい本」（参加者10名） （愛知県立大学学術文化交流センター内・旧どんどん亭）
12月3日	第3回選書図書開架可能
12月6日	【愛知県立芸術大学】中学職場体験・図書館業務実習 新着共同図書の展示装飾手伝い （長久手中学生・3名）
12月6日～ 1月11日	【愛知県立大学 長久手キャンパス】共同図書巡回展示（図書館1階共同図書環コーナー）
12月18日	【愛知淑徳大学】 Lib. Mates 編集冊子「Lib. let」9号 発行、共同図書環事業 取材記事掲載
12月19日	BOOK PARTY 5 冊子発行「もぎもぎ秋の本祭り@県大 おいしい本」連携校配布、HP 掲載
1月上旬 ～2月25日	BOOK PARTY 6 募集
1月7日	「Tosho Ring News 9号」発行（愛知県立大学取材）
1月10日	平成24年第4回選書発注 【愛知県立大学】職員選書 【愛知県立芸術大学】職員選書 【名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館】職員選書
1月27日	朝日新聞（全国版）に共同図書環事業と企画委員記事掲載（掲示用チラシ作成、HP 掲載）
2月14日	平成24年度第3回図書部会（愛知県立大学図書館会議室）（参加者10名）
2月26日	BOOK PARTY 6 実施「一目惚れ、」（参加者11名） （愛知淑徳大学星が丘キャンパス1号館交流ラウンジWEST）
3月中旬	BOOK PARTY 6 冊子発行「一目惚れ、」（連携校配布、HP 掲載）

## \*平成25年度\*

実施日	実施内容
	新入生向け共同図書環広報活動

## 【共同図書環事業】

4月～	入学時資料封入配布、オリエンテーション・ガイダンス・図書館案内ツアー等でのチラシ活用、掲示、館内設置等
4月～（通年）	【名古屋外国語大学・名古屋学芸大学】読書スタンプラリー Tosho Ring への書評投稿による景品（オリジナルメモ等配布）
4月～（通年）	【愛知県立芸術大学】図書館ボランティア「LIBLAB（りぶらぼ）」募集
4月～（随時）	平成25年度 学生企画委員募集
4月～（前期）	【愛知県立大学】共同図書環展示「BOOK PARTY 総集編」
4月 1日	「Tosho Ring News10号」発行（名古屋外国語大学・名古屋学芸大学 取材）
4月 4日	BOOK PARTY 6冊子 発行「一目惚れ、」（連携校配布、HP掲載）
4月 9日	公益財団法人大幸財団の平成25年度地域の学術文化振興助成決定通知
4月16日	諏訪哲史氏へ公益財団法人大幸財団助成金採択報告
4月22日	平成25年度第1回 共同図書発注 【愛知県立芸術大学】職員選書 【愛知淑徳大学】職員選書、Lib.Mates（図書館学生サポーター）選書 【名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館】職員選書
4月25日	JICA 中部での打合せ・調査・視察・見学（参加者3名）
5月～（随時）	BOOK PARTY 打合せ（愛知淑徳大学 Lib.Mates 5/14 2名 6/17 7名 9/12 7名 10/4 3名）
5月～（随時）	諏訪氏講演会打合せ（名古屋外国語大学・名古屋学芸大学 5/22. 7/25. 8/1. 29）
5月～（随時）	共同図書巡回展示企画 装飾品制作打合せ （愛知県立芸術大学 LIBLAB 5/31. 6/12. 17. 19. 24）（参加者3名）
5月1日～ 6月4日	学生選書ツアー参加者募集
5月1日	トリイ葉作成（データ作成・印刷等）
5月23日	平成25年度第1回 共同図書追加発注 【愛知県立大学】職員選書
5月29日	平成25年度第1回図書部会（愛知県立大学 学術研究情報センタ会議室）（参加者12名）
6月3日～ 7月9日	2013 BOOK PARTY @愛知県立大学長久手キャンパス「自然・人」募集
6月3日	【Tosho Ring】名古屋外国語大学・名古屋学芸大学 SINET 接続切り替えに伴う設定変更
6月5日	学生選書ツアー（三省堂書店 JR名古屋タカシマヤ11階）（参加者28名） 学生選書ツアー図書発注（第2回選書）
6月7日	朝日新聞（名古屋版）、中日新聞（なごや東版）に学生選書ツアー記事掲載（掲示用チラシ作成、HP掲載）

6月7日	愛知県公立図書館長協議会第1回研修会（愛知県図書館）
6月10日	第1回選書 共同図書納品（開架可能6/24、未ヒット図書7/5）
6月24・25日	共同図書巡回展示用図書移動 搬入（愛知県立芸術大学）
6月26日～ 7月26日	【愛知県立芸術大学】共同図書巡回展示（図書館閲覧棟2階）
6月27日	Tosho Ring News11号取材（愛知県立芸術大学）
7月1日～	諏訪哲史氏講演会受付開始（図書館窓口受付、ネット受付）
7月1日	Tosho Ring News11号発行（愛知県立芸術大学取材）
7月3日	全広連 夏期広告大学 ソーシャル・メディア時代のコミュニケーション戦略 （テレピアホール）
7月8日	私立大学図書館協会2013年度東海地区協議会第1回研究会（名古屋芸術大学）
7月10日	2013 BOOK PARTY @愛知県立大学長久手キャンパス「自然・人」 （参加者4名） （愛知県立大学ラウンジ）
7月10日 ～9月12日	2013 BOOK PARTY @愛知淑徳大学 星が丘キャンパス「ミステリー」募集
7月12日	第2回選書 共同図書納品（開架可能7/29、未ヒット図書8/14）
7月17日	平成25年度第2回図書部会 （名古屋外国語大学・名古屋学芸大学中央図書館5階多目的室） （参加者11名）
7月18日	私立大学図書館協会東地区研究部パブリック・サービス研究分科会 サービス事例調査
7月26日	【名古屋外国語大学・名古屋学芸大学】Tosho Ring ID申請6000人目記念式 （参加者7名）
8月1日	諏訪哲史氏講演会場下見・打合せ
8月1日	【Tosho Ring】Tosho Ring サーバのSSLサーバ証明書を更新
8月2日	【Tosho Ring】Tosho Ring サーバのアクセス制限強化
8月6日	共同図書巡回展示用図書・装飾品移動 搬出（愛知県立芸術大学）・搬入（愛知淑徳大学 長久手キャンパス）
8月7日	共同図書装備用品（バーコードラベル）発注（共同購入）
8月19日～ 9月6日	【愛知淑徳大学 長久手キャンパス】共同図書巡回展示（図書館入口正面）
8月19日～23日	蔵書点検
8月21日	平成25年第3回選書発注 【愛知県立大学】職員選書 【愛知県立芸術大学】教職員選書

	【名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館】職員選書
夏季休業中	【Tosho Ring】サポートサイト・スタッフ用画面へのアクセス制限・セキュリティ対策強化
8月23日～24日	【Tosho Ring】サーバ停止対応（愛知県立大学 長久手キャンパスの電源保守に伴う作業、シャットダウン・起動確認）
8月28日	蔵書点検 不明図書調査開始
9月9日	【愛知淑徳大学】共同図書巡回展示図書・装飾品移動 搬出（長久手キャンパス） ・搬入（星が丘キャンパス）
9月11日～27日	【愛知淑徳大学 星が丘キャンパス】共同図書巡回展示（1号館4階図書館ガラス側壁面）
9月13日	2013 BOOK PARTY @愛知淑徳大学 星が丘キャンパス「ミステリー」 （参加者13名）
9月13日	Tosho Ring News12号取材（愛知淑徳大学）
9月24日～ 10月31日	2013 BOOK PARTY @愛知県立芸術大学「da capo-ダ・カーポ」募集
9月27日	【Tosho Ring】上半期システム機器に関する保守点検作業
9月28日	共同図書環5周年記念「変化の時代を生き抜くための読書」諏訪哲史氏講演会 （名古屋外国語大学・名古屋学芸大学中央図書館5階） （参加者73名）
9月29日	中日新聞（なごや東版）に諏訪哲史氏講演会記事掲載（掲示用チラシ作成、HP掲載）
10月1日	「Tosho Ring News12号」発行（愛知淑徳大学取材）
10月1日	共同図書巡回展示用図書・装飾品移動 搬出（愛知淑徳大学 星が丘キャンパス） 搬入（名古屋外国語大学・名古屋学芸大学）
10月10日	平成25年第4回選書発注 【愛知県立大学】職員選書 【愛知県立芸術大学】教・職員選書 【名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館】職員選書
10月10日	第3回選書 共同図書納品（開架可能10/18、未ヒット図書10/24）
10月15日～ 11月20日	【名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館】共同図書巡回展示（図書館1階）
10月16日	平成25年度第3回図書部会（愛知県立芸術大学管理棟 会議室） （参加者13名）
10月7日～ 11月7日	【名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館】共同図書巡回展示関連企画
10月29日～31日	第15回図書館総合展 ポスターセッション（パシフィコ横浜 展示ホール）
11月1日	【愛知県立芸術大学】2013 BOOK PARTY@愛知県立芸術大学「da capo-ダ・カーポ」 （芸術情報センター図書館1階視覚室）（参加者8名）
11月8日	共同図書巡回展示用図書・装飾品移動 搬出（名古屋外国語大学・名古屋学芸大学） 搬入（愛知県立大学長久手キャンパス）

## 【共同図書環事業】

11月14日	共同図書環事業 備品移送（愛知県立芸術大学・名古屋外国語大学・名古屋学芸大学）
11月15日	先進事例調査：金城学院大学図書館（参加者5名）
11月18日～ 12月27日	【愛知県立大学長久手キャンパス図書館】共同図書巡回展示（図書館1階）
12月1日	「Tosho Ring News13号」発行（愛知県立大学取材）
12月10日	第4回選書 共同図書納品（開架可能12/16、未ヒット図書12/24）
12月13日	愛知大学名古屋図書館 共同図書環事業視察来館
12月27日	私立大学図書館協会「図書館スタートブック」サービス事例編集原稿提出
12月27日	共同図書巡回展示用図書・装飾品移動 搬出（愛知県立大学長久手キャンパス）
1月16日	【愛知県立大学】貸出最終・返却期限1月30日
1月17日	共同図書取寄せ最終
1月17日	【愛知県立芸術大学】貸出最終・返却期限1月31日
1月17日	ID登録終了、共同図書取寄せ依頼終了
1月30日	平成25年度第4回図書部会（愛知淑徳大学長久手キャンパス図書館長室） （参加者12名）
2月中旬	共同図書の発注館移送作業
2月19日	学長懇談会（愛知県立大学特別会議室） （参加者16名）
2月28日	【愛知淑徳大学】貸出最終・返却期限3月14日 【名古屋外国語大学・名古屋学芸大学】貸出最終・返却期限3月14日

## 共同図書環事業 実績・成果

平成23年度		
項目	実績	成果
Tosho Ring サービス	1 蔵書	1,901冊(総数12,611冊)
	2 ID登録	1,136名(総数4,323名)
	3 図書貸出	11,432冊(総数33,059冊)
	4 図書取寄せサービス	337冊(総数1,335冊)
	5 書評投稿	100件(総数1,730件) 自主的活動による投稿、芸大活用授業による投稿
	6 登録イベント	4,000人目(県大 イベント無)
選書ツアー	7 ちくさ正文館書店 バスツアー(6/22)	35名・359冊 学生・教職員による選書活動
学生交流	8 BOOK PARTY1	名古屋外国語大学・名古屋学芸大学(11/30)15名・34冊、書評冊子作成
	BOOK PARTY2	愛知県立大学サテライトキャンパス(3/9)8名・19冊、書評冊子作成
共同展示企画	9 共同展示(2大学)	「・・・私たちにできることは何か？」(展示図書:芸大28冊、名外大・学芸大63冊)
運営・各種会議	10 5大学 学長懇談会	4回(6/1,10/5,11/3/22)
	図書部会	1回(9/21)
	実務者会議	1回(2/27)
運営サイト	11 運営サポートサイト	連携校有効活用、資料共有、情報伝達
広報	12 Tosho Ring News 発行	隔月発行 5回(6.8.10.12.2月)
視察・見学	13 名古屋工業大学	先進事例調査・書架見学 3名
助成金申請	14 田島記念大学図書館振興財団 助成申請	学生書架デザインコンペ 不採択
新聞掲載	15 中日新聞掲載	2回(6/23,7/12)

平成24年度		
項目	実績	成果
Tosho Ring サービス	1 蔵書	2,043冊(総数14,654冊)
	2 ID登録	1,110名(総数5,433名)
	3 図書貸出	10,482冊(総数43,541冊)
	4 図書取寄せサービス	237冊(総数1,572冊)
	5 書評投稿	265件(総数1,995件)
	6 登録イベント	5,000人目記念式 名古屋外国語大学(9/7)
選書ツアー	7 三省堂書店 JR名古屋タカシマヤ店(6/13)	23名・292冊 学生・職員による選書活動
学生交流	8 BOOK PARTY3	愛知県立大学サテライトキャンパス(6/13)16名・16冊、書評冊子作成
	BOOK PARTY4	愛知県立芸術大学(7/5)13名・19冊、書評冊子作成
	BOOK PARTY5	愛知県立大学長久手キャンパス(11/21)10名・13冊、書評冊子作成
	BOOK PARTY6	愛知県立大学星が丘キャンパス(2/26)11名・33冊、書評冊子作成
共同展示企画	9 共同図書巡回展示(5大学)	「つなげる“いのち”ワタシがダレカを救うとき」 (展示図書:県大6冊、県芸大6冊、淑徳大6冊、名外大学芸大36冊) 献血広報、献血活動、献血DVD上映会等
運営・各種会議	10 5大学 学長懇談会	無
	図書部会	3回(5/11,10/16,2/14)
	実務者会議	1回(9/5)
運営サイト	11 運営サポートサイト	連携校有効活用、資料共有、情報伝達
広報	12 Tosho Ring News発行	季刊発行 4回(4,7,10,1月)
視察・見学	13 中部大学	先進事例調査(講演会・学生選書・コンソーシアム)4名
	愛知工業大学	先進事例調査(イメージキャラクター)8名
助成金申請	14 大幸財団 地域の学術文化振興助成申請	共同図書環事業5周年講演会 採択
新聞掲載	15 中日新聞・朝日新聞掲載	中日新聞3回(6/15,6/29,7/12)朝日新聞1回(1/27)
協働・協力機関	16 日本赤十字社	献血広報、献血活動、献血DVD上映会等

平成25年度		
項目	実績	成果
Tosho Ring サービス	1 蔵書	1,266冊(総数15,920冊)
	2 ID登録	1,005名(総数6,438名)(1/17迄)
	3 図書貸出	9,422冊(総数52,963冊)(1/31迄)
	4 図書取寄せサービス	171冊(総数1,743冊)
	5 書評投稿	68件(総数2,063件)(1/31迄)
	6 登録イベント	6,000人目記念式 名古屋外国語大学(7/26)
選書ツアー	7 三省堂書店 JR名古屋タカシマヤ店(6/5)	28名・392冊 学生・職員による選書活動
学生交流	8 2013 BOOK PARTY@愛知県立大学長久手キャンパス	「自然・人」(7/10)4名・7冊、書評冊子作成
	2013 BOOK PARTY@愛知県立大学星が丘キャンパス	「ミステリー」(9/13)15名・21冊、書評冊子作成
	2013 BOOK PARTY@愛知県立芸術大学	「da capo(ダ・カーポ)」(11/1)8名・16冊
共同展示企画	9 共同図書巡回展示(4大学)	「世界へ踏み出す最初の一步～世界市民になる～」 (展示図書:県大17冊、県芸大20冊、淑徳大20冊、名外大学芸大 16冊)
運営・各種会議	10 5大学学長懇談会	1回(2/19)
	図書部会	4回(5/29、7/10、10/16、1/30)
	実務者会議	未定
運営サイト	11 運営サポートサイト	連携校有効活用、資料共有、情報伝達
広報	12 Tosho Ring News発行	季刊発行3回(4,7,10,12月)次回3月発行予定
	13 私立大学図書館協会東地区研究部	サービス事例調査
	14 第15回図書館総合展(パシフィコ横浜)	ポスターセッション出展(10/29～31)
視察・見学	15 金城学院大学	先進事例調査(書評・ボランティア)11/15
助成金執行	16 大幸財団 地域の学術文化振興助成	共同図書環事業5周年講演会「諏訪哲史氏 変化する時代を生き抜くための読書」9/28
新聞掲載	17 中日新聞・朝日新聞・毎日新聞掲載	中日新聞3回(6/7、8/27、9/29)、朝日新聞1回(6/7)、毎日新聞(8/30)
協働・協力機関	18 独立行政法人国際協力機構中部国際センター(JICA中部)	共同図書巡回展示企画 国際協力・貢献・フェアトレード関連資料配布・掲示協力
	19 あいちトリエンナーレ2013パートナーシップ事業	「変化する時代を生き抜くための読書」諏訪哲史氏講演会
蔵書点検	20 共同図書蔵書点検	蔵書点検(8/19～23)・不明図書調査(8/28～)

## 共同図書環事業 関係者名簿

	関 係 部 署	氏 名
1	愛知県立大学 <small>(H25. 4に学術情報センターから学術研究 情報センターに名称変更)</small>	学長
2		佐々木雄太 (～H24. 3)
3		高島 忠義 (H24. 4～)
4		学術情報センター長
5		大塚 英二 (～H25. 4)
6		学術研究情報センター長
7		鶴殿 悦子 (H25. 4～)
8		学術情報部長
9		春日井隆司 (～H25. 3)
10		秋田 敏 (H25. 4～)
11		白井 勇次 (～H25. 3)
12	愛知県立芸術大学	学長
13		磯見 輝夫 (～H25. 3)
14		松村 公嗣 (H25. 4～)
15		学術情報センター長
16		長谷 高史 (～H25. 3)
17	愛知淑徳大学	学長
18		島田 修三
19		久保 朝孝 (～H24. 4)
20		垂井 洋蔵 (H24. 4～)
21		図書館長
22	名古屋外国語大学	事務室長
23		武藤 まり子
24	名古屋外国語大学・ 名古屋学芸大学	パブリック業務担当
25		鈴木 尚子
26		学長
27		水谷 修 (～H25. 3)
28	図書館長	
	亀山 郁夫 (H25. 4～)	
	課長	
	岸 恭一 (～H24. 3)	
	塩見 治人 (H24. 4～)	
	ウェブサイトおよび全般担当	
	守田 正江	
	東槇 典子	

## 共同図書環事業 共同図書選書方針

### 1) 選書の規模

- ①年間購入図書数：2,000冊程度  
(連携校図書館各500冊程度)
- ②年間予算：約4,000,000円程度  
(連携校図書館各1,000,000円程度)

### 2) 選書の基準

各連携校の特色を活かした選書

教養教育から専門教育への連続性を重視した専門図書

但し、学生選書での対象は、文庫本、単行本、新書とし、DVD、CD、雑誌、コミック、娯楽本、写真集、テキスト、問題集、PCマニュアルは対象外

### 3) 選書の方法と購入および配本

- ①各連携校図書館で選書、事務局より発注。  
目録・装備したものを連携校図書館に配本。
- ②学生選書ツアーでの選書は、事務局より発注し、目録・装備したものを連携校図書館に配本。  
事務局より各選書リストは連携校図書館に提出。
- ③購入は連携校図書館が行う。



## 共同図書館事業 年度別購入状況

平成23年度

大学名	冊数	未ヒット冊数
愛知県立大学	583	32
愛知県立芸術大学	367	12
愛知淑徳大学	381	9
名古屋外国語大学・名古屋学芸大学	501	16
合 計	1,832	69
		1,901

平成24年度

大学名	冊数	未ヒット冊数
愛知県立大学	566	28
愛知県立芸術大学	468	17
愛知淑徳大学	445	29
名古屋外国語大学・名古屋学芸大学	443	47
合 計	1,922	121
		2,043

平成25年度

大学名	冊数	未ヒット冊数
愛知県立大学	538	52
愛知県立芸術大学	347	15
愛知淑徳大学	127	22
名古屋外国語大学・名古屋学芸大学	141	24
合 計	1,153	113
		1,266

年度・事業別

年 度	冊数
平成20年度～22年度大学連携事業	10,710
平成23年度 共同図書館事業	1,901
平成24年度 共同図書館事業	2,043
平成25年度 共同図書館事業	1,266
合 計	15,920

## 共同図書環事業 蔵書状況報告

共同図書購入数 : 15,920冊  
蔵書数 : 15,920冊  
除籍対象図書数 : 32冊 (平成26年2月1日現在)  
内訳 : 別紙 除籍対象図書リスト記載の通り。  
除籍対象図書率 : 0.002%

### 1、平成25年度共同図書蔵書点検並びに不明図書調査点検

- 1) 蔵書点検期間 : 平成25年8月19日～8月23日
- 2) 不明図書 : 15冊→5冊 (2013/12/24)
- 3) 不明図書調査 : 不明図書定位、書架や背当て等の隙間、書庫等での継続調査。

### 2、不明図書の処理

不明図書は調査後、事務局へ紛失汚損破損届を提出。

### 3、延滞図書の督促と処理

- 1) 延滞図書返却督促 : ①Tosho Ring システムより延滞督促メールを自動送信することにより、返却を促した。  
②連携校督促担当者より、延滞督促連絡をし、返却を促した。
- 2) 紛失汚損破損図書 : 上記延滞督促作業にもかかわらず図書返却がなされなかった図書は回収不能と判断し、連携校担当者より事務局へ紛失汚損破損届を提出。

### 4、紛失汚損破損図書並びに除籍について

- 1) 紛失汚損破損届に基づき、事務局にてロストブックに入力する。
- 2) 除籍対象図書 : ロストブック入力の紛失汚損破損届に基づく。

共同図書資料 除籍対象図書リスト(20140201)

	所蔵番号	書名	請求番号	発注館	配架館	備考
1	880014849	バカの壁	304/Y84/	愛知県立大学	愛知県立大学	
2	880082052	問題解決のための「社会技術」: 分野を超えた知の協働	360/H88/	愛知県立大学	愛知県立大学	
3	880006220	利己的な遺伝子	467.2/D47/	愛知県立大学	愛知県立大学	
4	880002463	アロマテラピー図鑑	499.87/A79/	長久手町中央図書館	愛知県立大学	
5	880037182	すぐわかる作家別アール・ヌーヴォーの美術	702.07/O37/	愛知県立大学	愛知県立大学	
6	880109755	スクラップブックアイデア帖: 思い出を、残す、飾る、楽しむ	744.9/H68/	愛知県立大学	愛知県立大学	
7	880006524	恋の映画誌	778.2/Y19/	愛知県立大学	愛知県立大学	
8	880070051	チョムスキー入門	801.02/Ma29/	愛知県立大学	愛知県立大学	回収
9	880001090	阿部美穂子のサランヘヨ!韓国語	829.1/A12/	長久手町中央図書館	愛知県立大学	
10	880001125	韓国	829.178/O81/	長久手町中央図書館	愛知県立大学	
11	880013396	はじめてのフランス語	850/N39/	長久手町中央図書館	愛知県立大学	
12	880054675	文学の読み方	901.4/Mi27/	愛知県立大学	愛知県立大学	
13	880096586	オー!ファーザー	913.6/I68/	愛知県立大学	愛知県立大学	
14	880038751	半日で読む源氏物語	913.36/Y93/	長久手町中央図書館	愛知県立大学	
15	880006963	東大の教室で『赤毛のアン』を読む: 英文学を遊ぶ9章	930.26/Y31/	愛知県立大学	愛知県立大学	
16	880028281	知ってるようで知らない「音」のおもしろ雑学事典	760.4/Sh92/	愛知県立芸術大学	愛知県立芸術大学	
17	880010204	何歳からでも楽譜は読める	761.2/A24	愛知県立芸術大学	愛知県立芸術大学	
18	880028067	リスト	762.347/F74/	愛知県立芸術大学	愛知県立芸術大学	
19	880028334	知ってるようで知らないロックおもしろ雑学事典	764.7/Ki69/	愛知県立芸術大学	愛知県立芸術大学	
20	880129195	舟を編む	913.6/Mi67/	愛知淑徳大学	愛知淑徳大学	
21	880078185	1Q84 (ichi-kew-hachi-yon)	913.6/Mu43/2	愛知淑徳大学	愛知淑徳大学	回収 book2
22	880121123	冷たい校舎の時は止まる	913.6/Ts44/1	愛知県立大学	愛知淑徳大学	
23	880121132	冷たい校舎の時は止まる	913.6/Ts44/2	愛知県立大学	愛知淑徳大学	
24	880122550	教師格差	374.3/O25	名古屋外国語大学・名古屋学芸大学	名古屋外国語大学・名古屋学芸大学	
25	880046000	図説西洋建築の歴史: 美と空間の系譜	523/Sa85/	名古屋外国語大学・名古屋学芸大学	名古屋外国語大学・名古屋学芸大学	
26	880046047	図説ローマ: 「永遠の都」都市と建築の2000年	523.37/Ka91/	名古屋外国語大学・名古屋学芸大学	名古屋外国語大学・名古屋学芸大学	
27	880105550	ネイチャー・センス	706.9/N62	名古屋外国語大学・名古屋学芸大学	名古屋外国語大学・名古屋学芸大学	
28	880071273	和風レトロ地紋CD-ROM: EPSアウトライン・スウォッチ・GIF・JPEGデータ収録	727/O64/	名古屋外国語大学・名古屋学芸大学	名古屋外国語大学・名古屋学芸大学	
29	880047250	アメリカ人の国民性がよくわかる英語	830.4/Se19/	名古屋外国語大学・名古屋学芸大学	名古屋外国語大学・名古屋学芸大学	
30	880066569	英語アタマのつくりかた: 驚くほど速く、確実にマスターできる: イラスト図解版	830.7/H32/	名古屋外国語大学・名古屋学芸大学	名古屋外国語大学・名古屋学芸大学	
31	880068886	ハートで感じる英文法: NHK3か月トピック英会話	835/O66/	名古屋外国語大学・名古屋学芸大学	名古屋外国語大学・名古屋学芸大学	
32	880047278	夜中に犬に起こった奇妙な事件	933.7/H11/	名古屋外国語大学・名古屋学芸大学	名古屋外国語大学・名古屋学芸大学	回収

## “Tosho Ring” 利用統計報告（20140131 集計）

1) Tosho Ring 利用者 ID 登録数：6,438 名（～2014/01/20） 《 》内は平成 25 年度 ID 登録者数

	愛知県立大学	愛知県立芸術大学	愛知淑徳大学	名古屋外国語大学	名古屋学芸大学	合計
学生	2,415 《311》	864 《158》	773 《140》	1,235 《214》	776 《128》	6,063 《951》
教員	63 《2》	8 《1》	6 《1》	26 《5》	22 《4》	125 《13》
職員	112 《18》	32 《6》	71 《13》	26 《2》	9 《2》	250 《41》
合計	2,590 《331》	904 《165》	850 《154》	1,287 《221》	807 《134》	6,438《1,005》

2) 共同図書館蔵登録数： 15,920 冊 《平成 25 年度 1,266 冊購入》

3) 共同図書館に対する書評の数：2,063 件（～2014/01/31） 《 》内は平成 25 年度書評数

	愛知県立大学	愛知県立芸術大学	愛知淑徳大学	名古屋外国語大学	名古屋学芸大学	合計
合計	786 《23》	514 《35》	283 《6》	269 《4》	211 《0》	2,063 《68》

4) システム稼働前貸出冊数：4,526 冊（2009/3/13～2009/9/30）

5) システム稼働後貸出冊数：48,437 冊（～2014/1/31）、総貸出冊数：52,963 冊

	愛知県立大学	愛知県立芸術大学	愛知淑徳大学 長久手	愛知淑徳大学 星が丘	名古屋外国語大学・ 名古屋学芸大学	合計
合計	26,310	7,442	4,612	681	9,392	48,437

6) 平成 25 年度の貸出冊数：9,422 冊（2013/4/1～2014/1/31）

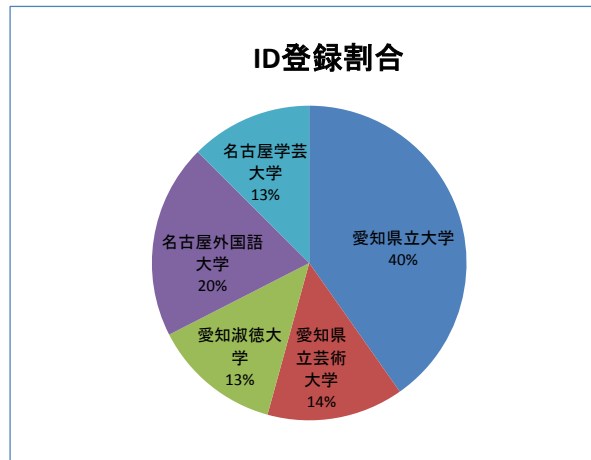
	愛知県立大学	愛知県立芸術大学	愛知淑徳大学 長久手	愛知淑徳大学 星が丘	名古屋外国語大学・ 名古屋学芸大学	合計
合計	4,605	1,691	1,086	223	1,817	9,422

但し、愛知県立大学は平成 26 年 1 月 16 日に、愛知県立芸術大学は平成 26 年 1 月 17 日に貸出終了

## ToshoRingri利用者ID登録数記録簿

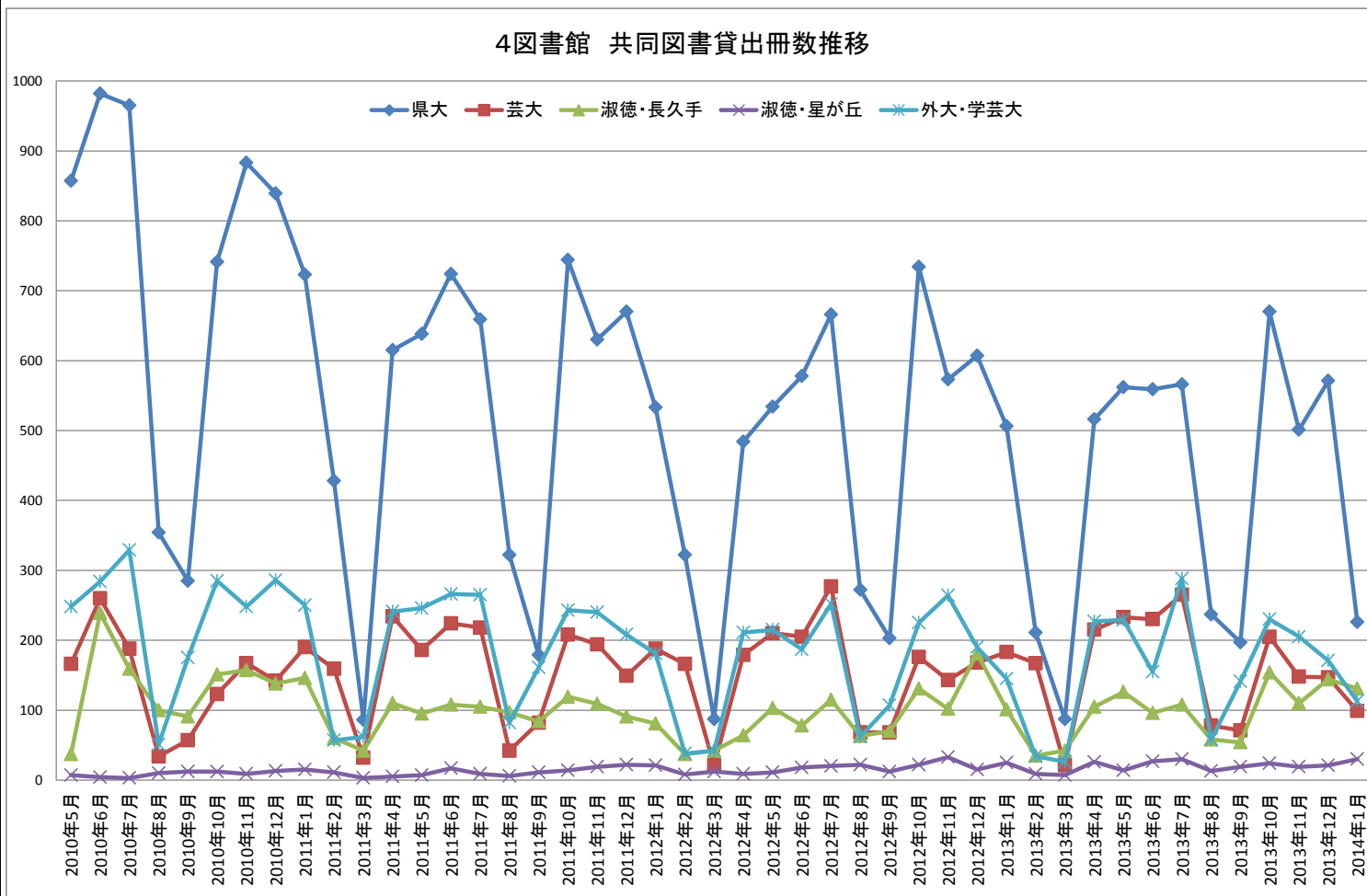
	愛知県立大学			愛知県立芸術大学			愛知淑徳大学			名古屋外国語大学			名古屋学芸大学			学生合計	教員合計	職員合計	合計
	学生	教員	職員	学生	教員	職員	学生	教員	職員	学生	教員	職員	学生	教員	職員				
	2415	63	112	864	8	32	773	6	71	1235	26	26	776	22	9	6063	125	250	6438
大学毎合計	愛知県立大学合計			愛知県立芸術大学合計			愛知淑徳大学合計			名古屋外国語大学合計			名古屋学芸大学合計						6438

愛知県立大学	2590
愛知県立芸術大学	904
愛知淑徳大学	850
名古屋外国語大学	1287
名古屋学芸大学	807
平成25年度登録数	6438



## 2010年4月～2014年1月共同図書貸出冊数推移

貸出年月	県大	芸大	淑徳・長久手	淑徳・星が丘	外大・学芸大
2010年4月	721	191	16	5	300
2010年5月	857	166	37	7	248
2010年6月	982	260	239	4	284
2010年7月	965	188	159	3	329
2010年8月	354	34	100	10	51
2010年9月	285	57	91	12	175
2010年10月	741	123	151	12	285
2010年11月	883	167	157	9	248
2010年12月	839	142	138	13	286
2011年1月	723	190	146	15	250
2011年2月	428	159	60	11	57
2011年3月	86	32	42	3	62
2011年4月	615	234	110	5	241
2011年5月	638	186	95	7	246
2011年6月	724	224	108	17	266
2011年7月	659	218	105	9	265
2011年8月	322	42	97	6	82
2011年9月	179	82	84	11	161
2011年10月	744	208	119	14	243
2011年11月	630	194	109	19	240
2011年12月	670	149	91	22	208
2012年1月	533	188	81	21	181
2012年2月	322	166	37	8	38
2012年3月	87	21	42	12	42
2012年4月	484	179	64	9	211
2012年5月	534	210	103	11	215
2012年6月	578	205	78	18	187
2012年7月	666	277	115	20	252
2012年8月	272	68	63	22	62
2012年9月	203	68	70	12	107
2012年10月	734	176	131	22	225
2012年11月	573	143	102	33	264
2012年12月	607	168	181	15	190
2013年1月	506	183	101	25	145
2013年2月	211	167	35	9	34
2013年3月	87	21	42	7	26
2013年4月	516	215	105	26	227
2013年5月	562	233	126	14	229
2013年6月	559	230	96	27	155
2013年7月	566	265	108	30	288
2013年8月	237	78	58	13	58
2013年9月	197	71	54	19	141
2013年10月	670	205	154	24	230
2013年11月	501	148	110	19	205
2013年12月	571	147	144	21	171
2014年1月	226	99	131	30	113



但し、愛知県立大学は平成26年1月16日に、愛知県立芸術大学は1月17日に貸出終了

## 共同図書環事業 学生選書ツアー実施報告

### 1、概要

公立と私立との異なる大学図書館が運営サポートサイトや図書部会・実務者会議などで互いに連携してこの共同図書環事業を形成し、利用促進と学生の読書推進・交流を図っている。平成23年～25年度に共同図書環事業 学生選書ツアー企画実施について報告する。

#### 1-1 趣旨

共同図書選書は大学図書館での専門書中心の蔵書構築とは違い、一般教養書を中心とした蔵書構築を形成している。その選書活動は学生の読書学習・研究ニーズに即していたため、読書推進、利用促進につながった。学生視点での共同図書を新たに蔵書形成し相互利用する。また選書作業を介在とした学生交流を行う。

#### 1-2 経緯

平成20年～22年度に大学連携事業での取り組みとして、4回の学生選書バスツアーを実施した。図書利用促進、学生間交流の好影響を期待し、その継承企画として本事業において設定した。

### 2、学生選書ツアー

平成23年～25年度における3回の学生選書ツアーの概要を以下まとめる。

#### 2-1 開催日・場所・参加人数・冊数

平成23年度は学生選書バスツアーとし、「ちくさ正文館書店」（名古屋市千種区）へ連携校を借上バスで巡り、学生を乗車させて実施した。平成24・25年度は現地集合として「三省堂書店 JR名古屋タカシマヤ店」（名古屋市中村区）で開催した。各年度別開催日、場所、参加人数、選書冊数を以下である。

年度	開催日	開催場所	参加人数	選書冊数
平成23年度	6月22日	ちくさ正文館書店（バスツアー）	35名	359冊
平成24年度	6月13日	三省堂書店 JR名古屋タカシマヤ店	23名	292冊
平成25年度	6月5日	三省堂書店 JR名古屋タカシマヤ店	28名	392冊

#### 2-2 学生選書ツアー選書方針

学生選書ツアーでの共同図書選書は、文庫本、単行本、新書とする。但しDVD、CD、雑誌、コミック、娯楽本、写真集、テキスト、問題集、PCマニュアル本は対象外とする。

#### 2-3 募集

共同図書環事業事務局では、参加募集チラシを連携校へデータ配信を行った。連携校ではチラシを

印刷して図書館内外に掲示、連携校図書館 HP、共同図書環事業 HP に掲載して募集を行った。平成 23 年度は学生企画委員の愛知淑徳大学学生によるデザインを起用した。平成 24・25 年度は事務局によるデザインである。

## 2-4 予算・図書費

平成 23 年度はバス借上費用が事業運営費から捻出できたが、平成 24 年度以降は予算立てが困難となり、書店に現地集合・現地解散とした。共同図書購入費用については、各連携校負担である。一律に選書費用を 1 人 2 万円としてはいたが、専門図書が高額な連携校については 5 万円としたときもあった。

## 2-5 プログラム

- ① 参加対象は連携校在校生並びに職員
- ② 参加募集チラシ作成は学生企画委員と事務局が行い、掲示等の広報は連携校が行う。参加申込みメールは事務局にて集約する。
- ③ 進行と記録は学生企画委員と事務局が行う。
- ④ 事務局は学生企画委員の活動に参加し、連携校や書店の調整・発注・手配を行う。
- ⑤ 事務局は本企画についての報告書を運営サポートサイト並びに各種会議にて報告する。
- ⑥ 連携校は本企画に協力する。

## 2-6 納品・展示等

書店での選書より、装備会社へ配送そして装備・データ作成される。そのため約 1 月半後に連携校へ納品となる。連携校においては、学生選書として選書学生に対して一定期間取り置きしての貸出や図書にシール貼付して別置きする展示貸出もあった。

# 3、学生選書ツアーの成果報告

## 3-1 企画実施

平成 23 年～25 年度に年 1 回名古屋市内の書店での学生選書ツアー（バスツアー）を設定した。学生選書ツアー（バスツアー）企画には、連携校全校が本企画に賛同参加した。平成 23 年度はバスでの巡回のため、バス車内で自己紹介や希望図書等を発表しての交流ができた。連携事業の企画実施には連携校との合意が重要であり、学生選書ツアーでの準備・調達、移動日程・作業の調整等のために人的協力が不可欠であった。

## 3-2 共有

事務局からは情報共有として、運営サポートサイトにおいて募集案内の掲載、メールでの募集状況数報告を発信した。選書ツアー後は、事務局からリストを連携校へ提出した。また事務局では実施報告書や掲示用チラシに画像を添えて運営サポートサイトに掲載もした。情報を共有することにより、連携校の意見調整・連携活動を保つことができた。

今後の連携企画の実施体制を考える上でも、情報共有は相互に好影響を与え合うことを念頭におく



ことが大切な課題であると思われる。

### 3-3 愛知県書店商業組合との連携・協働

平成20年度より、本事業は愛知県書店商業組合との連携・協働により共同図書を購入・装備・データ作成・納品等を行っている。この学生選書ツアーは同組合並びに同組合所属の書店の篤志によるものである。同組合では書店との調整の仲介を行い、また書店には学生選書ツアー当日にブックトラック、お買い物カゴ、作業場所提供の協力を願った。これらの連携・協働により連携校職員並びに連携校学生は、より充実した学生選書ツアーを展開することができた。

### 3-4 まとめ

平成20年度からの学生選書バスツアーから発展し、本事業での企画として継承し、愛知県書店商業組合と連携して、学生選書ツアーを3回開催、継承前で合計すると7回開催することができた。本企画の学生が自ら選書するメリットとしては、

- ①連携校間の学生交流
- ②学生が選ぶ・借りる・読むというプロセス中に関与することにより、図書への愛着度が高まる。
- ③図書館蔵書となる公共性という意識の高い選書を可能とさせ、学生一人一人が達成感を味わうことができる。
- ④教員・司書が同行して選書することにより、学生の選書観点の理解そして選書意識の向上につながる。
- ⑤学生視点での選書は、学生のニーズ汲み上げることにより、利用の促進に結び付く。

本企画に学生企画委員が広報・運営に携わることにより、学生の自発性を活かし、選書ツアーの充実を進めることができた。そしてこの取り組みがベースとなり、平成23年度にはToshoRing 図書交流会：BOOK PARTY に発展した。新たな試みからは様々なものを得ることができた。本企画で得られたものを継承しつつ、連携校との交流を深め、さらなる効果的な発展を願うものである。

#### 学生選書ツアー風景



平成23年度



平成24年度



平成25年度

## Tosho Ring ID 登録記念式

**平成24年度 共同図書館事業**  
**Tosho Ring ID登録 5000人目 記念式 報告**

平成24年10月8日（月）午前11時より、名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館5階にて、Tosho Ring ID登録6000人目記念式を行いました。  
 5000人目は、名古屋外国語大学 日本語教育センター 王 麗 (Wang Na) さんです。  
 名古屋外国語大学 国際交流課の協力も得て、オリジナルペーパーナイフほか共同図書館オリジナルグッズを記念品として贈呈しました。



**名古屋外国語大学・名古屋学芸大学 図書館5階**




**王さんを選んで記念撮影**      **記念品**

**共同図書館事業事務局**（愛知県立大学学術情報部）  
<http://www.bur.stchi-pu.ac.jp/dlib/en>

## 平成24年度 5000人目記念式 名古屋外国語大学

## 平成25年度 6000人目記念式 名古屋外国語大学

**平成25年度 共同図書館事業**  
**Tosho Ring ID登録 6000人目 記念式 報告**

平成25年7月26日（金）12時30分より、名古屋外国語大学・名古屋学芸大学中央図書館5階にて、Tosho Ring ID登録6000人目記念式を行いました。  
 6000人目は、名古屋外国語大学 英米学科1年の 門 由加梨さんでした。  
 名古屋外国語大学 国際交流課の協力も得て、オリジナルブックマーカーのほか共同図書館オリジナルグッズを記念品として贈呈しました。



**名古屋外国語大学・名古屋学芸大学 図書館5階**




**門さんを選んで記念撮影**      **記念品**

**共同図書館事業事務局**（愛知県立大学学術情報部）  
<http://www.bur.stchi-pu.ac.jp/dlib/en>

## トリ キャラクター名称募集企画 報告

趣 旨：名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館で共同図書環利用カードデザイン募集時、名古屋学芸大学生（当時）がデザインされたものである。トリ キャラクターと呼びながら、連携校で案内表示などに活用されていた。しかし名称がなかったため、共同図書環事業となったことも機とし、名称募集を行った。

キャラクター：



募 集：Tosho Ring HP お知らせ欄、Tosho Ring News 2011 創刊号、各連携校での掲示による。

期 間：平成23年6月1日より6月末日

方 法：共同図書環事業へメールにて名称応募

記 念 品：Tosho Ring オリジナルバッグ（青・黒）、キーホルダー

応 募：3件（芸大生・「とっぼ」、県大生・「鳥文（とりぶん）」、淑徳大生・「トリィ」）

選 考：1) 各館にて応募名称3件の内、1件を選考

2) 選考名称を平成23年7月15日までに事務局へ報告

3) 事務局にて集約し、多数決により決定する。

名称2分したため、著作権のある外国語大学と協議し決定。

決定名称：「トリィ」、愛知淑徳大学文化創造学部水谷愛以さん（4年）

発 表：Tosho Ring HP お知らせ欄、Tosho Ring News 2011 2号、各連携校での掲示。

表 彰：平成23年7月22日午後4時45分より、愛知淑徳大学星が丘分館にて、トリ キャラクター名称募集企画・命名記念とし、記念品贈呈式を行った。

コメント：トリを見たイメージ、そして呼びやすさから「トリィ」としたとのことです。

表彰風景：愛知淑徳大学 星が丘キャンパス図書館にて賞状・記念品授与



## 共同図書環事業 先進事例調査報告

### 1、目的（ねらい）

共同図書環事業における連携5大学4図書館の円滑な活動の推進、そして各図書館共通の目的・利益を達成、さらなる図書館活動での連携・協働・研究のために、共同での活動を広げるものとする。今後の展望を鑑み、関連事業の情報収集を目的とした事例調査を行う。

### 2、意義

先進する事例・実践成果の情報収集をすることにより、本事業の参考とし、よりよい連携事業展開を目指すものである。

### 3、実施

平成23年度：名古屋工業大学（名古屋市昭和区御器所町）

平成24年度：中部大学（春日井市松本町）

愛知工業大学 八草キャンパス（豊田市八草町）

平成25年度：独立行政法人 国際協力機構 JICA 中部（名古屋市中村区）

金城学院大学（名古屋市守山区大森）

### 4、調査概要

#### 1) 平成23年度：名古屋工業大学

日時：平成23年11月10日（木）午後2時～

場所：名古屋市昭和区御器所町

参加者：3名

目的：助成金申請関係調査、助成金獲得による学生参画の共同図書環用品・備品等公募調査

内容：①名古屋工業大学図書館内設置の助成金による書架見学

②財団法人田嶋記念大学図書館振興財団への助成金申請手順等調査

③財団法人田嶋記念大学図書館振興財団からの助成金使用、会計等調査

④書架コンペの手順（公募、審査、発表等）

⑤書架制作に関する調査（発注、設置、会計等）

成果：①財団法人田嶋記念大学図書館振興財団への助成金交付申請

「学生公募による共同図書環展示用書架新設デザインコンペ」→不採択

②平成24年度理事長特別研究費交付事業→不採択



名古屋工業大学図書館内

学生デザイン書架前にて

2) 平成24年度：中部大学

日時：平成24年4月26日（木）午後1時15分～

場所：春日井市松本町1200番地

参加者：4名

目的：学生選書ツアー、図書館相互利用、館長講演会等事例調査

内容：①中部大学附属三浦記念図書館見学

②学生選書ツアー（日程調整、募集期間、コメント集約方法等）

③図書館相互利用（10年の推移、サービス内容、利用頻度等）

④館長講演会（10周年記念、きっかけ、演題、費用、告知範囲、参加者数等）

成果：①学生選書ツアーでの書店対応参考

②公益財団法人大幸財団での助成金による地域の学術文化振興助成申請

「共同図書環事業5周年記念講演会 芥川賞作家 諏訪哲史氏講演会」

→採択・講演会実施（平成25年9月28日）



中部大学附属三浦記念図書館にて

3) 平成24年度：愛知工業大学 八草キャンパス

日時：平成24年10月11日（木）午後2時～

場所：豊田市八草町八千草1247

参加者：8名

目的：イメージキャラクター（鉄人2号）活用方法・視察見学

内容：①愛知工業大学 八草キャンパス関連施設及び図書館見学

②イメージキャラクター活用資料、活用方法見学

成果：①共同図書環事業キャラクター「トリィ」を用いた配布物制作

→葉、コースター、カレンダー（事務局にて作成）

②同 →BOOK PARTY冊子での物語として登場、編みぐるみ制作



愛知工業大学 八草キャンパス

ロボット研究室にて

4) 平成25年度：独立行政法人 国際協力機構 JICA中部

日時：平成25年4月25日（木）午後3時～

場所：名古屋市中村区平池町4丁目60-7

参加者：3名

目的：共同図書巡回展示企画での学生への国際理解の促進・啓蒙活動の情報収集視察と協働

内容：①独立行政法人 国際協力機構 JICA中部施設見学

②同機構 概要・協働説明、資料提供依頼

成果：①平成25年度 共同図書巡回展示企画「世界へ踏み出す最初的一步 地球市民になる」

→連携校での展示時の資料提供、名義使用許諾、JICA中部からの貸与品での展示装飾



独立行政法人 国際協力機構 JICA中部施設見学

5) 平成25年度：金城学院大学

日時：平成25年11月15日（金）午後2時～

場所：名古屋市守山区大森2-1723

参加者：5名

目的：学生図書館ボランティア活動、書評活動視察見学

内容：①金城学院大学図書館見学

②学生図書館ボランティア活動視察

③書評活動（読書ラリー等）視察

成果：①連携校での学生図書館ボランティア活動の参考

②図書館での展示方法の参考



金城学院大学図書館にて

## 5、所感

本事例調査を通じ、近隣の図書館関係者と接することができた。特に学生参画・読書推進についての模索という共通点から相互情報交換ができた。図書館を読書や書評でどう交流させていくか、学生ボランティアのモチベーションをどう保つか、学生視点にどう合致していくか等、本事業に大変有益な先進事例調査であった。

## 共同図書環事業 BOOK PARTY 実施報告

### 1、概要

様々な専門分野を学習研究する連携校学生との図書・読書活動等を通じて交流を深める。BOOK PARTY で集約する図書コメントによる図書紹介を行い、広く連携校へ共同図書環事業での読書活動を喚起する。

### 2、実施期間

平成23年4月～平成25年11月

### 3、実施場所

連携校図書館会議室等

### 4、プログラムの内容

- ①参加対象は連携校の在校生並びに教職員。
- ②本企画の開催回数 年3～4回（協議による）
- ③本企画の広報準備等は学生企画委員と事務局が行い、広報に基づき、参加申込メールを事務局が集約し、個人情報の管理をする。
  - ・連携校図書館による広報  
学内掲示板へのチラシ掲示、学内メール配信、図書館 HP の掲載
  - ・事務局による広報  
Tosho Ring HP、Tosho Ring News のお知らせ欄へ記事掲載
- ④本企画開催当日は学生企画委員の進行係により進行をする。  
「テーマ」からイメージする図書・画集などを持ち寄り、そのワンフレーズや感想を発表し、意見交換をする。（図書ジャンルは問わず）
- ⑤開催場所は事務局にて予約・確保・準備等する。
- ⑥事務局は学生企画委員の活動に参加し、連携校との調整・手配を行う。
- ⑦アンケート・紹介図書リストは事務局にて集約する。
- ⑧本企画の記録（意見集約、豆本作成等）は学生企画委員と事務局で行う。
- ⑨本企画での活動報告については、事務局が運営サポートサイト並びに各種会議にて報告する。
- ⑩本企画での成果物の著作権は共同図書環事業のものとする。
- ⑪連携校は本企画に協力する。（参加者募集、開催場所提供等）

### 5、BOOK PARTY

<当日の流れ>

- ① 受付
  - ・参加申込リストと照合
  - ・会にて一時図書預かり、付箋に大学名・名前を記載し図書へ貼付。閲覧展示。
  - ・配布物（次回案内、手順書、コメントカード等）
- ② 展示図書を閲覧（約5分）
- ③ 図書紹介 4・5人ずつのグループを編成。（各30分程度にて図書紹介）
- ④ 紹介図書コメント票記載・アンケート記載 回収（約20分）
- ⑤ お茶会（約30分）
- ⑥ 反省会（当日もしくは後日）

## 5、BOOK PARTY の成果・風景

BOOK PARTY は平成23年度後期に2回、2大学で開催し、のべ合計23名参加し、紹介図書は53冊であった。平成24年度は年間4回、3大学で開催し、のべ合計50名が参加し、紹介図書は合計82冊であった。平成25年度は、3大学で開催し、のべ合計27名が参加し、紹介図書は合計44点であった。



### 第1回（20111130）

会場：名古屋外国語大学・名古屋学芸大学

テーマ：おススメの一冊

参加者数：15名

紹介図書数：34冊

BOOK PARTY 1 は名古屋外国語大学・名古屋学芸大学で「おススメの一冊」をテーマに開催した。図書紹介後はお茶会をコミュニティプラザを借用した。図書情報交流ばかりでなく、図書を媒体とした学生の交流がなされた。

### 第2回（20120307）

会場：愛知県立大学サテライトキャンパス

テーマ：新入学・新生活応援の一冊

参加者数：8名

紹介図書数：19冊



BOOK PARTY 2 では、愛知県立大学サテライトキャンパスにて「新入生・新生活応援の一冊」をテーマとし、春季休業中、学生が集まりやすいと思われる名古屋市内中心部にて開催した。





第3回 (20120613)

会場:愛知県立大学サテライトキャンパス

テーマ:選書の一冊

参加者数:16名

紹介図書数:16冊

BOOK PARTY 3は、学生選書ツアー後に選書図書を書店から借り出し、愛知県立大学サテライトキャンパスに移動して、本日選書した「選書の一冊」を未読ながらも紹介した。

第4回 (20120705)

会場:愛知県立芸術大学

テーマ:夜の図書館 こわ〜い本

参加者数:13名

紹介図書数:19冊



BOOK PARTY 4は、愛知県立芸術大学にて「夜の図書館@県芸大:こわ〜い本」を図書館の夜間開館時間に開催した。室内を暗くし、懐中電灯で本を照らしながら紹介するという特殊な試みを行った。



第5回 (20121121)

会場:愛知県立大学長久手キャンパス

テーマ:もぎもぎ秋の本祭り おいしい本

参加者数:10名

紹介図書数:13冊

BOOK PARTY 5は、愛知県立大学の元学食を活用して「もぎもぎ秋の本祭り:おいしい本」を食べ物画像とともに紹介した。

第6回 (20130226)

会場:愛知淑徳大学 星が丘キャンパス

テーマ:一目惚れ、

参加者数:11名

紹介図書数:34冊



BOOK PARTY 6 は、愛知淑徳大学星が丘キャンパスの交流ラウンジを活用して「一目惚れ、」図書装丁紹介を行った。



第7回 (20130710)

会場：愛知県立大学長久手キャンパス

テーマ：自然・人

参加者数：4名

紹介図書数：7冊

2013BOOK PARTY@愛知県立大学長久手キャンパスでは、「自然・人」をテーマとして、見晴らしの良いラウンジで開催した。冊子にはマスコットを活用した物語を連載している。

第8回 (20130913)

会場：愛知淑徳大学星が丘キャンパス

テーマ：ミステリー

参加者数：15名

紹介図書数：21冊



2013@BOOK PARTY 愛知淑徳大学星が丘キャンパスでは、「ミステリー」をテーマとして、夏季休暇中にラウンジの一部を借用した。図書館ボランティア・Lib.Mates が組織的に活動協力した。



第9回 (20131101)

会場：愛知県立芸術大学

テーマ：da capo

参加者数：8名

紹介図書数：16冊

2013@BOOK PARTY 愛知県立芸術大学では、「da capo (ダ・カーポ)」をテーマとして、繰り返し読む本を紹介した。大学祭で図書館が休館中のため、開架室で開催した。

平成25年度からは企画委員を各連携校で構成し、企画・運営・開催し、他連携校へ開催案内を行っている。そのため標記を2013BOOK PARTY@大学名とした。そして連携校の特色を活かしたテーマや広報を促した。

<成果物>

BOOK PARTY では紹介図書コメントを冊子として編集・発行、HP にて公開した。また連携校では、この冊子を展示し、本事業での読書活動を紹介した。

内容：書評・コメントカード編集、Tosho Ring 活用 PR、マスコット（トリィ）物語制作など



6、まとめ

学生ボランティアを活用し、学生視線での BOOK PARTY 企画は、学生参加型の交流イベントとして効果が得られた。この企画は大学図書館の連携は資料交換だけでなく、図書情報交換と人的交流を可能とした。連携企画をすることにより、1つの図書館ではできない企画を実施可能とし、他大学生との交流は、学生への好影響・刺激となるため、連携の意義は大きいと考察する。

## 平成24年度共同図書環事業 共同図書巡回展示企画

# 「つなげる “いのち” –ワタシがダレカを救うとき」 実施報告

### 抄録

平成20年度文部科学省大学連携支援事業「共同図書環（館）の新たな教養教育プログラムの開発」（平成20年～22年度）は、愛知県立大学、愛知県立芸術大学、愛知淑徳大学、名古屋外国語大学、名古屋学芸大学図書館（以下連携校という）で連携して取り組み、平成23年度からは「共同図書環事業」として事業継続している。公立と私立との異なる所属機関の図書館が運営サポートサイトや図書部会・実務者会議などで互いに連携してこの共同図書環事業を形成し、利用促進と学生の読書推進・交流を図っている。本事業における平成24年度の企画・運営の実施経緯と取り組みについて報告する。

## 1、概要

平成24年度に共同図書環事業 共同図書巡回展示企画として「つなげる “いのち” –ワタシがダレカを救うとき」を実施した。

### 1-1 趣旨

平成23年は東日本大震災において、絆・命を日本全体で考える年であった。しかしながら、その協力手段・支援方法を戸惑っている学生が多々あった。本事業において、大学の有する知の活用、知的貢献に向けるものとして、平成23年度「・・・私たちにできることは何か？」を共同図書展示テーマとして共同図書の展示を行った。そしてその継承として、平成24年度は本事業における共同図書巡回展示企画テーマを「つなげる “いのち” –ワタシがダレカを救うとき」とし、図書を通じて医療の基礎情報・知識習得そして奉仕・福祉的・人道的協力活動のための機会を設け、連携校の学生が各自で考え、行動しようとする共同図書巡回展示を展開した。また同企画の関連事業として、日本赤十字社（以下日赤という）の協催を得、献血活動に関する資料配布・DVD上映会・BOOK TALK・献血協力活動等を行い、人道的協力活動・医療支援の啓蒙と同時に具体性を促した。

### 1-2 経緯

平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」による被害は甚大なものであった。全国で被災者の救援、義援金募金活動並びに復興支援活動が行われる日々が続き、連日報道から流れてくる状況はいたたまれない気持ちとなった。図書館員としてできることは何か、知的源泉として大きな責務を担う大学の「知」を活かした活動が何かできないか。知的貢献に向けた具体的方策を模索しつつ平成23年5月、共同図書環事業事務局から、東北の美しい豊かな自然そして自然の驚異、東北に関する作品を展示することにより、東北・震災・防災などについて各自で考えようという共同図書環事業での共同図書テーマ展示の呼びかけを行い「・・・私たちにできることは何か？」をテーマとし、愛知県立芸術大学、名古屋外国語大学、名古屋学芸大学にて東北や震災に関する共同図書の展示を行った。

## 2、巡回展示

共同図書巡回展示企画テーマ「つなげる“いのち”－ワタシがダレカを救うとき」の概要を以下にまとめる。

### 2-1 巡回展示時期・期間

連携校のアンケート・ヒアリングにより、巡回展示可能時期・期間を調整し、展示順番を設定した。

展示校	展示期間	移動（所蔵・図書・装飾品）
愛知県立芸術大学	6月22日～ 7月20日	8月 3日
愛知淑徳大学（長久手キャンパス）	8月 7日～ 8月28日	8月29日
同（星が丘キャンパス）	9月 3日～ 9月21日	9月26日
名古屋外国語大学・名古屋学芸大学	10月15日～11月20日	11月21日
愛知県立大学	12月 6日～ 1月11日	1月15日

### 2-2 巡回展示図書選定

巡回展示用共同図書として名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館所蔵の同企画関連共同図書に加え、連携校から既存の共同図書蔵書の関連図書リスト、新規購入予定図書リストの提出で重複チェックし、約50冊を共同図書巡回展示用図書（別紙記載）とした。

### 2-3 巡回展示箇所

連携校の各図書館での巡回展示箇所が異なる。そのため展示ボランティアへの指導並びに空間イメージを湧かせるために、事務局と展示ボランティア募集を行う愛知県立芸術大学担当者とともに各連携校の展示箇所現地視察・計測・撮影を行った。そして展示箇所・様式にとらわれず柔軟な展示装飾を可能とするようにした。

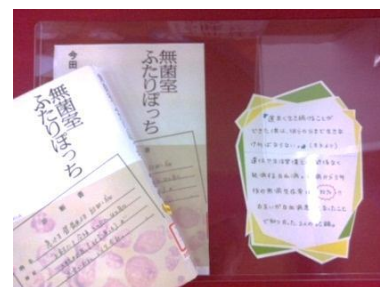
### 2-4 巡回展示装飾品制作

本企画の装飾品は愛知県立芸術大学 本企画展示ボランティアによるデザインであり、同大学図書館職員の協力により作成されたものである。また本企画展示図書の書評は同ボランティア、同職員と共同図書環事務局によるものである。

### 2-5 巡回展示広報・装飾品・配布物等

日赤ポスター（3種）、日赤無料配布冊子（2種）、日赤マスコット・けんけつちゃん人形（1体）、展示POP（80\*320 2種）、栞（配布用）、キャプション（160\*110 2種）、書影と書評（15種）、装飾リング（キャラクターリング12種、6連リング11本）、新聞記事コピー、テーブルクロス、クリアケース（A4、A3）、カタログホルダー（大、小）、POPスタンド、企画展示シール、貸出中シール





### 3、巡回展示企画活動

連携校図書館にて実施した巡回展示企画活動を以下にまとめる。

#### 3-1 愛知県立芸術大学

- ・巡回展示期間：平成24年6月22日～7月20日
- ・展示場所：図書館 閲覧棟 2階
- ・共同企画展示ボランティア募集

募集期間：平成24年4月2日～5月11日

制作期間：平成24年5月16日～6月22日

応募者：美術学部デザイン専攻2年女子1名

- ・関連事業：DVD上映会・献血活動・献血広報活動

##### ① 献血推進DVD上映会

開催日時：平成24年6月28日午後1時30分  
～午後2時15分

上映会場：愛知県立芸術大学図書館1階視覚室

上映作品：「八月の二重奏」

入場者：6名

その他：日本赤十字社より上映後、日赤ポスターコンペ説明

##### ② 献血活動

開催日時：平成24年6月28日午後2時30分  
～午後5時30分

開催場所：愛知県立芸術大学管理棟1階ロビー（受付）  
同 管理棟前駐車場（献血バス設置）

参加者：43名（受付者） 実献血者数22名

##### ③ その他

- ・図書館HPでの巡回展示案内



## 【共同図書環事業】

### ・献血可否事前アンケート

図書館内2箇所にてアンケート可シール貼付で可能者数把握。

期間：平成24年4月6日～6月28日

可能回答者：46名

### ・献血広報活動

・日本赤十字社ポスター・チラシ等配布

・けんけつちゃん着ぐるみ

開催日時：平成24年6月28日午後0時～

開催場所：愛知県立芸術大学学内（学食前、図書館前など）

着ぐるみ参加者：日赤職員、愛知県立芸術大学職員、

共同図書環事業事務局



## 【愛知県立芸術大学 所感】

本館において学生ボランティアの募集は初の試みであり、学生も図書館側も不慣れであったものの、綿密に打ち合わせ重ね展示を作り上げる作業は双方にとって有意義だったと感じる。展示のデザイン案はボランティアにお任せしたが、企画展示の主旨をしっかりと説明しコンセプトに沿った展示になるよう配慮した。また、連携校での装飾に問題が無いよう事前に各連携校図書館を見学したことも有効であった。献血・上映会実施については、いささか広報不足の感があったものの学生の注目度は高く、日赤から示された目標人数の参加を達成することができた。

### 3-2 愛知淑徳大学 長久手キャンパス

- ・巡回展示期間：平成24年8月7日～8月28日
- ・展示場所：図書館 1階正面入り口 スロープ前
- ・関連事業：献血広報活動
- ・図書館HPでの巡回展示案内



### 3-3 愛知淑徳大学 星が丘キャンパス

- ・巡回展示期間：平成24年9月3日～9月21日
- ・展示場所：1号館4階図書館 廊下ガラス壁面
- ・関連事業：献血広報活動
- ・図書館HPでの巡回展示案内



【愛知淑徳大学 所感】

展示期間が長久手・星が丘キャンパスともに授業期間外で、学生の来館が少ない時期ではあったが、POP、書評・書影、キャラクターグッズなど利用者の目を引くものがあり、来館した学生達は展示図書を手にすることが多かった。また、図書館スタッフからは他大学図書館の展示方法など、参考になったとの声が聞こえた。

3-4 名古屋外国語大学・名古屋学芸大学

- ・巡回展示期間：平成24年10月15日～11月15日
- ・展示場所：図書館1階ロビー
- ・関連事業：DVD上映会、BOOK TALK、献血活動、献血  
広報活動、東日本震災関連イベント

① 献血推進DVD上映会

開催日時：平成24年10月22日～31日

上映会場：名古屋外国語大学・名古屋学芸大学

図書館5階多目的室

上映作品：「八月の二重奏」「ダブルスカイ!」「決断命の一滴」他

② BOOK TALK 「人間を救うのは、人間だ」

開催日時：平成24年10月27日午前11時～12時

開催場所：名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館1階ロビー

TALKER：中根春波（日本赤十字社）

宮川公平（名古屋外国語大学 現代国際学部）

吉野まり子（名古屋学芸大学 メディア造形学部）

③ 献血活動

開催日時：平成24年10月27日

開催場所：名古屋外国語大学・名古屋学芸大学内

管理棟前駐車場（献血バス設置）

参加者：114名（受付者） 実献血者数55名

④ その他

- ・図書館HPでの巡回展示案内
- ・献血広報活動
- ・日本赤十字社ポスター・チラシ等配布
- ・着ぐるみ参加者：日赤職員、ハートフルエデ（学生）





### 【名古屋外国語大学・名古屋学芸大学 所感】

平成24年度は、単なる図書展示に留めず、社会貢献活動へと広がりを持たせたことが非常に意義深い。本学では展示を大学祭と同時期に実施することとし、“命をつなげる”活動の企画を思いつく限り盛り込んだ。「祭」の最中にも一定の教育的効果をあげることができたと思う。日本赤十字社の皆様のご協力には感謝の言葉もない。

### 3-5 愛知県立大学

- ・巡回展示期間：平成24年12月6日～平成25年1月11日
- ・展示場所：図書館 1階共同図書環コーナー 雑誌架左連
- ・関連事業：献血活動（全学活動）、献血広報活動

### 【愛知県立大学 所感】

図書の表紙を見せる配架をして、書評コメントがある図書についてはすべて表紙が見せて展示を行った。用意したPOPなどによって華やかな展示となった。また、展示準備については職場体験の中学生にもお手伝いしてもらい、広報活動としてもよい機会となった。コメントがあった図書はよく借り出されていた。



## 4、巡回展示図書書評展示・公開

巡回展示図書の書影とともに書評を展示した。展示図書53冊中、15冊分の書評は愛知県立芸術大学職員9冊分、共同図書環事業事務局2冊分、本企画展示ボランティア学生（県芸大）4冊分によるものである。書評を図書と同時展示紹介とともに、本事業HP書評に入力し公開した。各書評には「巡回展示」という見出しとし、OPACで巡回展示図書検索を可能とした。

各連携校図書館での展示場所や展示書架の関係で、書影と書評を縦並び・横並び展示、書評カードのポップアップ展示など各図書館職員の展示による柔軟な対応、創意工夫が確認できた。手書きによる書評はより親近感があり、書影と同時展示することにより、図書との親密感を醸し出すことが出来、図書を内面化する装置として効果的であると考察する。手書き書評の展示は、図書の内容以上の意味合いを無意識に形成していると考えられる。

## 5、巡回展示関連事業

連携校図書館にて実施した巡回展示企画活動の関連事業を以下にまとめる。

### 5-1 DVD上映会

- ① 愛知県立芸術大学では、日赤制作のDVD「八月の二重奏」上映会を、同校での献血バスによる活動日・6月28日午後1時から図書館1階視覚室にて開催した。
- ② 名古屋外国語大学・名古屋学芸大学では、巡回展示期間の8日の間に日赤制作のDVD一日数本のDVD上映会を、図書館5階多目的ホールにて開催した。  
巡回展示のテーマ「つなげる“いのち”」をより身近に感じることができるDVD作品であり、命を

つなげるという活動として献血を理解し、協力する意識・感動を得ることができる図書館上映会であった。

## 5-2 BOOK TALK

名古屋外国語大学・名古屋学芸大学では、学園祭の図書館イベントとしてBOOK TALKを開催した。テーマを「人間を救うのは、人間だ」とし、各大学の2教員そして日赤職員により、関連図書紹介を交えたBOOK TALKを図書館1階ロビーで開催した。

BOOK TALKは単に図書紹介のみならず、読書・献血について大いに関心を高める機会となり、これは大学での献血活動の若年層教育の一助となった。そして教員によるミニ講義的この活動は、教員と図書館、本事業と日赤との連携が相互に関連付けられ、一元化した活動となった。

学祭での献血バスによる活動日のため、日赤キャラクター・けんけつちゃんのBOOK TALK勧誘協力は学生達の注目を浴び、大変効果的なものであった。積極的な日赤側の協力姿勢は、本事業との連携活動が円滑に動いていることが実感できた。

## 5-3 献血活動

- ① 愛知県立芸術大学では、初の献血バスによる献血活動を6月28日午後2時より5時に実施した。連携校の中で一番在席学生数が少なくバス導入規定数に達しないという懸念のため、献血実施のための事前調査を行った。半日献血バス導入により献血受付数43名、実献血者数22名があった。本事業による図書館主催の初企画であったが、半日の活動にもかかわらず多数の教職員、学生による献血活動を確認出来た。
- ② 愛知淑徳大学では、全学体制の活動として年2回献血活動をおこなっている。そのため本企画との関連性はないが、継続的に日赤の献血活動に協力している。
- ③ 名古屋外国語大学・名古屋学芸大学では、学園祭献血として10月27日に学生ボランティアグループによる献血活動を実施した。学園祭ということもあり、献血受付数114名、実献血者数55名と多数の献血協力者があった。
- ④ 愛知県立大学では、本企画との関連で日赤の呼びかけにより学生ボランティアグループによる献血活動が行われた。12月18日 献血受付数47名、実献血者数26名、12月20日献血受付52名、実献血者数33名の献血協力者があった。

大学において日赤での献血活動を行うことは、将来の輸血医療基盤を支えていく若年層への献血の動機付け、複数回献血の機会促進、人道的協力活動、医療支援の実施となり、献血活動の啓蒙を具体的活動として行うことを可能とした。

## 6、広報活動

初の巡回展示企画として成功させるためには、効果的な広報を行うことが必要不可欠であった。本企画での広報を以下にまとめる。

### 6-1 WEB上での広報活動

- ① 共同図書環事業HPのお知らせ欄を用いて情報を発信。
- ② 各連携校図書館HPにおいて、各館展示期間や企画案内、巡回図書リスト等の独自情報を発信。

## 6-2 本事業広報物

- ・Tosho Ring News（事業広報誌）での広報  
季刊誌の毎号1ページを用い、日赤とのコラボ、巡回展示テーマ・順序・期間を巡回展示風景や活動等を報告。

## 6-3 関連事業広報

- ① DVD 上映会広報  
開催告知ポスター・チラシを制作し、図書館内・学内掲示。（県芸大、名外大・学芸大）
- ② BOOK TALK 広報  
・開催告知ポスター・チラシを制作し、図書館内・学内掲示。  
・同企画フレームデザインを活用して、学園祭配布誌に広告として掲載。（名外大・学芸大）
- ③ 献血活動日広報  
・告知ポスター・チラシを図書館内・学内掲示。  
・献血活動当日、日赤によるチラシ等配布・献血活動呼び込み・けんけつちゃん着ぐるみでの呼び込み。（県芸大、名外大・学芸大）

## 6-4 葉配布

- ・連携校での各巡回展示期間における葉配布。  
本事業キャラクター・トリィと日赤キャラクター・けんけつちゃんのデザインを用い、巡回展示用デザインを活用し、事務局にてオリジナル葉を作成。  
3色、16種を事務局でデザイン作成し、データ配信・印刷し、展示箇所やカウンターにて配布。



より効果的な広報活動を行うという点において、掲示物や配布物は各館の担当者により、図書館をはじめ学生の流れのある学生課・講義棟掲示板へも年度当初から掲示がなされる連携校もあり、年度当初から継続して学生の目を惹き意識づけをすることができた。また図書館HPでの案内掲載は連携校での巡回展示における好意的協力姿勢として感慨深いものであった。

## 7、巡回展示による成果報告

### 7-1 企画実施

平成24年度巡回展示企画は、共同図書環事業連携校全校が本企画に賛同参加した。  
昨年度は、年度始めの急な巡回展示企画提案にもかかわらず、趣旨賛同した3大学での共同図書展示企画となった。今年度の巡回展示については、平成23年度下半期よりテーマ継承として企画立案し、会議にて賛同承認されたことにより連携校全5大学での実施が可能となった。  
連携事業の企画実施には連携校との合意が大切であり、展示図書・装飾品の準備・調達、移動日程・作業の調整等のため人的協力が不可欠であった。

### 7-2 共有

平成24年9月には、連携校の本事業実務者の会議にて、情報交換・交流を目的として情報共有を行った。先に巡回展示を行った愛知県立芸術大学の活動報告では、同大学図書館初の図書館ボランティア活動、初の視聴覚資料上映会、初の献血活動を報告し、同図書館職員の連携における協力姿勢並びに図書館活動への熱意が感じられた。先の展示における反省点・改善案が挙げられたため、続く連携校への助言となった。また情報共有のため、本事業運営サポートサイトにおいて各連携校での展示状況風景画像を事務局から報告発信した。

巡回展示において図書の高多様性の存在を再帰させ、そしてテーマを意識させるツールとしての装飾は個々の図書館を自館と相対化し、見出した差異を埋めるための同一化を志向することとなった。

巡回する図書の共有することにより各図書館の図書費軽減し、展示キャプション・書評などの装飾品・装具を共有することにより各図書館職員の展示装飾制作の手間を省くこととなり、より効率的な展示対応が可能となった。向後の企画の実施体制を考える上でも、各職員の負担軽減・省力化も勘案しつつ、ノウハウを共有し、相互に好影響を与え合うことを念頭におくことが大切な課題であると思われる。

### 7-3 日赤との連携

平成24年度本事業において、日赤と連携した協催・協働は、広報的により充実した巡回展示を展開することになった。年度当初より継続的に日赤の献血活動に関する資料配布・ポスター掲示を連携校図書館へ配布し、掲示依頼を行い、視覚効果による献血意識向上を期待した。日赤からの配布の大判ポスター(数種)には献血応援キャラクターとして人気女優やスポーツ選手を起用されていたので、視覚的な訴求効果が非常に高かった。「学生献血」「はたちの献血」という名称とともに同世代への広報として同キャラクターは大変印象的であり、掲示をすることにより、学生への献血活動、本事業のつなげる命の大切さを日赤とともに広報することができた。また日赤からは、日赤制作の献血促進映画DVDが連携校各館に寄贈された。これらは各館の所蔵となり、閲覧を可能とした。献血活動については複数回献血活動として、連携校での各種献血活動は、若年層への啓蒙活動となった。これは政府の動きにもなっており学生に働きかけるという日赤の施策を本事業において展開することを連携校にて可能とした。

### 7-4 まとめ

平成23年度の共同図書テーマ展示から発展し、今年度の共同図書巡回展示では日赤と連携して、命・人道的協力・献血活動について考え、選書し、巡回展示して学生への啓蒙を実施してきた。

そしてより巡回展示を魅力的なものとするために、学生ボランティアを起用して装飾物制作協力を得た。巡回展示を行うことは、連携校間における信頼と親近感を深めたコミュニティとして発展し、そしてサポートができる体制を形成することができた。また利用者である学生の関心並びに社会情勢等を把握し、各連携校の意見を調整しつつテーマ設定して企画を実施していくことが効果的であると考察する。

本企画における活動協力では様々な意見や配慮を得、新たな試みからは様々なものを得ることができた。各連携校の企画においても、本企画で得られたものを活かすことができると思う。そして本企画で得たものを、来年度さらに効果的に活用できる企画を実現していく所存である。

## 平成24年度 共同図書環事業 巡回展示図書 (54冊)

	書名	著者名	出版社	請求記号	ID	
1	流通する「人体」 献体・献血・臓器提供の歴史	香西 豊子	勁草書房	490.15/ko98	88012296	外大・学芸大選書 36冊
2	よくわかる輸血学 必ず知っておきたい輸血の基礎知識と検査・治療のポイント 改訂版	大久保 光夫・前田 平生	羊土社	492.26/o54	88012299	
3	脳死・臓器移植の本当の話	小松 美彦	PHP研究所	490.154/Ko61	88012274	
4	医療倫理 <一冊でわかる>	トニー・ホープ著 田中 聡・藤林 勝 訳・解説	岩波書店	490.15/H86	88012278	
5	脳死再論	立花 隆	中央公論社	490.15/Ta13	88012272	
6	脳死とは何か 基本的な理解を深めるために 改訂新版	竹内 一夫	講談社	490.154/Ta67	88012275	
7	脳死臓器移植は正しいか	池田 清彦	角川学芸出版	490.154/I32	88012271	
8	なぜ日本では臓器移植がむずかしいのか 経済・法律・倫理の側面から	須藤 正親・池田 良彦・高月 義照	東海大学出版社	490.154/Su14	88012293	
9	日本の臓器移植 現役腎移植医のジハード	相川 厚	河出書房新社	494.28/A25	88012288	
10	移植病棟24時	加藤 友朗	集英社	494.28/Ka86	88012282	
11	赤ちゃんを救え! 移植病棟24時	加藤 友朗	集英社	493.94/Ka86	88012284	
12	死なさない絶対に!! 生体肝移植を選んだドナーと家族の葛藤	中津 洋平	メディカ出版	916/N43	88012352	
13	妻に肝臓をもらっ 臓器移植の抱える課題	植竹 伸太郎	亜紀書房	916/U48	88012355	
14	生体肝移植にほほえみを 里美ありがとう	大原 美枝子	ジアース教育新社	916/O27	88012354	
15	腎移植をめぐる母と子、父 精神科医が語る生体腎移植の家族	春木 繁一	日本医学館	494.93/H34	88012292	
16	腎移植をめぐる兄弟姉妹 精神科医が語る生体腎移植の家族	春木 繁一	日本医学館	494.93/H34	88012295	
17	まだ、間に合うのなら。改訂臓器移植法について考える	村田 翠	文芸社	490.15/Mu59	88012285	
18	これを見ればすべてがわかる腎移植2011Q&A	打田 和治・渡井 至彦・後藤 憲彦	東京医学社	494.93/Ko79	88012301	
19	脳死移植 いまこそ考えるべきこと 生命のゆくえとは、脳死の本質とは――	高知新聞社社会部「脳死移植」取材班	河出書房新社	490.154/N97	88012289	
20	今問い直す脳死と臓器移植 第2版	沢田 愛子	東信堂	490.154/Sa98	88012294	
21	子どもの脳死・移植	杉本 健郎	クリエイツかもがわ	490.154/Su38	88012291	
22	「二人の天使」がいのちをくれた 白血病からの生還、臍帯血移植闘病記	吉田 寿哉	小学館	916/Y86	88012357	
23	俺、マジダメかもしれない... 「急性リンパ性白血病」で逝った最愛の息子へ	高野 由美子	JPS出版局	916/Ta47	88012349	
24	無菌室ふたりぼっち	今田 俊	朝日新聞出版	916/I41	88012353	
25	730日のうまれかわり 生体肝移植で得た愛と希望	橋詰妙子著	文芸社	916/H37	88012533	
26	神さまがくれた手 奇跡の両手移植	ドニ・シャトリエ著、蒲田耕二訳	清流出版	956/C36	88012343	
27	透析生活17年 新聞記者の移植体験記	山本晃著	岩波書店	916/Y31	88012351	
28	血液型が変わる手術からの生還	秋葉重雄著	かもがわ出版	916/A34	88012356	
29	体に聞く骨髄移植	籾谷一紀著	文芸社	916/H42	88012350	
30	2度目の誕生日 海を越えた骨髄移植	坂井千賀子著	文芸社	916/Sa29	88012358	
31	犠牲(サクリフェイス):わが息子・脳死の11日	柳田邦男	文藝春秋	916/Y53	88001818	
32	いのちの選択:今、考えたい脳死・臓器移植	小松美彦ほか	岩波書店	490.15/Ko61	88010113	
33	血液製剤の考え方・使い方	大久保光夫	中外医学社	492.26/O54	88013561	追加 外大・学芸大選書 4冊
34	新版今日の輸血	霜山龍志	北海道大学出版会	492.26/Sh55	88013558	
35	血液の知識 しくみと働き	宮地勇人	東海大学出版会	491.321/Mi71	88013560	
36	「流れる臓器」血液の科学	中竹俊彦	講談社	491.32/N43	88013557	
1	脳死論争で臓器移植はどうなるか	the President's Council	篠原出版新社	490.154/N97	88012989	県大選書 5冊+1冊
2	とつても気になる血液の科学―からだのすみからすみまで大活躍	奈良信雄	技術評論社	491.321/N51	88012984	
3	輸血のABC	Marcela Contreras	医学書院	492.26/C86	88012987	
4	脳死・臓器移植 Q&A50:ドナーの立場で「いのち」を考える	臓器移植法を問う直す市民ネットワーク	海鳴社	490.154/N97	88012980	
5	生者と死者をつなぐ―鎮魂と再生のための哲学	森岡正博	春秋社	914.6/Mo62	88013051	
6	花の鎖	湊かなえ	うぶすな書院	913.6/Mi39	88011617	既存図書(事前に芸大への所蔵移動あり)
1	無菌病棟より愛をこめて	加納朋子	文藝春秋	916/Ka58	88013314	
2	團十郎復活	市川團十郎	文藝春秋	774.28/I14	88013222	県芸大選書 4冊+2冊
3	妻を看取る日	垣添忠生	新潮社	916/Ka26	88013283	
4	解剖医ジョン・ハンターの数奇な生涯	ウェンディ・ムーア	河出書房新社	289.3/Mo43	88013202	
5	ヒトのからだ:生物史的考察	三木成夫	筑摩書房	491.1/Mi24	88002733	既存図書 2冊
6	「図説」人体博物館		文藝春秋	491.1/Z8	88005739	
1	私の中のあなた 上	ジョディ・ピコー	早川書房	933.7/P59/1	88012843	淑徳大選書 6冊
2	私の中のあなた 下	ジョディ・ピコー	早川書房	933.7/P59/2	88012844	
3	骨髄ドナーに選ばれちゃいました	石野 鉄	小学館	916/I79	88012861	
4	命と医療の倫理	大崎 博	文化書房博文社	490.15/O73	88012774	
5	生きたい! 生かしたい!	トリオ・ジャパン	はる書房	490.15/I36	88012766	
6	CO 命を手渡す者	秦 建日子	河出書房新社	913.6/H41	88012872	

→展示用書評あり

## 平成25年度共同図書環事業 共同図書巡回展示企画

# 「世界へ踏み出す最初の一步～地球市民になる～」実施報告

### 抄録

平成20年度文部科学省大学連携支援事業「共同図書環（館）の新たな教養教育プログラムの開発」（平成20年～22年度）は、愛知県立大学、愛知県立芸術大学、愛知淑徳大学、名古屋外国語大学、名古屋学芸大学図書館（以下連携校という）で連携して取り組み、平成23年度からは「共同図書環事業」として事業継続している。公立と私立との異なる大学図書館が運営サポートサイトや図書部会・実務者会議などで互いに連携してこの共同図書環事業を形成し、利用促進と学生の読書推進・交流を図っている。本事業における平成25年度の企画・運営の実施経緯と取り組みについて報告する。

## 1、概要

平成25年度に共同図書環事業 共同図書巡回展示企画として「世界へ踏み出す最初の一步～地球市民になる～」を実施した。

### 1-1 趣旨

平成25年度は「国際協力・国際貢献・フェアトレード」をテーマとし、多角的な視点を身につけ、幅広い分野にまたがる普遍的な知を習得することを目的とした共同図書の巡回展示を行うこととする。グローバル化が進み急速に変化しつつある昨今、専門とする領域が何であっても、様々な場面で当然のように異文化理解や国際協力の精神が求められ、都度的確な状況判断を下す必要が生じる。単に世界を知るだけでなく、さらに一步踏み込み、発信や貢献することのできる能力を身に付け、社会で活躍して欲しいと願い、関連図書の展示を行うこととした。

### 1-2 経緯

平成23年3月11日の東日本大震災を受け、本事業では平成23年度「・・・私たちにできることは何か？」をテーマとし、東北や震災に関する共同図書の展示を行った。平成24年度は「つなげる“いのち”ーワタシがダレカを救うとき」をテーマに、医療の基礎情報・知識習得そして奉仕・福祉的・人道的協力活動に関する共同図書の巡回展示を実施し、さらに関連事業として日本赤十字社と協賛し、献血活動に関する資料配布・DVD上映会・BOOK TALK・献血協力活動を行った。そして平成25年度はその意を継承してテーマを設定した。

## 2、巡回展示

共同図書巡回展示企画テーマ「世界へ踏み出す最初の一步～地球市民になる～」の概要を以下にまとめる。

### 2-1 巡回展示時期・期間

連携校のアンケート・ヒアリングにより、巡回展示可能時期・期間を調整し、展示順番を設定した。

展示校	展示期間	移動（所蔵・図書・装飾品）
愛知県立芸術大学	6月26日～ 7月26日	8月 6日
愛知淑徳大学（長久手キャンパス）	8月19日～ 9月 6日	9月 9日
同（星が丘キャンパス）	9月11日～ 9月27日	10月 1日
名古屋外国語大学・名古屋学芸大学	10月 7日～11月 7日	11月 8日
愛知県立大学	11月18日～12月27日	12月28日

## 2-2 巡回展示図書選定

巡回展示用共同図書として連携校提出の既存共同図書蔵書の関連図書リストおよび新規購入予定図書リストによって重複確認を行い、73冊を共同図書巡回展示用図書（別紙記載）とした。

## 2-3 巡回展示箇所

連携校の各図書館での巡回展示箇所が異なるが、昨年度の巡回展示箇所と同様のため、再度視察等する必要はなく、前年に倣った。昨年度は、ボランティアへの指導並びに空間イメージを湧かせるために、事務局と展示ボランティア募集を行う愛知県立芸術大学担当者とともに各連携校の展示箇所の現地視察・計測・撮影を行った。そして展示箇所・様式にとらわれず柔軟な展示装飾を可能とするようにした。

## 2-4 巡回展示装飾品制作

今年度は共同図書環事務局より愛知県立芸術大学図書館学生ボランティア LIBLAB に装飾関係コンセプトペーパーを用意し、制作依頼をした。基調デザインを水玉、そして色は連携校のラベル色として展示ポスター、説明キャプション、書評カード等を依頼した。

本企画のデザインは LIBLAB、そして同大学図書館職員と共同図書環事務局の協力により作成されたものである。また本企画展示図書の書評は同ボランティア、同職員と共同図書環事務局によるものである。

## 2-5 巡回展示広報・装飾品・配布物等

制作ポスター（1種）、JICA ポスター（1種）、キーワードキャプション（3種）、JICA 貸与物、JICA 貸与物の国名表示カード（12枚）、貸与物説明キャプション（1種）、共同図書環マスコット・トリイ人形（1体）、パンフレットラック（1台）、チラシ配布用キャプション（1種）、栞（配布用）、栞用ミニスタンド（1）書評キャプション（9種+追加6種）、装飾旗（2連4本、3連4本）、テーブルクロス、企画展示シール、JICA 無料配布パンフレット類（数種）、水玉装飾物（橙、桃、黄、青各大小6枚）

## 3、巡回展示企画活動

連携校図書館にて実施した巡回展示企画活動を以下にまとめる。

### 3-1 愛知県立芸術大学

- ・巡回展示期間：平成25年6月26日～7月26日
- ・展示場所：図書館 閲覧棟 2階
- ・関連事業

- ①図書館学生ボランティア LIBLAB による装飾品制作  
美術学部デザイン専攻3年女子1名  
展示装飾打合せ：平成25年5月10日  
制作期間：平成25年5月10日～6月25日

#### ②その他

- ・図書館 HP での巡回展示案内
- ・広報活動：JICA 中部ポスター掲示、チラシ・葉等配布



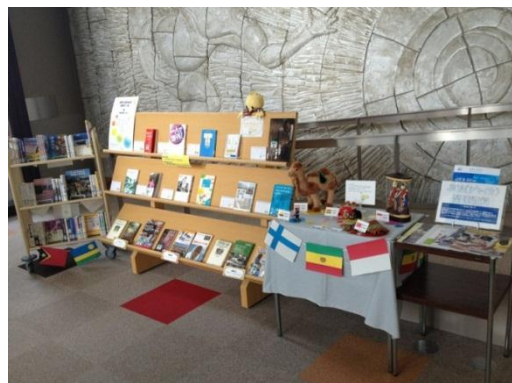
#### 【愛知県立芸術大学 所感】

愛知県立芸術大学図書館では、学生による図書館ボランティア LIBLAB (リブラボ) の協力のもと、巡回展示装飾品の作成に取り組んだ。ボランティア学生とはコンセプトのすり合わせのため、何度も打ち合わせの場を設けた。

ボランティアによる装飾デザインもさることながら、JICA から貸与を受けた民芸品にも大きな訴求効果があったように思われる。来館者は資料だけでなく、民芸品にも興味を寄せていたように見受けられた。本学学生にとって、JICA の活動・国際協力に関心を抱かせるよい展示となった。

### 3-2 愛知淑徳大学 長久手キャンパス

- ・巡回展示期間：平成25年8月19日～9月6日
- ・展示場所：図書館 1階正面入り口 スロープ前
- ・図書館 HP での巡回展示案内
- ・広報活動：JICA 中部ポスター掲示、チラシ・葉等配布



### 3-3 愛知淑徳大学 星が丘キャンパス

- ・巡回展示期間：平成25年9月11日～9月27日
- ・展示場所：1号館4階図書館 廊下ガラス壁面
- ・図書館 HP での巡回展示案内
- ・広報活動：JICA 中部ポスター掲示、チラシ・葉等配布



#### 【愛知淑徳大学 所感】

長久手キャンパスは、授業期間外で学生の来館が少ない時期ではあったが、POP、書評、キャラクターグッズなど利用者の目を引くものがあり、来館した学生達は展示図書を手



することが多かった。

星が丘キャンパスは、展示期間が後期の授業開始前後ということもあり、多くの学生達の目に触れることができ、展示のタイミングとしては良かった。また、星が丘キャンパスの交流文化学部には社会貢献分野を学ぶ学生がおり、国際社会貢献には関心が高く、この巡回展示は共同図書の利用促進に繋がるよい企画であった。

### 3-4 名古屋外国語大学・名古屋学芸大学

- ・巡回展示期間：平成25年10月7日～11月7日
- ・展示場所：図書館1階ロビー
- ・図書館HPでの巡回展示案内
- ・広報活動：JICA 中部ポスター掲示、チラシ・葉等配布



#### 【名古屋外国語大学・名古屋学芸大学 所感】

大学の特性上、本学には国際救援活動やボランティアなどの人道的援助に関心の高い学生が多く、貸出は好調であった。さらに、JICA 中部のご協力で、学生に国際貢献活動に関する様々な「生の声」を聴く機会の提供もでき、まさに一歩踏み込んだ企画となった。

### 3-5 愛知県立大学

- ・巡回展示期間：平成25年12月6日～12月27日
- ・展示場所：図書館1階共同図書環コーナー  
雑誌架、平置き低層棚、サイドテーブル
- ・図書館HPでの巡回展示案内
- ・広報活動：JICA 中部ポスター掲示、チラシ等配布



#### 【愛知県立大学 所感】

展示のテーマは、本学が行っているグローバル人材育成推進事業のプログラムにもマッチしており、外国語学部の学生の貸出が見込まれたが、実際はやや低調な結果となった。理由として、別の企画展示が館内で3つ同時期に行われていたため、利用者の関心が分散されたことが考えられる。

## 4、巡回展示図書書評展示・公開

巡回展示図書とともに書評を展示した。展示図書73冊中、9冊分の書評は愛知県立芸術大学職員4冊分、共同図書環事業事務局2冊分、本企画展示ボランティア学生（県芸大）3冊分によるものである。また本事業HP書評に掲載した。各書評には「巡回展示」という見出しとし、OPACで巡回展示図書検索を可能とした。

各連携校図書館での展示場所や展示書架の関係で、書評カードをポップアップ展示するなど、各図書館職員の展示における柔軟な対応、創意工夫が確認できた。手書きによる書評は、より親近感があり、展示図書にそれを付することにより、図書との親密感を醸し出すことが出来る。このことから手書きによる書評は、図書を内面化する装置として効果的であると同時に、図書の内容以上の意味合いを無意識

に形成するものであると考察する。

## 5、広報活動

本企画のより効果的な広報を行うために、広報活動は必要不可欠であった。本企画での広報を以下にまとめる。

### 5-1 WEB 上での広報活動

- ① 共同図書環事業 HP のお知らせ欄を用いて情報を発信。
- ② 各連携校図書館 HP において、各館展示期間や企画案内、巡回図書リスト等の独自情報を発信。

### 5-2 本事業広報物

Tosho Ring News（事業広報誌）での広報

季刊誌の毎号1ページを用い、JICA 中部とのコラボ、巡回展示テーマ・順序・期間を巡回展示風景を報告。

### 5-3 葉配布

連携校での各巡回展示期間における葉配布。

本事業キャラクター・トリイと基調デザインの水玉模様そして巡回展示テーマを記載して事務局にてオリジナル葉を作成。

8種を事務局でデザインし、データ配信・印刷し。

巡回展示期間に図書館内の展示箇所やカウンターにて配布。



より効果的な広報活動を行うという点において、JICA 中部制作の掲示物は視覚的効果が高かった。また図書館 HP での案内掲載は連携校での巡回展示における好意的協力姿勢として感慨深いものであった。

## 6、巡回展示による成果報告

### 6-1 企画実施

平成25年度巡回展示企画は、共同図書環事業連携校全校が本企画に賛同参加した。

一昨年度は、年度始めの急な巡回展示企画提案であったにもかかわらず、趣旨賛同した3大学での共同図書展示企画として行うことができた。昨年度の巡回展示は、平成23年度下半期よりテーマ継承として企画立案し、会議にて賛同承認されたことにより連携校全5大学での実施が可能となった。そのことを踏まえ、平成25年度もテーマを継承し、運営サポートサイトでテーマ名称や協働先等を協議し、会議にて合議され、連携校全5大学で実施することができた。

巡回する展示図書については、まずは連携校の既存の蔵書から選書を行った。その上で事務局で選書提案・重複調整・リスト作成を行った。さらに平成25年度第1回発注（各連携校図書経費による購入）選書を実施した連携校もあった。この図書購入は巡回展示における有効性を示唆するもの

であると考えられる。

連携事業の企画実施には連携校との合意が重要であり、展示図書および装飾品の準備・調達、移動日程・作業の調整等のために人的協力が不可欠であった。

## 6-2 共有

連携校の本事業図書部会にて、情報交換・交流を目的として情報共有を行った。また運営サポートサイトにおいて、各連携校での展示状況の様子を事務局から報告発信した。その様子を写した画像は連携校での次展示の参考とすることができた。

巡回展示において図書の多様性の存在を再帰させ、そしてテーマを意識させるツールとしての装飾は、他の図書館を自館と相対化し、見出した差異を埋めるための同一化を志向することとなった。

巡回図書を共有することにより、各図書館の図書経費を軽減することができた。また展示キャプション・書評などの装飾品・装具を共有することにより、各図書館職員の展示装飾制作の手間を省くことができ、より効率的な展示対応を可能とした。さらに専門性の高い県芸大の美術学部の学生によるデザインは連携校の学生の目を惹き、各図書館職員の展示の参考となった。

今後の連携企画の実施体制を考える上でも、各職員の負担軽減・省力化も勘案しつつ、ノウハウを共有し、相互に好影響を与え合うことを念頭におくことが大切な課題であると思われる。

## 6-3 独立行政法人国際協力機構 JICA 中部との連携・協働

平成25年4月25日、共同図書環事務局主催で連携校の見学希望実務者と JICA 中部・なごや地球広場（名古屋市市中村区平池町4丁目60-7）の視察見学を行った。そして本事業企画の資料提示・説明を行い、今年度、本企画に協働することが合議できた。同機構の名義使用は5月8日承認された。

本企画において、JICA 中部と連携した協働は、広報的により充実した巡回展示を展開することになった。年度当初より JICA 中部の活動に関する JICA ポスター掲示・パンフレット配布した連携校図書館もあった。JICA 中部のポスターや様々なパンフレット類は企画ごとに作成され、内容も多種多様で、美しいデザインで整えられている。日本語のみならず、英語・中国語等でも作成されており、留学生への対応も可能となった。また JICA 中部からは本企画展示用にと、各国からの民芸品等も貸与され、より世界を身近に感じられるよう展示に対する助言・提案をもなされた。



独立行政法人国際協力機構 JICA 中部 視察風景・配布物

#### 6-4 まとめ

平成23年度の共同図書テーマ展示から発展し、平成24年度の共同図書巡回展示では日赤と連携して、命・人道的協力・献血活動について考えた。そして平成25年度はJICA 中部と異文化理解・国際協力精神・国際貢献・フェアトレードなどを考え、選書し、巡回展示して学生への啓蒙を実施してきた。JICA 中部と連携・協働することは、連携校学生への一層の理解と関連性を構築することを可能とした。そしてより巡回展示を視覚的に魅力あるものとするために、学生ボランティアを起用し装飾物制作協力を得た。

本事業において2か年の巡回展示を行ったことにより、連携校間における信頼や親近感が深まることとなり、より充実したサポート体制を形成することができた。また利用者である学生の関心並びに社会情勢等を把握し、各連携校の意見を調整しつつテーマ設定を行い、その上で企画を実施していくことがより効果的であると考察する。

本企画に関わる活動協力により、様々な意見や配慮を得て、新たな試みからは様々なものを得ることができた。各連携校の企画においても、本企画で得られたものを継承し、さらなる効果的な発展を願うものである。

平成25年度 共同図書環事業 巡回展示図書

	書名	請求記号	ID	備考	図書館・発注館
1	ソーシャルトラベル 旅ととき社会貢献。	290.9/H85/	880143579	H24購入	県芸大
2	行きたいときに行きたい場所へ 一人で海外！ 最初の一步を踏み出すための安心旅行術	290.93/Y86/	880109254	既存	書評 県大発注
3	この社会で戦う君に「知の世界地図」をあげよう 池上彰教授の東工大講義	304/I33/	880143784	H24購入	書評 県芸大
4	紛争と文化外交 平和構築を支える文化の力	319.8/F84/	880143793		県芸大
5	永遠平和のために	319.8/Ka59/	880046824	既存	書評 県芸大
6	平和を目指す君に ネパールとアフガニスタンで考えた抑止力と平和構築	319.8/Ko38/	880143640	H24購入	県芸大
7	エコとピースの交差点：ラムス先生のわくわく平和学	319.8/L96/	880101612	既存	淑徳大発注
8	貧困からの自由 世界最大のNGO-BRACとアベッド総裁の軌跡	329.36/Sm4/	880143766	H24購入	県芸大
9	日本の国際協力がわかる事典 どんな活動をしているの？ 災害救助から環境保護まで	329.39/Ma37/	880143855	H24購入	県芸大
10	国際ボランティア論 世界の人のびとと出会い、学ぶ	333.8/U96/	880143800	H24購入	県芸大
11	はじめての国際協力 変わる世界とどう向きあうか	333.8/U96/	880143819	H24購入	県芸大
12	貧しい国で女の子として生きるということ	367.2/Ma99/	880143659	H24購入	書評 県芸大
13	私を変えた体験 世界の若者からのメッセージ 五井平和財団・ユネスコ主催国際ユース作文コンテスト選	375.86/G58	880147077	H24購入	書評 県芸大
14	国境なき大学選び 日本の大学だけが大学じゃない！	377.6/Y31/	880143603	H24購入	書評 県芸大
15	世界を変えるデザイン：ものづくりには夢がある	504/Sm5/	880075791	既存	県芸大
16	NAKED FASHION ファッションで世界を変える	589.2/Mi44/	880143935	H24購入	県芸大
17	フィリピンのアートと国際文化交流	702.248/Su96/	880144084	H24購入	県芸大
18	世界遺産を平和の砦に 武力紛争から文化を守るハーグ条約	709/Ta33/	880143962	H24購入	県芸大
19	シューズとアフリカと500日	782.3/Ta33/	880144093	H24購入	県芸大
20	途上国から見た日本 文化は異文化で磨かれる	933.8/Ko67/	880144342	H24購入	書評 県芸大
21	グローバリゼーション	319/Su83/	880021567	既存	名外大・学芸
22	ブルー・セーター：引き裂かれた世界をつなぐ起業家たちの物語	333.8/N97/	880091230	既存	名外大・学芸
23	国際緊急人道支援	333.8/U96/	880022920	既存	名外大・学芸
24	前へ前へ前へ	335.8/Sa22	880131200	既存	名外大・学芸
25	世界を変えるオンゴト	335.8/So11	880125614	既存	名外大・学芸
26	シエラレオネ：5歳までしか生きられない子どもたち	498.024/O24	880054165	既存	書評 名外大・学芸
27	なぜ世界の半分が飢えるのか	611.3/J66	880035698	既存	名外大・学芸
28	コーヒーを通して見たフェアトレード	617.3/Ki93	880125900	既存	名外大・学芸
29	フェアトレードを学ぶ人のために	678.2/Sa85	880125884	既存	名外大・学芸
30	地球日記 沖縄発JICAボランティア	333.8/C44/1	880146169	H24購入	名外大・学芸
31	地球日記 沖縄発JICAボランティア 2	333.8/C44/2	880146178	H24購入	名外大・学芸
32	地域を変えるソフトパワー アートプロジェクトがつなぐ人の知恵、まちの経験	702.19/F56	880146641	H24購入	名外大・学芸
33	進む中央アジアとの出会い 文化交流と国際協力と	333.829/Y82	880146113	H24購入	名外大・学芸
34	平和構築・入門	319.8/F68	880145840	H24購入	名外大・学芸
35	トットちゃんと地球っ子たち 黒柳徹子ユニセフ親善大使28年の全記録	369.4/Ta89	880146294	H24購入	名外大・学芸
36	人道的交渉の現場から 国境なき医師団の葛藤と選択	329.36/Ma29	880145831	H24購入	名外大・学芸
37	親光立国へのアプローチ	689.4/Y26	880150887	H25購入	県大
38	ケースで学ぶ異文化コミュニケーション（有斐閣選書）	361.45/Ku37	880150223	H25購入	県大
39	韓国のグローバル人材育成力（講談社現代新書）	372.21/I92	880150081	H25購入	県大
40	グローバルリーダーの条件	159/O61	880083597		県大
41	世界の市場	290.93/Ma86	880140746		県大
42	<新>植民地主義論	304/N83	880087442		県大
43	世界がもし100人の村だったら 完結編	304/I32	880040615		書評 県大
44	人権で世界を変える30の方法	316.1/J52	880062336		県大
45	総図解よくわかる世界の紛争・内乱	319/Se24	880119635		県大
46	グローバル空間の政治経済学	333.6/Sa82	880087460		県大
47	「国際協力」をやってみませんか？	333.8/Y31	880129589		県大
48	肥満と飢餓 - 世界フードビジネスの不幸のシステム	611.3/P27	880117837	淑徳大購入	淑徳大発注
49	食の終焉 - グローバル経済がもたらしたもうひとつの危機	611.3/R52	880130140		県大
50	おいしいコーヒーの経済学	617.3/Ts44	880073643	淑徳大購入	淑徳大発注
51	コーヒーのグローバル・ヒストリー	619.89/O97	880115663		県大
52	コーヒー学のすすめ	619.89/L97	880096147		県大
53	ナマコを歩く	664.78/A31	880141420		県大
54	100円からできる国際協力 1	329.39/H99/1	880147326	H25購入	淑徳大 星が丘
55	100円からできる国際協力 2	329.39/H99/2	880147335	H25購入	淑徳大 星が丘
56	100円からできる国際協力 3	329.39/H99/3	880147344	H25購入	淑徳大 星が丘
57	100円からできる国際協力 4	329.39/H99/4	880149456	H25購入(未ヒット図書)	淑徳大
58	100円からできる国際協力 5	329.39/H99/5	880149465	H25購入(未ヒット図書)	淑徳大
59	汗と感動の学校づくり 私のささやかな国際貢献	369.7/N54	880147317	H25購入	淑徳大 星が丘
60	飛べない鳥たちへ 無償無給の国際医療ボランティア「ジャパンハート」の挑戦	498.022/Y92	880147353	H25購入	淑徳大
61	平和学を学ぶ人のために	319.8/Ki32	880116670		淑徳大 星が丘
62	戦争をやめさせ環境破壊をくいとめる新しい社会のつくり方：エコとピースのオルタナティブ	319.8/Ta84	880101603		淑徳大 星が丘
63	グローバリゼーションと人間の安全保障	319.8/Se56	880077624		淑徳大 星が丘
64	草の根の国際交流と国際協力	319/Ko51/1	880008144		淑徳大 星が丘
65	国際交流の組織運営とネットワーク	319/Ko51/2	880008153		淑徳大 星が丘
66	国をつくるという仕事	333.8/N84/	880078532		淑徳大 星が丘
67	国際協力論を学ぶ人のために	333.8/U96/	880032767	既存図書	淑徳大 星が丘
68	開発学を学ぶ人のために	333.8/Ki24/	880032506		淑徳大 星が丘
69	創造的破壊とは何か：日本産業の再挑戦 = The creative destruction of Japanese industries	335.3/I43/	880031868		淑徳大 星が丘
70	ソーシャル・エンタープライズ：社会貢献をビジネスにする	335.8/Ts54/	880079772		淑徳大 星が丘
71	未来をつくる資本主義：世界の難問をビジネスは解決できるか	335.13/H42/	880034930		淑徳大 星が丘
72	創造：生物多様性を守るためのアビール	519.8/W75/	880102100		淑徳大
73	世界の食料ムダ捨て事情	611.3/St9/	880117784		淑徳大

## 平成25年度 共同図書環事業

### 「変化の時代を生き抜くための読書」 諏訪哲史氏講演会 報告書

#### 1、趣旨

事業発足5周年を記念に芥川賞作家諏訪哲史氏を講師として、「変化の時代を生き抜くための読書」の講演を通じて、読書啓蒙、図書情報交換、大学間の交流を図る。図書を読むことは書く力、思考する力、表現する力や想像力を養う上で大変重要なことであり、それらの能力は学生にとって変化し続ける時代を生き抜くための大きな力となる。図書を読み楽しみ、図書とともに成長していく喜び、資料による研究の達成、研究のための環境づくり等についての講演を行う。また講師と聴講者との交流を質疑応答をもって促し、内容をさらに発展させる。また本講演を大学教職員にも公開し、読書を通じた生涯学習についての機会を提供する社会貢献をも目的とする。

#### 2、開催日時

平成25年9月28日（金）午後2時より4時

#### 3、開催場所

名古屋外国語大学・名古屋学芸大学中央図書館5階 多目的室・ホール

#### 4、テーマ

「変化の時代を生き抜くための読書」

#### 5、講演者

諏訪哲史 愛知淑徳大学 准教授、芥川賞作家

#### 6、協働

- ・公益財団法人 大幸財団 地域の学術文化振興助成事業
- ・あいちトリエンナーレ2013パートナーシップ事業

#### 7、募集申込・参加状況

- ・募集100名

申込内訳 学生61名（県大9、芸大3、外大10、淑徳32、その他7）

教員12名（県大1、淑徳1、外大2、学芸6、その他2）

職員13名（県大2、芸大1、外大2、淑徳2、その他6）

関係者7名（淑徳5、その他2）

運営者7名（県大1、芸大1、外大4、淑徳1）

- ・参加73名

参加内訳 学生38名（県大5、芸大2、外大8、学芸1、淑徳16、その他6）

教員11名（県大1、淑徳1、外大2、学芸5、その他2）

職員10名（県大2、芸大1、外大2、淑徳2、その他3）

関係者7名（淑徳5、その他2）

運営者7名（県大1、芸大1、外大4、淑徳1）

## 8、広報活動

- ① 各連携校図書館担当者による広報
  - ・大学・図書館ホームページへの掲載
  - ・学内掲示板へのチラシ貼付・配布
  - ・学内メール配信共同図書環事業事務局による広報
- ② 共同図書環事務局による広報
  - ・Tosho Ring ホームページへの掲載
  - ・Tosho Ring News への掲載
  - ・新聞社広報（朝日新聞 6/7 中日新聞 8/27 毎日新聞 8/30）
  - ・あいちトリエンナーレ 2013 パートナーシップ事業協力
  - ・ラジオカー広報（不採択）

## 9、実施内容

- ① 受付（1時30分～2時 名古屋外国語大学・名古屋学芸大学中央図書館1階入り口）名簿チェック、配布物手渡し
- ② 講演会（2時～3時45分）諸注意・案内・挨拶等約10分あり
- ③ 質疑応答（3時45分～4時 質問者4名）
- ④ 著作物展示・著作物書評掲示・貴重図書展示（待ち時間閲覧）
- ⑤ 著作物販売・サイン会（4時～4時30分）
- ⑥ 交流会（4時～5時30分）
- ⑦ アンケート回収・集計
- ⑧その他 スクールバス、シャトルバスの講演会参加者への無料化

## 10、講演会風景

別紙 講演会風景記載の通り。

## 11、学生・教職員からの意見・感想

別紙 アンケートまとめ記載の通り。

## 12、講演会配布物

Tosho Ring 鞆、栞、共同図書環案内、レジュメ、Tosho Ring News11号、外大イベントチラシ、芸大イベントチラシ）

## 13、新聞掲載

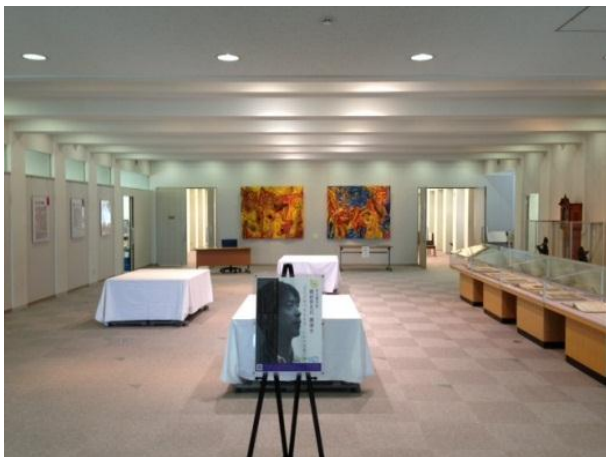
別紙新聞（中日新聞 9/29）記載の通り。



名古屋外国語大学・名古屋学芸大学中央図書館



図書館入口・立て看板



図書館5階多目的室前ホール（交流会場）



図書館入口・受付風景



多目的室入口横・著書販売（丸善）



講演会配布物





図書館5階多目的室・講演会場



著書展示と事業案内



講演会場・講演前風景



多目的室前ホール・著書書評紹介パネル



サイン会（講演後）

諏訪氏サインと名古屋外国語大学亀山郁夫学長



交流会風景（講演後）



諏訪氏講演中、著書「スワ氏文集」朗読後



記念撮影 講演会后（中央：講演者・名古屋外国語大学亀山学長と学生、共同図書環事業関係者）

「変化の時代を生き抜くための読書」 諏訪哲史氏講演会アンケートまとめ
------------------------------------

・平成25年9月28日（土）14:00～16:00

・参加者73名 回答数 58件 （79.45%）

## 1) 区分

大学生	37名
大学院生	2名
教員	7名
職員	9名
その他	3名
計	58名

## 2) 所属大学

愛知県立大学	8名
愛知県立芸術大学	4名
愛知淑徳大学	19名
名古屋外国語大学	8名
名古屋学芸大学	5名
その他	11名
不明	3名
計	58名

## 3) 本企画の周知（複数回答あり）

大学内掲示	33名
大学のホームページ	9名
新聞記事	2名
その他	15名
計	59名

## 4) 内容についての印象

たいへん満足	45名
まあまあ満足	9名
物足りない	1名
不明	3名
計	58名

## 5) 交流会時間について

長すぎる	4名
適切だった	48名
短すぎる	4名
その他	2名
計	58名

## 6) 印象に残ったこと (43件)

- プライベートな話しがきけたこと
- 諏訪先生の小説の考え方が聞けてよかったです。
- 吃音が必ずしも悪いものではないということ。
- 文学の外国語性という視点が大変意味深いと思います。
- 芥川賞作家の生き方—F1 レーサーのように生きよ。種村先生に向かって書いた私信（壁の前でしゃべる、孤独者として）50手前に再評価される偽りなくかいたもの。
- 作家⇔300km/hのF1。
- 作家の考え方を知れた点
- 演者について何も知らないで、自分の中で受け取るのがむずかしい話でした。脱線した話がおもしろいのは、そうなんだろうな。
- 「アサッテの人」の「アサッテ」の意味
- 外国語
- 諏訪先生のお話
- 種村先生とのエピソードがとても印象的でした。
- 文学は外国語であるという言葉がとても印象的でした。大変おもしろかったです。
- 諏訪が身近な感じがした。
- 私は頭も良い方ではなく、読書家にとっては多分全く本を読まない人の分類に居るので、6割は「ああ！」とか「??？」って感じで聞いていましたが、宮沢賢治とドンキホーテの話がすごく共感できて感激しました。全然関係なくですいません。
- 諏訪さんにとっての「リアル」と「文学は外国語である」というお話が印象に残りました。
- 大変面白かったです。
- すべてが鮮烈でした。
- 書く事の不可能性について常々思っていた事を代弁してくれたこと。
- 本当の文学とは・・・本当の作家とは・・・が分かりました。奥が深いなあと感じました。
- 本物の文学とは「時代を超越した」ものである。→文学的言語←外国語性 「アサッテの人」の裏話、種村季弘氏との親愛的な交流。
- 孤独者が孤独者のために書くとおっしゃっていたのが印象的でした。
- 小説は外国語だという言葉
- 本人の読書遍歴と著作とからめながらの説明が良かったです。軽快なトークで聞きやすかったです。
- 作家はF1カーとして300km/h超えの言葉で語るべきというところ。優れた本は“外国語”で書かれている。というところなど。
- アサッテということばと領域
- 小説における「リアル」
- リアルについてのお話
- 始めの「スワ氏文集」の朗読がおもしろくて印象に残りました。
- 月並みかもしれないが、作品から受けた印象とは全く違う人物だったように感じた。作品をもう一度読んでみようと思うが、今日受けた印象と作品を合せていいものか迷う。

- 文学からは読（見え）めない諏訪氏の素顔を見ることができたこと。
- 現代あるいは先々の孤立者のために文学がある。という言葉に感銘を受けました。作家だけでなく、表現者というおおきなくくりで見ても的を射ていると感じます。
- 言葉選びの難しさ。
- 「Discommunication」「文学の外国語性」というくだりの話がおもしろかったです。
- 物語を読むときに話を読むのではなく書かれていることを読むということ。
- 外国語性について
- とにかく諏訪先生はおもしろいなと思った。笑いの中にメッセージ性があり良かった。
- 講演テーマにとらわれず幅広いお話が聴けて教養になりました。共同図書環事業に関しての知識もなかったなので、ぜひ継続していただけたらと思います。
- 諏訪先生があんなに本気で（さらけ出せる）語られる人とは思わなかったので、胸をうたれました。いろいろ刺激を受けるお話でした。
- 「孤独者になれ」という事を言い切ってしまう先生の講義を受けてみたいと思いました。
- 宮沢賢治の小説を物語として読むのではなく、一つ一つの文章に書かれている言葉を見たという先生の言葉が忘れられません。小説を書くことと同時に読む時の意識も重要なのだと実感しました。
- ありがとうございます。リアルとポンパの先生自らの説明に感謝します。
- 諏訪先生の服装がフランクなことにまずドキモを抜かれました（良い意味で）

#### 7) 本講演会についての意見・感想（33件）

- 作家さんのことがよくわかりました。
- もう少し席数の多い部屋だったらよかった。
- 人間の深みを見ることができたような気がします。大変貴重な体験をありがとうございました。
- 今後もこういう県内の著名な作家・大学教授の話をきく機会を与えて下さい。
- 適切な規模でとても良かった。
- 大変良い機会をありがとうございました。
- たくさんやってほしいです。
- とても幸せな時間でした。自分の心に響く言葉がたくさんあり、本当に来て良かったです。
- 取材・撮影させて頂きありがとうございました。
- 文学の中に迫ることができた。
- ただ1人の人間の為に話を書く、作品を作るっていうのが、私も今似たような境遇にいるので（二次創作ですが）規模が違うけど、とても共感致しました。作家さんもそういうことがあるんだなあと思いました。
- 企画から実現までご苦労様でした。ありがとうございました。
- ドスト氏大好きなので、少し話して頂けて嬉しかったです。外国語性・他者性が小説に要るなどのアドバイスがありがたかったです。たいへん有意義な時間でした。ありがとうございました。
- ニッチと需要の隙間を埋めるような企画を今後も是非。
- 孤独者で日常的言語の風車に対して、文学的言語を用いて立ち向かうドン・キホーテの諏訪

氏の文学論は無明な世界に色彩を落とす一役をなることと思われる。

- 今後もより深い読書ができそうです。また機会があれば次回もこのような講演会に参加したいです。
- 小説に対しての新たな独特な見解が聴けてよかった。
- 新作の話が・・・色々タイミングが大事だと思いました。オフレコがきけて良かったです。
- 勉強になった。
- またこのような講演会の機会を設けて頂けるとありがたいです。
- ユーモアを交えつつ、一つ一つの言葉を丁寧に選ばれている印象で、さすが言葉をお仕事にされて大切にされている方なのだと感じました。
- 新たな小説の読み方が提示された感じ。
- いつも朝日新聞のコラムで楽しませて頂いている諏訪さんを間近で見、お話も聞けて有意義でした。
- とてもためになる機会をもうけてくださってありがとうございました。
- アサツテの人を読んでから今日の講演を聴いて優れた文学は外国語で書かれている孤独者の言葉であるということに納得できました。
- 真面目な話、とても面白く聞くことができました。
- 二部構成でパネルディスカッションがあったらおもしろいなって思った。せっかく文学の研究者（県大鶴殿教授）も来ていたので。
- 広報のしかたが良かったと思います。（県大学内の）席は端の人が諏訪さんの方に向いた方が良かったと思いました。
- 素敵な講演会を企画していただき、本当にありがとうございました。
- 先生の新作がとても気になります。村上春樹の「色彩をもたない多崎つくる」も読んだので、どの点が似ているか見てみたいです。
- 諏訪さんのお話が聞けて良かったです。
- 是非 お話の記録をまとめたものがあればと思います。
- アサツテの人を深く知るヒントを講演の言葉の中から、あるいはしぐさなどから得られた気がします。言葉自体をみつめるこの講演が、外大で開かれたことを嬉しく思います。

# 読書は時代超えて

## 芥川賞作家 諏訪さん講演

日 進

芥川賞作家の諏訪哲史さんの講演会「変化の時代を生き抜くための読書」が二十八日、日進市岩崎町の名古屋外国語大・名古屋学芸大図書館であり、諏訪さんは学生ら百人を前に「自分の絶対的孤独の中に全身を浸して書

いたものが小説」と話した。



講演会は両大のほか、県立大、県立芸術大、愛知淑徳大が主催。五大学が共同図書を購入したり、無料で取り寄せて借りたり

できる「共同図書環事業」の五周年記念として開いた。諏訪さんは現在愛知淑徳大メディアプロデュース学部准教授を務めている。

「今、読書は時代を超えている」と説明。「今の孤独者が読むと、ときめんに心が揺さぶられるものがある。読書は時代を超えている」と語った。

(並木智子)

諏訪さんは「古典は非常に孤独なさなかにいた者が自分の中から排出したものが書かれ

講演する諏訪哲史さん  
日進市岩崎町で

## 発 表

### 私立大学図書館協議会西地区部会東海地区協議会第2回研究会



中部大学三浦記念図書館にて事例発表

平成23年10月28日(金) 中部大学での私立大学図書館協議会西地区部会東海地区協議会第2回研究会にて「大学連携による共同図書環の取組：学生視点に立った展示と学生の参画手法」について事例発表、ガイドグッズセッション展示発表

### 「館灯 50号」掲載

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会研究会会誌「館灯」50号に「大学連携による共同図書環の取組：学生視点に立った展示と学生の参画手法」掲載。論文は、東海地区協議会ウェブサイト並びに国立情報学研究所のCiNiiで全文公開。(発行：平成24年3月)  
[館灯]<http://www.jaspul.org/w-kyogikai/tokai/kantou/index.html>



### 「大学図書館における先進的な取り組みの実践例」掲載

文部科学省研究振興局情報課発行の「大学図書館における先進的な取り組みの実践例」に共同図書環事業が採択され、「利用者視点に立った図書検索システムの構築と利用者参加型の選書イベントの取組」として紹介。(発行：平成23年12月)  
[地域社会連携・国際対応]

[http://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/other/\\_icsFiles/afieldfile/2011/12/20/1314399\\_05.pdf](http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2011/12/20/1314399_05.pdf)



### 「図書館サービス・スタートブック」掲載

私立大学図書館協会発行『図書館サービス・スタートブック』に大学図書館における先進的な取り組み・特色ある取り組みのサービス事例として紹介。(発行：平成25年3月)



## 平成25年度 共同図書環事業 第15回図書館総合展 ポスターセッション出展報告

### 1 目的（ねらい）

図書館総合展とは、図書館を使う人、図書館で働く人、図書館に関わる仕事をしている人達が、“図書館の今後”について考え、「新たなパートナーシップ」を築いていく場である。その場を活用させ、平成20年度戦略的大学連携支援事業、その継承事業としての公私立の大学図書館連携業務の実績・成果発表を行う。

### 2 意義

共同図書環事業における各種企画の実践成果、学生参画紹介、公私立の大学図書館連携・運営紹介、地域、非営利法人との協働等の新たな大学図書館連携活動等の実践成果発表をすることにより、全国の図書館関係者の多角的視点への情報提供、図書館活動の活性化を目指すものである。

### 3 実施

日 時：平成25年10月29日（火）～31日（木）

場 所：パシフィコ横浜 展示ホール（神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1）

出展費：10,000円（消費税別・共同図書環事業運営費用）

参加者：愛知県立大学学術情報部共同図書環事業 大仲聡子はじめ4名

（旅費は共同図書環事業運営費用、連携校参加者は各連携校負担）

### 4 プログラムの内容

- ・平成25年10月29日（火）～31日（木）

第15回 図書館総合展 ポスターセッション出展（ブース番号20）

配布物：共同図書環事業案内（新生向利用案内、Tosho Ring News13号、同バックナンバー）

- ・平成25年10月30日（水）午後1時～3時

「ポスターセッション」出展 ブースにて解説・説明等

- ・ポスター内容：共同図書環事業説明（公私立連携事業・運営紹介）、学生参画事業（BOOK PARTY 共同図書巡回展示企画（図書展示と非営利団体協働）、書評活動、学生選書ツアー

### 5 ポスターセッション展示

共同図書環事業では、平成25年10月29日（火）～10月31日（木）にパシフィコ横浜を会場として開催された「第15回図書館総合展／学術情報オープンサミット2013」（3日間の来場者数：29,963名）のポスターセッションに参加した。10月30日午後1時から3時にブースにてポスターの展示を行った。

- ①連携について（近畿大）②学生ボランティアについて（横浜市立大）③図書館での企画について（公共図書館）④BOOK PARTYについて（共立女子大、近畿大、聖路加大、慶応大など）の反応があり、展示会場での解説・説明・質問対応を行った。

## 6 所感

図書館利用者を読書でどう交流させていくか、学生ボランティアの参加が徐々に減少するため、そのモチベーションをどう保つか？どうやってBOOK PARTYを作っていたか？BOOK PARTYはおとなしい子や女子大での交流としてはちょうどいい企画などという声があった。特に本事業での独自に発達したBOOK PARTYについての質問が多く、ビブリオバトルはちょっと厳しいという観点から、BOOK PARTYの募集、テーマ設定、冊子作成、その方法や手順などを熱心に質問され、メモやカメラに収められた。

図書館総合展運営委員会によるポスター掲示・撤収委託制度は前泊費用や旅費の経費節約となった。

連携校担当者が別の日に出張したため、各日の配布物補充を可能とした。3種の配布物は当日にほぼ全て持ち帰られていたことは、実務的な資料への関心が高かったと考えられる。連携校との参加を企画段階から考案したことは有意義なことであった。また別展示物での立体的な作りのポスターや仕掛けポスターなど工夫を凝らしたものは、今後の展示物作成の上で学ぶべきことがあった。本ポスターセッション展示を通じ、全国の図書館関係者と接することができた。特に大学図書館での学生参画・読書推進についての模索という共通点から相互情報交換ができた。

そして発表できるような内容、質問を受けるような図書館活動・読書推進活動を日々業務としている幸せを感じた。

本事業での成果発表としての情報提供が、図書館活動の活性化の一助となれば、有益な展示・出展であったと考える。

\*展示風景\*



# 新入生向け案内

平成23年度

## 入学おめでとう!

**共同図書、あなたの大学生活を彩ります。**

ベストセラー小説やエッセイ、実用書など話題の最新図書、文学、芸術、音楽、教育などの専門図書、学生や教員が選んだ「共同図書」の約10,000冊が「あなた」を待っています!

**「共同図書」って何?**  
愛知医科大学、愛知県立芸術大学、愛知県立大学、名古屋外国語大学、名古屋学芸大学の図書が、集まって共同図書の13,000冊の豊富な専門書を購入しました。それが「共同図書」です。愛知医科大学にある共同図書は、自由に貸し出しができます。

**「Tosho Ring」って何?**  
Tosho Ringでは、書籍を登録して自分の個人図書と他人に貸借することができ、図書についての情報も知ることができます。キーワードや書名などで検索して圖書を検索するだけでなく、愛知医科大学の先生や学生が推薦した書籍からも圖書を検索でき、書籍を予約して図書を受け取ります。

**愛知医科大学の図書購入日から起って、3冊の図書が無料で借りられる2,000冊の共同図書コーナーがあります。**  
最新書のある共同図書コーナーでの最新書の見逃し読みやウェブ感覚のソファでゆったりとした読書空間を享受しやすくなります。

**愛知医科大学の図書コーナーでは、1冊の共同図書コーナーに約300冊の共同図書があります。**  
最新、音楽分野を中心とした最新刊の図書をはじめ、小説、実用書、さらには学生達が実際に読んで感心で感心した本もあり、必読です。実際に手に取って、読書や感想文を手紙からしてお互いへの共同読書を通して交流が広がります。是非ご利用下さい。

**愛知医科大学では、先生や先生に共同読書の楽しさを伝えるために4冊まで貸し出すことができます。小説、入門書、雑誌に関する図書など、自由に借りやすくなるような図書の収集を行っています。検索に便利なように目録と検索履歴の両方から探すことができます。また、読書の楽しみや読書の楽しさを伝えるためのイベントや講座も開催されています。**

**名古屋外国語大学・名古屋学芸大学  
読書スタッフラリー**

読書で 交換して ほめよう

読書・教育・研究に結びつく図書がきっと見つかるはずです。そしてTosho Ringを使うともっと楽しいことができます。読書の会場で図書コーナーで展示している「共同図書」の本棚を是非のぞいてみてください。そしてお気軽に貸し出しの一言を借りてみましょう。  
その他には、ID登録を忘れずに。  
詳しくは各図書館の図書窓口までお尋ねください。  
読書の会場の情報は、愛知医科大学 図書課ホームページ、TEL: 0561-64-1111 (内線8101)  
URL: <http://www.lib.aic.ac.jp/>  
読書の会場の情報は、愛知医科大学 共同図書課ホームページ、TEL: 0561-64-1111 (内線8101)  
URL: <http://www.lib.aic.ac.jp/>

## 共同図書 Tosho Ring

話題のベストセラー小説やエッセイ、教育図書、文学、芸術、音楽、教育などの専門図書、学生や教員が選んだ約12,000冊の共同図書が「あなた」を待っています!  
読書の会場で「共同図書」の本棚を是非のぞいてみてください。そしてお気軽に貸し出しの一言を借りてみましょう。「読書ラリー」や「読書交換会」など読書を通して読書の学生と交流できる企画も開催しています。予約・予約とつながるためのひとつとして、是非ご利用下さい!

**共同図書 利用の流れ**

1. 共同図書コーナーへ行く
2. 共同図書の検索
3. 共同図書の予約
4. 共同図書の受け取り
5. 共同図書の返却
6. 共同図書の貸借
7. 共同図書の予約
8. 共同図書の受け取り

**共同図書 Q&A**

Q1: 何を借りるには?  
A1: 図書窓口で手続きをします。

Q2: 貸出期間と貸出冊数は?  
A2: 2週間、3冊です。

Q3: 読書場にある共同図書が読みたい!  
A3: 無料で取寄せできます。

**共同図書って何? 「Tosho Ring」って何?**  
共同図書課の連携校 愛知医科大学、愛知県立芸術大学、愛知県立大学、名古屋外国語大学、名古屋学芸大学の図書が連携して共同で図書を購入しました。それが「共同図書」です。読書場にある共同図書の検索や予約・感想文を書き込めるシステムを「Tosho Ring」といいます。

※ 予約・予約は、愛知医科大学 共同図書課事務局  
TEL: 0561-64-1111 (内線8101)  
URL: <http://www.lib.aic.ac.jp/>  
読書の会場の情報は、愛知医科大学 共同図書課ホームページ、TEL: 0561-64-1111 (内線8101)  
URL: <http://www.lib.aic.ac.jp/>

平成24年度

- 《配布時期等》
- ・ 入学時配布書類封入
- ・ 図書館ガイダンス、オリエンテーション、見学会等
- ・ 図書館カウンター等に設置
- 《印刷部数》
- ・ 愛知県立大学 1,500部
- ・ 愛知県立芸術大学 350部
- ・ 愛知淑徳大学 2,000部
- ・ 名古屋外国語大学・名古屋学芸大学 2,000部
- 《印刷形態》
- A4、片面、カラー印刷

平成25年度

## 共同図書 Tosho Ring

話題のベストセラー小説やエッセイ、教育図書、文学、芸術、音楽、教育などの専門図書、学生や教員が選んだ約14,000冊の共同図書が「あなた」を待っています!  
読書の会場で「共同図書」の本棚を是非のぞいてみてください。そしてお気軽に貸し出しの一言を借りてみましょう。「読書ラリー」や「読書交換会」など読書を通して読書の学生と交流できる企画も開催しています。予約・予約とつながるためのひとつとして、是非ご利用下さい!

**共同図書 利用の流れ**

1. 共同図書コーナーへ行く
2. 共同図書の検索
3. 共同図書の予約
4. 共同図書の受け取り
5. 共同図書の返却
6. 共同図書の貸借
7. 共同図書の予約
8. 共同図書の受け取り

**共同図書 Q&A**

Q1: 何を借りるには?  
A1: 図書窓口で手続きをします。

Q2: 貸出期間と貸出冊数は?  
A2: 2週間、3冊です。

Q3: 読書場にある共同図書が読みたい!  
A3: 無料で取寄せできます。

**共同図書って何? 「Tosho Ring」って何?**  
共同図書課の連携校 愛知医科大学、愛知県立芸術大学、愛知県立大学、名古屋外国語大学、名古屋学芸大学の図書が連携して共同で図書を購入しました。それが「共同図書」です。読書場にある共同図書の検索や予約・感想文を書き込めるシステムを「Tosho Ring」といいます。

※ 予約・予約は、愛知医科大学 共同図書課事務局  
TEL: 0561-64-1111 (内線8101) [lib@lib.aic.ac.jp](mailto:lib@lib.aic.ac.jp)  
URL: <http://www.lib.aic.ac.jp/>  
読書の会場の情報は、愛知医科大学 共同図書課ホームページ、TEL: 0561-64-1111 (内線8101)  
URL: <http://www.lib.aic.ac.jp/>

# Tosho Ring News

# 2011



創刊号 2011年6月号

編集・発行：共同図書環事業事務局

平成20年度文部科学省大学連携支援事業「共同図書館（環）の構築と新たな教養教育プログラムの開発」は、平成23年度から「共同図書環事業」として事業継承されることになりました。

Tosho Ring News は連携校の学生さん向けの情報誌として隔月発行です。

## 「共同図書環」って？

- ① 愛知県立大学、愛知県立芸術大学、愛知淑徳大学、名古屋外国語大学・名古屋学芸大学の図書館が、現在約10,000冊の共同図書を購入しています。
- ② 連携校にある共同図書は、自由に貸し出しができます。
- ③ 小説、エッセイ、実用書などの共同図書を連携校の学生や教職員が選書しています。

## 「Tosho Ring」って？

- ① Tosho Ring とは、共同図書を利用するためのシステムで既に約3,600名の学生・教職員が登録しています。
- ② キーワードや著者名、連携校の学生、教職員の書評からも検索できて、共同図書を選べます。
- ③ 書評を投稿して自分の読んだ図書を他の人にお薦めすることができ、図書についての情報交換ができます。
- ④ Tosho Ring の利用には登録が必要です。各大学図書館にてID申請をして下さい。

Tosho Ring ID登録者数

4月

4月中の登録者数は、愛知県立大学100名、愛知県立芸術大学56名、愛知淑徳大学22名、名古屋外国語大学19名・名古屋学芸大学30名、合計227名でした。

## 企 画

### 学生選書バスツアー・学生企画委員



平成23年6月22日（水）学生選書バスツアーを実施するために学生企画委員を募集したところ、愛知県立大学7名、愛知淑徳大学2名、名古屋外国語大学1名、名古屋学芸大学1名の合計11名の学生選書バスツアー企画委員に応募がありました。

委員会では、チラシ作成、バス内進行係、店内案内係、意見交換係、記録係を決め、各活動をしています。

委員用のTosho Ring バッジも時間外に作りました。

（平成23年5月17日愛知県立大学での企画委員会風景）

## 募 集 1

### 学生選書バスツアー

平成23年6月22日（水）午後3時より5時、連携校をバスで巡回して、ちくさ正文館書店へ出向き、共同図書環の選書を行います。詳しくは「学生選書バスツアー」のチラシ・ポスターをご覧ください。

## 募 集 2

### 「トリ」キャラクター名称募集

連携校の共同図書環コーナーのところどころにいる「トリ」キャラクターをご存じですか？

共同図書環で愛されているこの「トリ」キャラクターに名前を付けて下さい。

名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館で共同図書環利用カードデザイン募集をした時、名古屋学芸大学の学生さん（当時）がデザインされたものです。ずっと「トリ」と呼んでいましたが、そろそろ名前をつけて呼んであげたいです。

厳選なる選考の上、決定された名称にご応募された方には、Tosho Ring オリジナル バッグ（青・黒）とキーホルダーをプレゼント致します。

申し込み方法は、

①件名「トリ名称応募」として②本文に「名称」・大学名・学部・学年・氏名・学籍番号を明記して共同図書環事務局へメールにて6月末日までにご応募下さい。（1人1点応募）

応募先：[dairen@lib.aichi-pu.ac.jp](mailto:dairen@lib.aichi-pu.ac.jp)



## 連携校 名古屋外国大学・名古屋学芸大学図書館 紹介

第1回目は名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館の司書・東槇典子さんにインタビューしました。

名古屋外国語大学には、外国語学部、現代国際学部があります。

名古屋学芸大学には、管理栄養学部、メディア造形学部、ヒューマンケア学部があります。

名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館は、2つの大学の共用図書館のため、自分の専門外の図書を目にする機会が多々あり、興味の幅が広がる魅力的な図書館です。

共同図書環コーナーは図書館入ってすぐ右にあります。学生選書バスツアーで学生が選んでくれた図書もあるので、ぜひ利用してもらいたいです。



### 名古屋外国大学・名古屋学芸大学図書館共同図書

名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館では、共同図書を読んでTosho Ringにコメント（書評）を書くと、コメント数に応じてノベルティがもらえる「読書スタンプラリー」を継続実施しています。ノベルティは期間ごとに変更する予定です。何がもらえるかは図書館に来てからの楽しみ!!

図書を通じて連携校の学生と交流するきっかけにもなると思います。ぜひ参加してみてください。



#### 思い出の図書

「白夜行」（東野圭吾著）は学生時代、友人に薦められて一気に読みました。本の話をする機会がなかったのですが、結論について友人達と感想を言い交わした記憶がある思い出深い本です。映画化やドラマ化もされた話題の作品です。

（共同図書・請求番号 913.6/H55/）

#### 東槇典子さんおすすめの共同図書



#### リラックス読書

愛用のラベンダーのお香

リラックスしたい時や読書をするときに  
お香を焚きます。

ラベンダーの香りがお気に入り♪



編集者より：名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館は、緑あふれる自由な雰囲気の中、スタイリッシュでお洒落な施設です。図書館員の皆様が明るく活動されています。名古屋外国語大学・名古屋学芸大学選書の共同図書は明るいオレンジ色のラベルです。本号はそのオレンジ色で統一してみました。

皆様ご存知のとおり、平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」の被害は甚大なもので、連日報道から流れてくる状況はいたたまれない気持ちになります。

東北の美しい豊かな自然そして自然の脅威、東北に関する作品を展示することにより、東北・震災等について各自それぞれ考えようという、共同図書環事業での共同展示を現在、名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館、愛知県立芸術大学図書館で企画中です。(愛知淑徳大学図書館ではすでに震災等についての展示をされました。)

..... 私たちにできることはなにか？

編集後記

Tosho Ring News 2011は「魅せる共同図書環」をコンセプトとして、共同図書環事業に携わる関係者や共同図書の紹介、お知らせ等を掲載します。平成23年度より事業継続となり、本誌が学生の皆さんへの情報提供や交流の場となるよう努力して行きます。

創刊号は名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館にて取材をさせていただきました。ご協力ありがとうございました。

東日本大震災において..... 私たちにできることはなにか？

東日本大震災による国家的電力節電、中部電力浜岡原発津波対策の稼働停止等がなされる中、今後、夏の冷房電力需要を軽減するため、また電力使用による地球温暖化を抑制するため、日当たり側にアサガオ、ゴーヤなどの蔓性植物を植えて、「グリーン・カーテン」を育成してはいかがでしょうか？

東日本大震災により被災された皆様へ、お見舞い申し上げますと共に、一日も早い地域の復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

(共同図書環事業事務局・大仲聡子)



# Tosho Ring News

# 2011



2号 2011年8月号

編集・発行：共同図書環事業事務局

Tosho Ring News 2011 は「魅せる共同図書環」をコンセプトとして、共同図書環事業に携わる関係者や共同図書の紹介そして情報提供や交流の場、連携校の学生の皆さんへの情報誌として隔月発行です。Tosho Ring の利用には登録が必要です。各大学図書館にて申請手続きをして下さい。

## Tosho Ring ID 登録者数

5月～7月の登録者数は、愛知県立大学162名、愛知県立芸術大学73名、愛知淑徳大学49名、名古屋外国語大学103名・名古屋学芸大学76名、合計463名でした。

## 決定

## トリ キャラクター名称

共同図書環の「トリ キャラクター」は「トリィ」になりました！  
厳正なる選考の上、愛知淑徳大学の学生さんご応募の名称に決定いたしました！  
ご応募ありがとうございました。みなさんでかわいがってあげて下さい。

## 「トリィ」命名記念品贈呈式

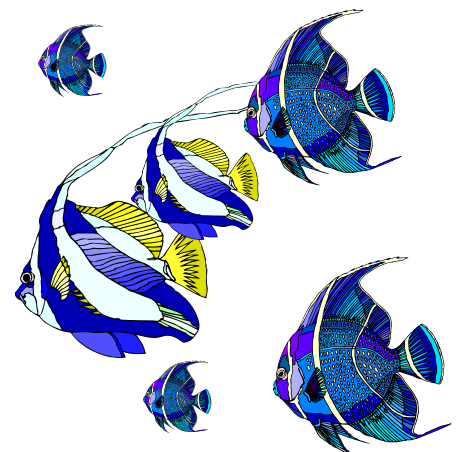
平成23年7月22日（金）愛知淑徳大学星が丘分館にて「トリィ」命名記念 記念品贈呈式を行いました。



事務局より賞状授与



命名者・愛知淑徳大学水谷愛以さん





# 報告

## 学生選書バスツアー

平成23年6月22日（水）午後1時より5時、連携校をバスで巡回して、ちくさ正文館書店にて共同図書環の選書・意見交換会・茶話会を行いました。

愛知県立大学16名、愛知県立芸術大学4名、愛知淑徳大学5名、名古屋外国語大学1名の合計26名の学生と教職員9名が参加し、259冊を選書しました。

### 書店内選書



### 意見交換会



### 茶話会



### 学生選書バスツアーが新聞掲載されました。



↑平成23年6月23日 中日新聞 朝刊（なごや東版）

平成23年7月12日 中日新聞 朝刊「学生之新聞」→  
(学生企画委員松林真衣さん投稿記事)

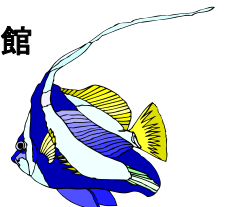
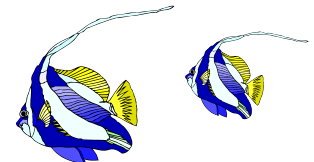


## 共同展示

### 私たちにできることはなにか？

平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」による被害は甚大なもので、連日報道から流れてくる状況はいたたまれない気持ちになります。東北の美しい豊かな自然そして自然の驚異、東北に関する作品を展示することにより、東北・震災・防災などについて各自で考えようという共同図書環事業での共同テーマ展示です。・・・私たちにできることはなにか？

展示連携校：名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館、愛知県立芸術大学図書館  
(愛知淑徳大学図書館では平成23年4月に震災等の展示をされました)



## 連携校 愛知県立芸術大学図書館 紹介

第2回目は愛知県立芸術大学芸術情報センター図書館の司書・榎島隆教さんにインタビューしました。

愛知県立芸術大学は、1966年4月に開学しました。

校舎は日本を代表する建築家・吉村順三氏の設計です。

図書館では現在約16万点の資料を所蔵しています。

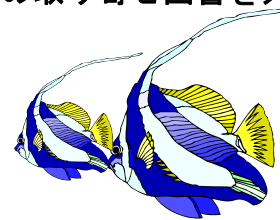
図書だけでなく、楽譜、画集、展覧会図録、CDがたくさんある魅力的な図書館です。

共同図書環コーナーは図書館2階の東側にあります。



## 愛知県立芸術大学図書館の共同図書環活動

愛知県立芸術大学図書館では、学生選書バスツアー図書や連携校からの取り寄せ図書を共同図書環コーナーで別置展示しています。



## 榎島隆教さんおすすめの共同図書



「火と水と木の詩」(吉村順三著)

愛知県立芸術大学の校舎を設計した著者が、建築について講演やインタビューを通じて自ら語った本です。芸大の設計についても分かりやすく話されています。是非読んでみてください。

(共同図書・請求番号 520.4/Y91)

## 思い出の図書

「一色一生」(志村ふくみ著)

私は色彩検定を受けたこともあり、色に関する本を読むのが好きです。この本からは染織家である彼女の色彩に対しての豊かな感性、そして染織という仕事に対する真摯な姿勢がにじみ出ています。

(共同図書・請求番号 753.04/Sh56)



## 旅先での図書館



5月下旬にオーストリアの国会図書館に新婚旅行で行きました。背の高い古書架、美しい天井絵画は教会のような荘厳な雰囲気があり、司書の聖地と言ってもいいような図書館です。ウィーンを訪ねた折には是非ここにもお立ち寄り下さい。

編集者より：愛知県立芸術大学図書館は、広々とした丘陵の中にある未来の芸術家達の学び舎です。愛知県立芸術大学選書の共同図書は爽やかなブルー色のラベルです。本号はそのブルー色で統一してみました。

平成23年6月28日（火）名古屋学院大学名古屋キャンパス白鳥学舎翼館での私立大学図書館協議会西地区部会東海地区協議会第1回研究会に参加致しました。

松岡正剛氏の特別講演会がありました。共同図書環では同氏著作「松岡正剛千夜千冊」「多読術」「日本刀」「空海の夢」「白川静：漢字の世界観」等を所蔵しています。



松岡正剛氏と記念撮影

（写真は名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館共同図書環実務担当者と共同図書環事業事務局担当です）

## 編集後記

蒸し暑い日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか？

第2号は愛知県立芸術大学図書館にて取材をさせていただきました。ご協力ありがとうございました。

県立大学学術情報部のグリーン・カーテンは順調に育成中です。



本誌創刊号での呼びかけによりゴーヤ、フウセンカヅラ、ツルアリンゲンなどの育成がなされ、大変うれしく思っております。

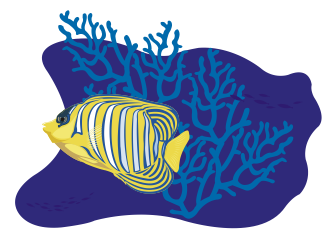
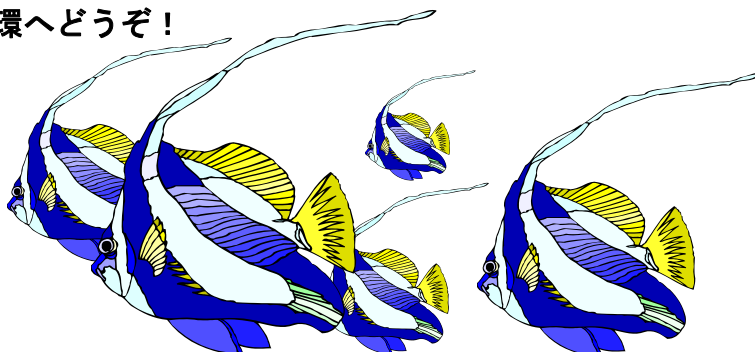
冷房室内での読書も快適ですが、木陰や木漏れ陽の下での読書はいかがでしょう？



東日本大震災において、私たちにできることはなにか？

現地支援のほかに産物購入支援、観光支援もあります。また節電、防災、避難場所確認、救急用品準備、連絡先確認など、、、身近なできる範囲から「私たちにできることはなにか？」と考えてみませんか？共同図書環事業での共同展示、関連図書がご参考になれば幸いです。

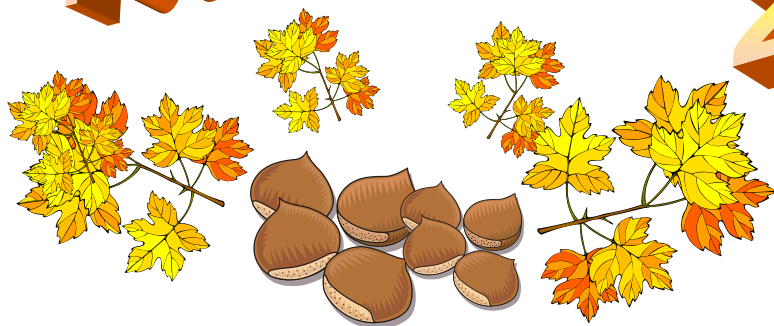
図書館では学習や読書に最適な温度を提供しています。涼を求めて大学図書館へ、共同図書環へどうぞ！



（共同図書環事業事務局・大仲聡子）

# Tosho Ring News

## 2011



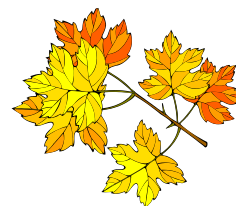
3号 2011年10月号

編集・発行：共同図書環事業事務局

Tosho Ring News 2011 は「魅せる共同図書環」をコンセプトとして、共同図書環事業に携わる関係者や共同図書の紹介そして情報提供や交流の場、連携校の学生の皆さんへの情報誌として隔月発行です。Tosho Ring の利用には登録が必要です。各大学図書館にて申請手続きをして下さい。

Tosho Ring ID 登録者数

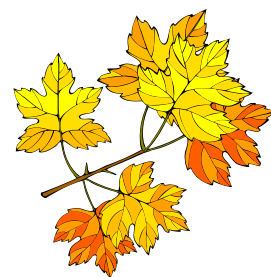
8月～9月



8月～9月中の登録者数は、愛知県立大学27名、愛知県立芸術大学5名、愛知淑徳大学5名、名古屋外国語大学14名・名古屋学芸大学8名、合計59名でした。

募 集

Tosho Ring 図書交流会 学生企画委員 募集

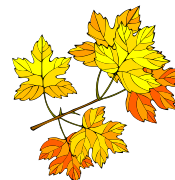
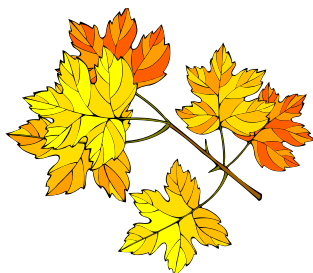


共同図書環事業では「共同図書環 図書交流会学生企画委員」を募集します。図書紹介や書評や物語りなどを構成する図書に関する交流会参加者を連携校から募り、会の企画・運営・開催に携わる委員です。任期は今年度末まで、募集人員は10名程度。

申し込み方法は、

- ① 件名「図書交流会学生企画委員」として②本文に大学名・学部・学年・氏名・学籍番号を明記して共同図書環事務局へメールにて10月15日までにご応募下さい。

応募先：[dairen@lib.aichi-pu.ac.jp](mailto:dairen@lib.aichi-pu.ac.jp)



## 連携校 愛知県立大学図書館 紹介

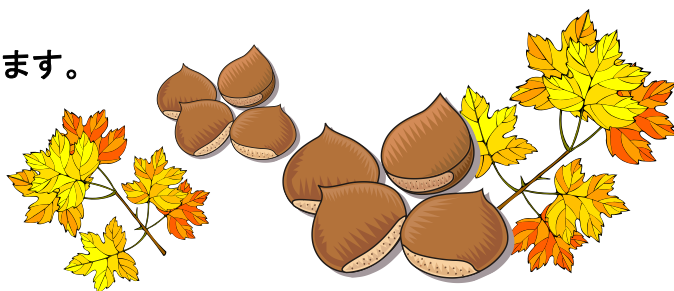
第3回目は愛知県立大学学術情報センター長久手キャンパス図書館の紹介です。

愛知県立大学長久手キャンパスはリニモの愛地球博記念公園駅北にあります。愛知県立大学には5学部12学科・専攻があり、3,236人の学生が在籍しています。(平成23年9月1日現在)

図書館は地下・地上2階の建物で、約52万冊の蔵書があります。その中には貴重書もあり、図書館HPから貴重書コレクションを閲覧することもできます。広く県民にも公開されている図書館です。

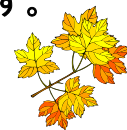
共同図書環コーナーは図書館入口よりすぐ右側にあります。

<http://www.aichi-pu.ac.jp/library/index.html>



## 愛知県立大学図書館の共同図書環活動

愛知県立大学図書館の共同図書環コーナーには、ラウンジのようにゆったり読書できるソファやTosho Ringを検索できるパソコンが2台あります。共同図書をテーマで展示もしています。

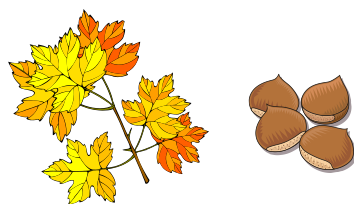


## 共同図書の新着図書紹介



愛知県立大学図書館の共同図書環コーナーに約300冊の新着図書が入りました。現在、6月に行われた学生選書バスツアーでの図書約100冊も展示貸出しています。

先輩や同級生が「友達に読んでもらいたい、卒論やレポートの参考に」と選んだ図書が満載です。



## おすすめの共同図書

愛知県立大学 学術情報センター長 大塚英二先生が6月の学生選書バスツアーでご選書されました。

吉川弘文館「<江戸>の人と身分」シリーズ全6巻  
(共同図書・請求番号210.5/E24/1~6)



編集者より：愛知県立大学図書館は、ガラス張りの大きな建物で学習スペースが1・2階に広々とあります。愛知県立大学選書の共同図書は黄色のラベルです。本号はその黄色で統一してみました。

## システム

## Tosho Ring' s Day



2009年10月19日に共同図書環のシステム Tosho Ring が稼働開始（誕生）しました。この日を Tosho Ring' s Day としています。

## Tosho Ring 開発担当



Tosho Ring の縁の下の力持ち、当システム開発担当者・落合弘之さんを紹介します。

愛知県立大学情報処理教育センター（CIE）に勤務、県大図書館とは少し離れた情報科学棟に常駐されています。Tosho Ring' s Day と落合さんの誕生日と1日違いです。それに合わせてシステム開発・稼働されたのでしょうか？

書評書き込み機能のある Tosho Ring を授業や研究・読書などにどうぞご活用下さい。

## 落合弘之さんおすすめの共同図書



- ・「認知科学への招待」（大津由紀雄・波多野誼余夫編著）

心の研究のおもしろさに迫る本です。

（共同図書・請求番号 007.1/087）

- ・「学問、楽しくなくちゃ」（益川敏英著）

2008年にノーベル物理学賞を受賞した益川先生の

大学生向けの講演や雑誌記事等で構成された本です。

（共同図書・請求番号 407/Ma67）

- ・「SF魂」（小松左京著）

日本にSFを根付かせた巨匠が語る波乱万丈のSF

半生記です。（共同図書・請求番号 910.268/Ko61）



## 落合さんから Tosho Ring について



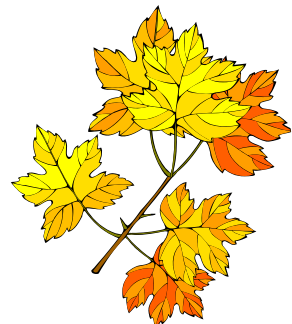
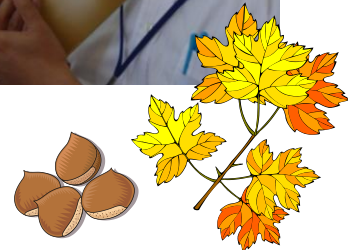
Tosho Ring を使ったサービスで私が目的としたかったのは、

- 1) 図書好きの大学生が大学図書館をもっと楽しめる図書館サービス
- 2) Amazon などとは違い、身近な大学生や先生の書評による図書の情報交換というだけでなく、
- 3) 読んだ事柄を自分のコトバで他の人に説明する機会を楽しんでもらいたいという狙いもありました。

理系／文系に関係なく、自分のコトバで他の人に説明するという事は最も

大切なことのひとつです。そして、それは頭の中を整理する機会となり、より深く捉え直す機会となり、新たな発見の機会とすることもできると思います。

書評を読んだり書いたりすることを通して、楽しく大学図書館を活用してもらえると嬉しいです。



## 配布



Tosho Ring's Day (10/19) にちなみまして、名古屋外国語大学・学芸大学図書館のご協力の下に作成した「トリィの葉（しおり）」を配布させていただきます。配布は各連携校図書館内、共同図書環コーナーやカウンターなどです。（各館により配布場所は異なります）どうぞ読書のおともにご活用下さい。数に限りがありますのでお早めどうぞ！



## 共同展示



「私たちにできることはなにか？」平成23年3月11日発生した東日本大震災について各自で考えようという共同図書環事業でのテーマ展示中です。節電、防災、避難所・連絡先確認、救急用品準備など身近なできる範囲から考えてみませんか？展示関連図書がご参考になれば幸いです。



愛知県立芸術大学図書館展示→  
←名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館展示

## 編集後記

暑さも落ち着き、木々が色づき、ポツと心も気持ちも色づく季節となりました。

音楽、書画、文芸、演劇、伝統芸能、お祭り、スポーツ、収穫、味覚イベントなど教養を深めたり、作品の世界に浸ったり、旬のグルメを堪能したり、豊かな自然や文化の彩りに触れてみませんか？

読書の秋です。大学図書館、共同図書環の図書、そして「トリィの葉」がそのお役に立てれば幸いです。 思い思いの秋の楽しみを見つけて下さい。

共同図書環事業事務局・大仲聡子



# Tosho Ring News

# 2011



4号 2011年12月号

編集・発行：共同図書環事業事務局

Tosho Ring News 2011 は「魅せる共同図書環」をコンセプトとして、共同図書環事業に携わる関係者や共同図書の紹介そして情報提供や交流の場、連携校の学生の皆さんへの情報誌として隔月発行です。Tosho Ring の利用には登録が必要です。各大学図書館にて申請手続きをして下さい。

Tosho Ring ID 登録者数

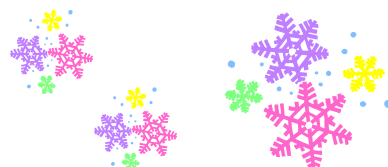
10月～11月



10月～11月中の登録者数は、愛知県立大学86名、愛知県立芸術大学20名、愛知淑徳大学28名、名古屋外国語大学41名・名古屋学芸大学44名、合計219名でした。

報 告

Tosho Ring 第1回図書交流会 @名外大・学芸



平成23年11月30日に名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館5階多目的室にて、平成23年度第1回 Tosho Ring 図書交流会を開催致しました。参加者15人、紹介図書34冊、「おススメの一冊」を紹介しました。終了後、コミュニケーション・プラザでお茶会もしました。

「新たなジャンルの本に出会えた、これから読む本の幅が広がる、色々な方とお話できた等」連携校生との活発な図書交流会になりました。



図書交流会参加者



紹介図書閲覧中



図書紹介中





## 連携校 愛知淑徳大学図書館 紹介



第4回目は愛知淑徳大学図書館の紹介です。

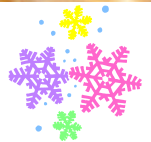
8学部11学科4専攻あり、院生も含めると学生数は8,441名(2011.5.1現在)在籍しています。長久手と星が丘キャンパスにそれぞれ図書館があり、図書は両館合計364,844冊(2011.3.31現在)を所蔵しています。また、マルチメディアリソース室所蔵の視聴覚資料は両館合計で16,594本(2011.3.31現在)です。

図書館ウェブサイトでの情報発信のほか、図書館学生サポーター Lib.Mates 編集の図書館広報誌『Lib. let』を発行しています。



←長久手図書館

星が丘分館→



## 共同図書環活動



共同図書は0～3類を星が丘分館、4～9類を長久手本館に排架しています。Lib.Matesも共同図書環事業支援活動に協力しています。

共同図書環案内表示にはTosho Ringキャラクター「トリィ」が登場しています。

## 図書館学生サポーター Lib.Mates



授業期間中、毎週水曜日昼にLib.Mates会議を行っています。(展示、Tosho Ring支援、Lib.let編集等)今期24名のメンバーが5グループに分かれて活躍中です。

←図書館長とLib.Mates 11/16会議出席メンバー



## Lib.Matesの読書スタイル

枕やクッションで読書姿勢確保、読書中に部屋の隅へ移動したり、紅茶や緑茶を飲みながら、音楽を聴きながらのリラックス読書、チョコが必需品というメンバーも・・・



編集者より：愛知淑徳大学選書の共同図書はピンク色のラベルです。本号はそのピンク色で統一してみました。共同図書ラベル色同様明るい図書館職員、可愛いLib.Matesそして笑顔に満ちた図書館です。

## Lib. Mates さんおススメの共同図書



←「あたらしいみかんのむきかた」(岡田好弘作 ; 神谷圭介絵文)  
みかんを食べる前のお楽しみ!  
(共同図書・請求番号 798/038)



「神様のカルテ」(夏川草介著) →  
医療について考えさせられます。  
(共同図書・請求番号 913.6/N58)



## 活動報告

### Tosho Ring 図書交流会企画委員



Tosho Ring 図書交流会企画委員会は、愛知県立大学5名、愛知淑徳大学2名、名古屋外国語大学1名、名古屋学芸大学1名の合計9名で交流会募集チラシデザイン、企画、運営、編集等を行っています。

連携校会議室でミーティングをしています。

11月30日に第1回図書交流会を開催しました。

次回交流会に向けて企画準備中です。



第1回 企画委員会出席メンバー

## 調査

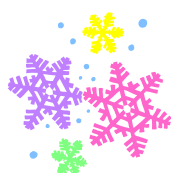
### 先進事例調査 名古屋工業大学見学



平成23年11月10日(木)名古屋工業大学図書館へ先進事例調査出張しました。

学生応募の書架コンペ作品前で記念撮影しました。

←写真は名古屋工業大学図書館担当者(両脇)と(左より)愛知県立芸術大学、名古屋外国語大学・名古屋学芸大学の共同図書環実務担当者と共同図書環事務局担当です。





平成23年10月28日（金）中部大学での私立大学図書館協議会西地区部会東海地区協議会第2回研究会にて「大学連携による共同図書環の取組：学生視点に立った展示と学生の参画手法」について事例発表、ガイドグッズセッション展示を行いました。



共同図書環事務局事例発表風景



中部大学三浦記念図書館見学

## 編集後記

第4号は愛知淑徳大学図書館、Lib. Mates の会議を取材させていただきました。ご協力ありがとうございました。

愛知県立大学学術情報部では、夏季活躍したグリーンカーテンのゴーヤー蔓でクリスマスリースを作りました。電力軽減・温暖化抑制・癒し・交流等のお仕事を終了しました。

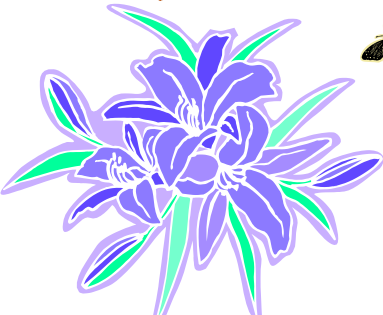
寒くなるとこもりがちになります。家での時間を情報収集する時間に充ててみてはいかがでしょうか？情報源は雑誌や漫画・写真集など、何でもOK！読書で知識が高まれば、何気ない日常も発見でいっぱい楽しさにあふれ、幸せいっぱいの日々が訪れるはずです。冬季休暇、家時間に楽しみを見つけましょう。

共同図書環事業事務局・大仲聡子



# Tosho Ring News

# 2012



5号 2012年2月号

編集・発行：共同図書環事業事務局

Tosho Ring News は今年度「魅せる共同図書環」をコンセプトとして、共同図書環事業に携わる関係者や共同図書の紹介そして情報提供や交流の場、連携校の学生の皆さんへの情報誌として隔月発行です。Tosho Ring の利用には登録が必要です。各大学図書館にて申請手続きをして下さい。

Tosho Ring ID 登録者数

12月～1月



12月～1月中の登録者数は、愛知県立大学40名、愛知県立芸術大学14名、愛知淑徳大学14名、名古屋外国語大学33名・名古屋学芸大学23名、合計124名でした。

募 集

第2回 Tosho Ring 図書交流会 @愛知県立大学サテライトキャンパス

共同図書環事業では「第2回 Tosho Ring 図書交流会」参加者を募集します。

第2回のテーマは、「新生活・新入生 応援のおススメの一冊」です。紹介してみませんか？

「新生活・新入生 応援のおススメの一冊」を持ち寄り、紹介し合おうという図書に関する交流会です。

- ・ジャンルは問いませんが、雑誌・漫画は不可、なるべく共同図書環から選んで下さい。
- ・図書がなくても大丈夫、書名から検索して表紙を投影しながらの紹介もできます。

日 時：平成24年3月9日(金)午後2時～4時頃

場 所：愛知県立大学サテライトキャンパス 愛知県産業労働センター ウィンクあいち 15階D教室  
名古屋市中村区名駅 4-4-38、ユニモール地下街5番出口より徒歩2分(ミッドランドスクエア裏)  
図書交流会後、1階カフェでお茶会を行います。

参加費：無料、但し、お茶会費用は自己負担

応募先：dairon@lib.aichi-pu.ac.jp

申し込み方法は、①件名「BOOK PARTY 2」として②本文に大学名・学部・学年・学籍番号・氏名を明記して上記アドレス(共同図書環事業事務局)へメールにて3月8日までに応募下さい。



## 共同図書環事務局の紹介



第5回目は共同図書環事業の事務局を紹介します。

事務局は愛知県立大学図書館の事務室、学術情報部研究支援地域連携課の一角にあります。

共同図書の発注・蔵書管理・データ作成・修理等、連携校との事業企画・会議・出張、バスツアーや図書交流会の企画・運営・各委員との会議手配そしてHP管理、研究発表、利用者ID登録、各種チラシ、広報誌 Toshi Ring News の発行等を行っています。



↑各種掲示・配布物 →



↑バスツアー



↑各種会議



↑図書交流会

## 事務局担当者から共同図書環・Toshi Ring について

共同図書環事業ではさまざまな工夫・表現・企画・展示そして学生参画等を行っています。学生選書バスツアー、学生企画委員導入、連携校教職員との講演会や演奏会など、新たな連携・協働の取り組みは、従来の図書館活動にはなかった展開をしています。今後、図書情報だけでなく学習や研究に関する知見を共有し、大学を越えて学び合えるコミュニティ形成するように、そしてより多くの学生に夢を与える知的交流の「環・Ring」となるように努めます。

## 共同図書環 事務局担当者



共同図書環の担当者・大仲は図書館司書です。Toshi Ring に書評が書き込まれると嬉しくてコメントしたくなります。連携校ではいつも新たな発見があるので、楽しく出張しています。

## 気分転換読書



お天気のいい休日はバイクで風を切って気分転換！爽快な気分の読書は鮮明な記憶になります。普段の平日は深夜、音楽を流し紅茶を飲みながらゆったり読書しています。 愛車♪DUCATI MONSTER400→



## 事務局担当者おススメの共同図書

昨年、日独が修好通商条約締結から150周年でした。さまざまなイベントが国内外で開催されました。トーマス・マンやヘルマン・ヘッセだけではない、共同図書で今、日本語で読める現代ドイツ文学を紹介します。どうぞご活用下さい。



- ・「鮮やかな影とコウモリ」(アクセル・ブラウنز著)  
自閉症者の内面世界への洞察を可能とする自伝。巻末の翻訳者解説は、著者とのやり取りが興味深いです。  
(共同図書・請求番号 940.278/B71)
- ・「兵士はどうやってグラモフォンを修理するか」  
(サーシャ・スタニチチ著) ユーゴ紛争戦禍を生き抜く少年とそこに暮らす人々の運命が綴られています。  
(共同図書・請求番号 943.7/St2)

- ・「シルフ警視と宇宙の謎」(ユーリ・ツェー著)  
哲学的な推理小説、現代ドイツを代表する作家ツェーの長編作です。(共同図書・請求番号 943.7/Z2)
- ・「カレーソーセージをめぐるレーナの物語」(ウーヴェ・ティム著)  
カレーソーセージが食べたくなります。作り方は簡単！  
(共同図書・請求番号 943.7/Ti5)



- ・「占領都市ベルリン、生贄たちも夢を見る」(ピエール・フライ著)  
ベルリンの印象とは少々異なる一面を描いた物語。  
(共同図書・請求番号 943.7/F465)
- ・「お皿監視人」(ハンス・ツイッパート著)  
ゾーヴァの挿絵入り、大人のファンタジーです。  
(共同図書・請求番号 943.7/Z4)

- ・「絵で見る十字軍物語」(塩野七生著)  
愛知県立大学佐々木学長が新年仕事始め式でお話された十字軍物語シリーズのドレの絵を通して物語る作品です。(共同図書・請求番号 230.45/Sh75)



編集者より：共同図書環事業では、連携校図書館の教職員のさまざまな発想で運営の工夫・企画等を展開しています。本号は勝手ながら事務局担当者（編集者）が好きな紫色で統一してみました。共同図書の現代外国文学を選書するときに、従妹・浅井晶子のドイツ語翻訳作品を参考にしました。あとがきや解説で彼女のドイツでの活躍を嬉しく思うと同時に、改めて現代ドイツ文学を楽しむことができました。

「館灯 50号」掲載予定

平成23年10月28日に中部大学での私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会第2回研究会にて発表した「大学連携による共同図書環の取組：学生視点に立った展示と学生の参画手法」の内容が、研究会会誌「館灯」50号掲載予定です。

掲載論文は、東海地区協議会ウェブサイト並びに国立情報学研究所のCiNiiで全文を公開予定です。(発行：平成24年3月31日) [館灯] <http://www.jaspul.org/w-kyogikai/tokai/kantou/index.html>

「大学図書館における先進的な取り組みの実践例」掲載

平成23年12月、文部科学省研究振興局情報課発行の「大学図書館における先進的な取り組みの実践例」に共同図書環事業が採択され、「利用者視点に立った図書検索システムの構築と利用者参加型の選書イベントの取り組み」として紹介されました。

[地域社会連携・国際対応]

[http://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/other/\\_icsFiles/afieldfile/2011/12/20/1314399\\_05.pdf](http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2011/12/20/1314399_05.pdf)



編集後記

寒い日が続きますが、  
いかがお過ごしでしょうか？

共同図書環では、春季休暇3月9日に第2回 図書交流会を開催します。  
より楽しい交流となるよう、名称を BOOK PARTY としました。

今年度のTosho Ring Newsは「魅せる共同図書環」というコンセプトで、各連携校図書館の色を出せるよう彩色・模様工夫し、季節感を織りこみ編集しました。何よりも魅力的な皆さまの笑顔が「魅せる共同図書環」となりました。ご協力ありがとうございました。来年度はPARTYのような明るい楽しさを加え、より魅力的な共同図書環創りに努めて参ります。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。



共同図書環事業事務局・大仲聡子

Tosho Ring News 2012 5

編集 : 共同図書環事業事務局 愛知県立大学学術情報部  
発行 : 〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間 1522-3  
問合せ先 : 共同図書環事業事務局 0561-64-1111 (内戦 6101)  
ホームページ : <http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/dairen/>  
E-Mail : [dairen@lib.aichi-pu.ac.jp](mailto:dairen@lib.aichi-pu.ac.jp)

# Tosho Ring News

Tosho Ring

Number.6

2012/4

2012

共同図書環事業

「Tosho Ring News」は「魅力ある楽しい共同図書環」をコンセプトとし、共同図書環事業関係者と連携校の皆さんとの情報誌として季刊発行しています。

## ● 「共同図書環」って???

愛知県立大学、愛知県立芸術大学、愛知淑徳大学、名古屋外国語大学・名古屋学芸大学の図書館が連携し、現在約 12,000 冊の共同図書を購入しています。連携校にある共同図書は、無料で取寄せて借りることが出来ます。小説、エッセイ、実用書、教養書などの共同図書を連携校の学生や教職員が選書しています。

## ● 「Tosho Ring」って???

Tosho Ring は、共同図書を利用するためのシステムで、既に約 4,300 名の学生・教職員が登録しています。キーワードや著者名、連携校の学生・教職員の書評からも検索でき、共同図書を選べます。書評を投稿して自分の読んだ図書を他の人におススメすることや図書についての情報交換ができます。Tosho Ring の利用には登録が必要です。所属の大学図書館で ID 申請をして下さい。

## ● 「連携校」って???

愛知県東部丘陵地帯にあるリニモ沿線の 5 大学

- 愛知県立大学
- 愛知県立芸術大学
- 愛知淑徳大学
- 名古屋外国語大学
- 名古屋学芸大学

平成 20 年度から連携事業を行っています。



愛知淑徳大学

NUFS 名古屋外国語大学



文部科学省



Tosho Ring

NUBS 名古屋学芸大学



愛知県立大学



愛知県立大学

Aichi Prefectural University

愛知県立芸術大学

Aichi Prefectural University of Arts



## ● Tosho Ring ID 登録者数

平成 23 年度の登録者数は、愛知県立大学 435 名、愛知県立芸術大学 174 名、愛知淑徳大学 121 名、名古屋外国語大学 213 名、名古屋学芸大学 193 名、合計 1,136 名でした。



## ● 共同図書館 利用の流れ ●



他にもわからないことがありましたら、所属する大学図書館カウンターでお尋ねください。

## ● 学生企画委員募集中！ ●

共同図書館事業では「学生企画委員」を募集しています！  
連携校との学生選書ツアー、図書交流会・BOOK PARTYなどの企画・運営をしてみませんか？  
連携校の学生との交流や本好きな仲間たちとの交流もできます。詳しくはお問い合わせ下さい。  
メール件名「学生企画委員」として、  
本文に大学名、学年、学籍番号、氏名を記載して下記アドレスへ5月中旬までにお申し込み下さい。  
[dairen@lib.aichi-pu.ac.jp](mailto:dairen@lib.aichi-pu.ac.jp)



## ● 学生選書ツアー 参加学生 募集予定 ●

共同図書館事業では「学生選書ツアー」を平成24年6月上旬頃に開催致します。  
近日中に募集案内を致します。  
詳しくは共同図書館HP、学内・図書館内の掲示チラシ、学内案内メール等でご確認の上、ご応募下さい。

## ● 連携校図書館 探索(名古屋外国語大学・名古屋学芸大学) ●●●●●●●●●●

←図書館南には創設者・中西憲一郎先生像、ハイタッチ！

←図書館北はコミュニケーションプラザ

↓図書館入口にはお知らせデジタルパネル

↓西側は明るいガラス壁



館内は白い壁・柱で書架との配置がおしゃれな構造→

←外国図書・外国雑誌多数蔵書（4階）

↓資格・就職関連図書（2階） ↓コミックも充実（3階）



## ● おすすめの共同図書(名古屋外国語大学・名古屋学芸大学 都築京子さん) ●●●●●●●●●●



「〇のない大人 ×だらけの子ども」(巖谷奈々著)  
(共同図書・請求番号 146.82/H89)

昨年、面白い書名に惹かれ職員選書しました。  
ちょっとしたことにも自分に〇をつけて、気持ちを楽  
にできるようになりました。

## ● 二十歳のころに読んだ図書 ●●●●●●●●●●

恩田陸著作を友人に勧められて読み始め、図書情報交換をしていました。

「六番目の小夜子」「夜のピクニック」「訪問者」  
「きのうの世界」「図書室の海」など共同図書環  
には恩田陸著作を17冊所蔵しています。  
(共同図書・請求番号 913.6/65)



## ● 思い出の図書館 ●●●●●●●●●●

中・高等学校の学校図書館。ロフト式階段を上がり、隠れ家的にひっそり読書していました。

## 共同事業

昨年は東日本大震災において、絆・命を日本全体で考え行動する年でした。平成23年度の共同図書環事業では、東北と震災に関連する図書を展示することにより、東北の自然・文学・震災・防災などについて各自で考えようという共同図書のテーマ展示「・・・私たちにできることは何か？」を行いました。

平成24年度はそのテーマを継承して「つなげる“いのち”－ワタシがダレカを救うとき」として、共同図書の巡回展示を連携校図書館で行います。

### 共同図書環と日本赤十字社がコラボ！

日本赤十字社愛知血液センターとの関連事業も行います。ぜひご参加・ご協力下さい！巡回展示時期・関連事業開催については、共同図書環HP、学内・図書館内の掲示チラシや学内案内メールなどでお知らせします。



共同図書環の トリィ

日本赤十字社のけんけつちゃん

## 編集後記

Tosho Ring News 6号をお届けします。6号は名古屋外国語大学・名古屋学芸大学を取材させていただきました。ご協力ありがとうございました。

平成24年度は「魅力ある楽しい共同図書環」をコンセプトとして、学生選書ツアーや図書交流会・BOOK PARTY、共同図書巡回展示、関連事業等を運営していきます。

Tosho Ring News では、共同図書環事業に携わる関係者や図書紹介・情報提供や交流の場として、連携校の皆さんへ“ステキ@Lib.”な情報誌を今年度からは季刊発行します。

これからも共同図書環事業の多岐にわたる活動を伝えていきたいと思っております。

どうぞよろしくお願ひします。

共同図書環事業事務局 大仲聡子

編集 : 共同図書環事業事務局 愛知県立大学学術情報部  
発行 : 〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間 1522-3  
問合せ先 : 共同図書環事業事務局 0561-64-1111 (内線 6101)  
ホームページ : <http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/dairen/>  
E-Mail : [dairen@lib.aichi-pu.ac.jp](mailto:dairen@lib.aichi-pu.ac.jp)

Tosho Ring News 2012 6号

# Tosho Ring News

Tosho Ring

Number.7  
2012/7

2012

共同図書環事業

「Tosho Ring News」は「魅力ある楽しい共同図書環」をコンセプトとし、共同図書環事業関係者と連携校の皆さんとの情報誌として季刊発行しています。

## ● Tosho Ring ID 登録者数 ●

平成24年度4月～6月の登録者数は、愛知県立大学198名、愛知県立芸術大学120名、愛知淑徳大学51名、名古屋外国語大学81名、名古屋学芸大学68名、合計518名でした。

## ● 学生選書ツアー & BOOK PARTY 3報告 ●

平成24年6月13日午後2時より、名古屋市中村区の三省堂書店 JR タカシマヤ店で学生選書ツアーを行いました。参加者23名で、合計292冊を選書しました。



### ● 店内選書風景 ●

(三省堂書店内)



学生選書ツアーの後、午後4時頃より、愛知県立大学サテライトキャンパスで選書した図書を一冊持ち寄り、その本のおススメ話をするBOOK PARTY 3を開催しました。参加者16名（職員4名、学生12名）で16冊の紹介でした。

## ● BOOK PARTY 3 風景 ●

(愛知県立大学サテライトキャンパス内)



夏休み前に各連携校図書館へ納品されますので、お楽しみに！

## ● 新聞記事に掲載 ●

(中日新聞 2012.6.15 朝刊)

大学図書館の購入  
学生自ら選びます

県立大生「購入が実益」は芸術書な  
参加一人1冊の手と冊を購へ、本が  
嫌な中で選んだ、好きなので選んだが案  
学生の意見交換会 しかた(と話し)。  
「学生選書ツアー」(図書リング)も開かれ、それが購入したは  
「学生選書ツアー」加予県立大、県立芸術大は本選心説明 各大学の図書館共同  
とであった。 術大、愛知淑徳大、名古屋学芸大、名市立大、有明大、(船橋開世)

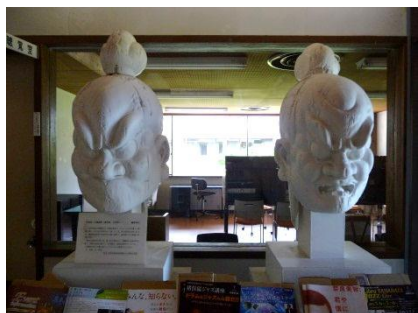
古くから、名古屋外文化センターの加藤紀  
関大の学生「購入が実益」は芸術書な  
参加一人1冊の手と冊を購へ、本が  
嫌な中で選んだ、好きなので選んだが案  
学生の意見交換会 しかた(と話し)。  
「学生選書ツアー」(図書リング)も開かれ、それが購入したは  
「学生選書ツアー」加予県立大、県立芸術大は本選心説明 各大学の図書館共同  
とであった。 術大、愛知淑徳大、名古屋学芸大、名市立大、有明大、(船橋開世)

購入した本を読んで語り合う学生会一  
村区の県立大サテライトキャンパスで



## ● 連携校図書館 探索(愛知県立芸術大学) ●●●●●●●●●●

金剛力士 阿形と吽形の石膏像頭部がお出迎え！



大迫力！



美術館情報も満載！



館内展示も芸術的



未来の大演奏家とすれ違うかも？

館内天井も芸術的！



広々とした丘陵の中にあるステキ@Lib. な県芸大です。

## ● おすすめの共同図書(愛知県立芸術大学 中島 圭さん) ●●●●●●●●●●



「通天閣」(西加奈子著)  
 (共同図書・請求番号 913.6/N81)  
 「草祭」(恒川光太郎著)  
 (共同図書・請求番号 913.6/Ts77)

どちらも小品で読みやすい良作です。小気味よい日本語で紡がれる物語に、いつの間にか引き込まれます。

## ● 二十歳のころに読んだ図書 ●●●●●●●●●●

時間にゆとりのあった大学時代は、「銀の匙」(中勘助著)「大地の子」(山崎豊子著)などの名作・大作をすすんで読み、教養を付けようと心掛けていました。

共同図書環には山崎豊子著を8冊所蔵しています。  
 (共同図書・請求番号 913.6/Y43)



## ● 思い出の図書館 ●●●●●●●●●●

子ども時代によく通った地域の公共図書館「瀬戸市立図書館」は、「自分の巣」のように思っていました。

北川民次の陶板の外壁が美しく、老若男女 多くの市民の憩いの場となっています。





# Tosho Ring News

Tosho Ring

Number.8

2012/10

2012

## 共同図書環事業

「Tosho Ring News」は「魅力ある楽しい共同図書環」をコンセプトとし、共同図書環事業関係者と連携校の皆さんとの情報誌として季刊発行しています。

### Tosho Ring ID 登録者数

平成24年度7月～9月の登録者数は、愛知県立大学55名、愛知県立芸術大学22名、愛知淑徳大学22名、名古屋外国語大学53名、名古屋学芸大学37名、合計189名でした。

### BOOK PARTY 4 報告

平成24年7月5日午後5時より、愛知県立芸術大学図書館視覚室でBOOK PARTY 4「夜の図書館@県芸大 こわ～い本」を行いました。参加者13名で、19冊が紹介されました。室内を暗くして懐中電灯で図書を照らしながら紹介しました。

### 夜の図書館 こわ～い本紹介



(愛知県立芸術大学 図書館 視覚室内)

### 新聞掲載

#### 怖い本語り合って夕涼み



真っ暗な部屋の中でそれぞれの「怖い本」を紹介しあう参加者—長久手市の県立芸術大で

県立芸術大「図書リング」で読書会  
長久手市の県立芸術大「図書リング」で読書会  
大で、学生や教職員が分野の「怖さ」を語り  
お互い入りの怖い本を、合った。  
持ち寄る「夜の図書」互いに本を離通し合  
館」があった。十人が「図書艇ネットワ  
参加。カーテンを締め「図書リング」に参加  
切って真っ暗にした部 する大空間で交流を  
屋で、オカルトやミス ろつと、長久手市  
(原田晋也)

の五大学が連携して開  
いているブックパー  
ティの一環  
名画の残骸な背景や  
解釈を紹介する本「怖  
い絵」を紹介した県立  
芸術大 5月の内山実  
菜さん(こは)は、いろん  
な怖さがあるところ  
話した。と話して

(中日新聞 2012. 7. 12 朝刊)

### 出張 報告

- 中部大学へ学生選書ツアー・CAN コンソーシアム等の先進事例調査に行きました。
- 中京大学で開催された東海地区大学図書館総会・研究会に参加しました。



中部大学  
三浦記念図書館



中京大学  
名古屋キャンパス





# 共同図書 巡回展示

共同図書環事業では、平成24年度「共同図書巡回展示企画」を行っています。

## 企画テーマ「つなげる“いのち”－ワタシがダレカを救うとき」

昨年は東日本大震災において、絆・命を日本全体で考え行動する年でした。

平成23年度の共同図書環事業では、東北と震災に関連する図書を展示することにより、東北の自然・文学・震災・防災などについて各自で考えようという共同図書のテーマ展示「・・・私たちにできることは何か？」を行いました。

平成24年度はそのテーマを継承して「つなげる“いのち”－ワタシがダレカを救うとき」として、献血やドナー登録等の基礎情報・知識習得を目的とした共同図書巡回展示を連携校図書館で行っています。

### 日本赤十字社のけんけつちゃん



- 6月22日～ 7月20日
- 8月 7日～ 8月28日
- 9月 3日～ 9月21日
- 10月15日～11月15日
- 12月 (未定)

- 愛知県立芸術大学
- 愛知淑徳大学(長久手)
- 愛知淑徳大学(星が丘)
- 名外大学・名学芸大学
- 愛知県立大学

## 共同図書環と日本赤十字社がコラボ!

- 巡回展示時期には、各連携校図書館にて「トリイの葉」を配布させていただきます。(各館により配布場所は異なります。)どうぞ読書のおともにご活用下さい。
- 数に限りがありますのでお早目にどうぞ!



## 新聞掲載

### 県芸大での関連事業記事

(中日新聞 2012. 6. 29 朝刊)

## 共同図書環・トリイの葉

約50冊の共同図書を巡回展示・貸出をしています。命のために何かをしたい、協力したい、何をすればいいのかわからない。この機会に人道的協力について一緒に考えてみませんか?

- 名古屋外国語大学・名古屋学芸大学では、共同図書巡回展示期間に学園祭があり、図書館でもさまざまな関連活動が行われます。
- 上映会「人間を救うのは、人間だ」10/22～10/31
- BOOK TALK「人間を救うのは、人間だ」10/27
- 献血活動 (by ユネスコクラブ) 10/27
- 東日本震災関連イベント 10/28 (by 名古屋学芸大学青年赤十字奉仕団ハートフルエデ) 参加自由です、どうぞお出かけください!



## ● 連携校図書館 探索(愛知淑徳大学) ●●●●●●●●●●●●●●●●●●

第8回目は愛知淑徳大学図書館の紹介です。

長久手と星が丘のキャンパスにそれぞれ図書館があります。そして両館にマルチメディアリソース室があります。これは映像・音声資料を利用する視聴覚ライブラリーです。長久手の同室は、今年度春にリニューアルオープン！白で統一された室内は明るく広々としています！所蔵数は長久手1万点、星が丘5千点、設備は長久手38ブース、星が丘20ブースです。各学部・研究科のカリキュラムにそった資料を幅広く揃え、学習・研究をサポートしています。○長久手キャンパス マルチメディアリソース室

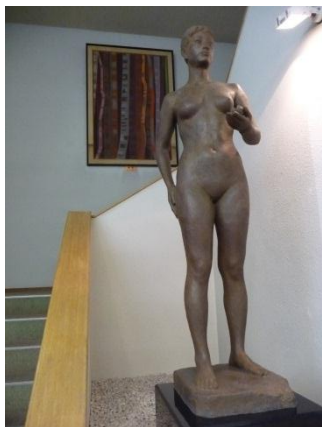


## ● 星が丘キャンパスの共同図書 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●

星が丘では共同図書の0～3類を排架しています。

## ● 長久手キャンパスの芸術品 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●

長久手の1階には永井浩作のブロンズ像や階段には絵画の展示があります。



## ● 愛知淑徳大学での共同図書 巡回展示 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●



←長久手では、図書館入口正面にて共同図書巡回展示を行いました。(8/7～8/28)



星が丘では、1号館4階図書館ガラス側壁面にて共同図書→巡回展示を行いました。(9/3～9/21)

## ● 図書館学生サポーター・Lib.Mates ●●●●●●●●●●●●●●●●●●

図書館学生サポーターとしてLib.Mates (リブメイツ) が、長久手24名、星が丘2名で今年度活動中です。

Lib.let (りぶれっと) はLib.Mates 編集の図書館広報季刊誌です。年4回発行しています。

学生視点から愛知淑徳大学図書館を紹介しています。

12月発行の9号には共同図書環の特集記事が掲載予定です。



● BOOK PARTY 5 参加者 募集中！ ●

「もぎもぎ 秋の本まつり @ 県大」

11月21日（水）午後2時～4時頃まで

読書の秋、県大 学術文化交流センターで BOOK PARTY 5 を開催します！



テーマは「おいしい本」です。



料理やお菓子の本ばかりでなく、小説・絵本・詩などなど・・・食事風景、美味しい食べ物が登場したり、甘いお話し？など、食欲の秋におススメの食に関する「おいしい本」をご紹介します！！



メール件名「BOOK PARTY 5」として、11月20日までに、

本文に大学名、学年、学籍番号、氏名を記載して下記アドレスにお申し込み下さい。

● 学生企画委員募集中！ ●

共同図書環事業では「学生企画委員」を随時募集しています！

連携校との図書交流会・BOOK PARTY などの企画・運営をしてみませんか？

連携校の学生との交流や本好きな仲間たちとの交流もできます。詳しくはお問い合わせ下さい。

メール件名「学生企画委員」として、

本文に大学名、学年、学籍番号、氏名を記載して下記アドレスにお申し込み下さい。

● 申込み共通アドレス ●

[dairen@lib.aichi-pu.ac.jp](mailto:dairen@lib.aichi-pu.ac.jp)



● 編集後記 ●

Tosho Ring News 8号をお届けします。8号では“ステキ@Lib.”な愛知淑徳大学です。図書館探索・共同図書巡回展示の取材にご協力いただきありがとうございました。

「読書の秋」到来です！平成21年10月19日にTosho Ringは起動開始し、今年で3歳になります。蔵書も約14,000冊、書評も約1,900件になりました。皆様の読書力で共同図書環はすくすく元気に育っています！これからも魅力ある楽しい共同図書環づくりに努めます。

共同図書環事業事務局 大仲聡子

編集 : 共同図書環事業事務局 愛知県立大学学術情報部  
発行 : 〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間 1522-3  
問合せ先 : 共同図書環事業事務局 0561-64-1111 (内線 6101)  
ホームページ : <http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/dairen/>  
E-Mail : [dairen@lib.aichi-pu.ac.jp](mailto:dairen@lib.aichi-pu.ac.jp)

Tosho Ring News 2012 8号

# Tosho Ring News

Tosho Ring

Number.9

2013/1

2013

共同図書環事業

「Tosho Ring News」は「魅力ある楽しい共同図書環」をコンセプトとし、共同図書環事業関係者と連携校の皆さんとの情報誌として季刊発行しています。

## ● Tosho Ring ID 登録者数 ●

平成24年度10月～12月の登録者数は、愛知県立大学91名、愛知県立芸術大学33名、愛知淑徳大学75名、名古屋外国語大学74名、名古屋学芸大学36名、合計309名でした。

## ● BOOK PARTY 5 報告 ●

平成24年11月21日午後2時より、愛知県立大学 学術文化交流センターでBOOK PARTY 5「もぎもぎ秋の本祭り @県大 おいしい本」を行いました。参加者10名で、13冊が紹介されました。食べ物画像も片手に本を紹介しました。

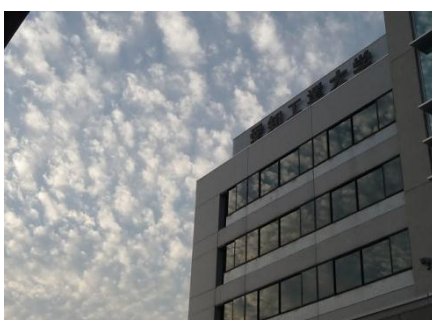
### ●もぎもぎ おいしい本紹介●



(愛知県立大学 学術文化交流センター内)

## ● 出張 報告 ●

- 愛知工業大学 八草キャンパスへイメージキャラクター等の先進事例調査に行きました。



愛知工業大学  
八草キャンパス



先進事例調査  
共同図書環関係職員  
WAKAMARU と記念撮影



## ● **連携校図書館 探索(愛知県立大学)** ●●●●●●●●●●●●●●●●●●

第9回目は愛知県立大学 長久手キャンパス図書館の紹介です。



共同図書環コーナーは開放的な高い吹き抜け天井です。音が響かず、分散する構造になっています。

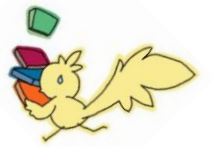
共同図書環コーナーにはゆったりとしたソファがあります。昼休みには職員もくつろいで共同図書を愛読しています。



## ● **貴重図書コレクション** ●●●●●●●●●●●●●●●●●●

国語国文学関係図書を始め、古典籍中心に約4,700点を所蔵しています。「古排書」等の貴重書をデジタル化しWeb公開する作業を進めています。下記URLで順次公開しています！

<http://opac1.aichi-pu.ac.jp/kicho/index.html>



## ● **図書館学生サポーター・apul-s** ●●●●●●●●●●●●●●●●●●

図書館学生サポーターとしてapul-s(アップルズ)が、18名活動中です。講義の合間などに書架整理、図書修繕、展示手伝い等のボランティア活動を行っています。

## ● **愛知県立大学での共同図書 巡回展示** ●●●●●●●●●●●●●●●●●●



←長久手キャンパス図書館一階共同図書環コーナーにて巡回展示を行いました。(12/6~1/11)

### ● **おすすめの共同図書(愛知県立大学 白井再次課長)** ●

- ・「山登りはじめました」  
めざせ!富士山編(鈴木ともこ著)  
(共同図書・請求番号726.1/Su96)
- ・「山のぼりはじめました2」  
いくぞ!屋久島編(鈴木ともこ著)  
(共同図書・請求番号726.1/Su96/2)
- ・「私の日本地図」(宮本常一著)  
(共同図書・請求番号291.09/Mi77/14)



## ● **図書館での思い出** ●●●●●●●●●●●●●●●●●●

学生の頃、冬は授業が終わってアパートに帰っても寒いので図書館に閉館間際までいました。窓から雪をかぶったポプラ並木を眺めながら、本を読んでほっこりとしたかっただのかと思います。当時はインターネットもなかったですから。まさか今でも図書館にいて働いているとは思いませんでした。



# ● BOOK PARTY 6 参加者 募集中! ●

## 「一目惚れ、@ 愛知淑徳大学」

### 2月26日（火）午後1時～3時頃まで

愛知淑徳大学 星が丘キャンパス  
1号館交流ラウンジ（WEST）で  
BOOK PARTY 6を開催します！

テーマは「一目惚れ、」です。

本の装丁がステキなデザインの本をご紹介します。

ステキな表紙、珍しい表紙、本表紙とカバーの違いが面白い本などなど・・・いわゆる表紙  
買い・ジャケ買い（借り）したという本。「一目惚れの本」をご紹介します！！  
参加ご希望の方は、メール件名「BOOK PARTY 6」として、2月25日までに、  
本文に大学名、学年、学籍番号、氏名を記載して [dairen@lib.aichi-pu.ac.jp](mailto:dairen@lib.aichi-pu.ac.jp)  
へお申込み下さい。



LOVE LOVE

# ● 編集後記 ●

Tosho Ring News 9号をお届けします。9号では“ステキ@Lib.”な 愛知県立大学です。  
図書館探索・共同図書巡回展示・BOOK PARTY5の取材にご協力いただきありがとうございました。

今年度の Tosho Ring News は「魅力ある楽しい共同図書環」というコンセプトで、水玉を基調  
にしたデザインで明るく楽しい雰囲気編集しました。イベントとしては4回の楽しいBOOK PARTY  
をし、さまざまなテーマで本の紹介ができました。これからも学生企画委員とともに楽しい BOOK  
PARTY を開催していきます。

また巡回展示企画では日本赤十字社とコラボし、命・人道的協力について考えることができま  
した。多くの時間を費やして下さった日本赤十字社、活動協力について様々のご意見とご配慮  
を下さった連携校の皆様、この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。  
巡回展示という新たな試みからは、さまざまなものを得ることが出来ました。本企画で得たもの  
を来年度さらに効果的に活用できる企画を実現していきたいです。

これからもより魅力的な共同図書環創りに努めて参ります。  
今後ともどうぞよろしくお願い致します。

共同図書環事業事務局 大仲聡子

編 集 : 共同図書環事業事務局 愛知県立大学学術情報部  
発 行 : 〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間 1522-3  
問 合 せ 先 : 共同図書環事業事務局 0561-64-1111 (内線 6101)  
ホ-ムペ-ジ : <http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/dairen/>  
E - Mail : [dairen@lib.aichi-pu.ac.jp](mailto:dairen@lib.aichi-pu.ac.jp)

Tosho Ring News 2012 9号

# Tosho Ring News

## 2013

Tosho  
Ring

Number. 10

2013/4

### 共同図書環事業

「Tosho Ring News」は「魅力ある楽しい共同図書環」をコンセプトとし、共同図書環事業関係者と連携校の皆さんとの情報誌として季刊発行しています。

#### ▲▼「共同図書環」って???

愛知県立大学、愛知県立芸術大学、愛知淑徳大学、名古屋外国語大学・名古屋学芸大学の図書館が連携し、現在約15,000冊の共同図書を購入しています。連携校にある共同図書は、無料で取寄せて借りることが出来ます。小説、エッセイ、実用書、教養書などの共同図書を連携校の学生や教職員が選書しています。

#### ▲▼「Tosho Ring」って???

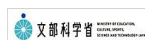
Tosho Ringは、共同図書を利用するためのシステムで、既に約5,500名の学生・教職員が登録しています。キーワードや著者名、連携校の学生・教職員の書評からも検索でき、共同図書を選べます。書評を投稿して自分の読んだ図書を他の人におススメすることや図書についての情報交換ができます。Tosho Ringの利用には登録が必要です。所属の大学図書館でID申請をして下さい。

#### ▲▼「連携校」って???

愛知県東部丘陵地帯にあるリニモ沿線の5大学

- 愛知県立大学
- 愛知県立芸術大学
- 愛知淑徳大学
- 名古屋外国語大学
- 名古屋学芸大学

平成20年度から連携事業を行っています。  
平成23年度から「共同図書環事業」として、  
事業継承して活動しています。



#### ▲▼ Tosho Ring ID 登録者数

平成24年度の登録者数は、愛知県立大学379名、愛知県立芸術大学193名、愛知淑徳大学161名、名古屋外国語大学227名、名古屋学芸大学150名、合計1110名でした。



# 共同図書環 利用の流れ



他にもわからないことがありましたら、所属する大学図書館カウンターでお尋ねください。

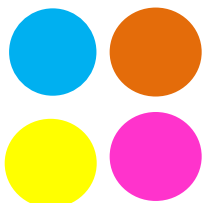
## BOOK PARTY6 報告

平成25年2月26日午後1時より、愛知淑徳大学星が丘キャンパス1号館交流ラウンジ WEST（4階）でBOOK PARTY6「一目惚れ、」を行ないました。参加者11名で、34冊が紹介されました。素敵な装丁、驚きのしかけ図書が紹介され、終了後は楽しくお茶会をしました。



## 新聞掲載！（朝日新聞）

平成25年1月27日の朝日新聞（全国版）朝刊「ブックサーフィン・読書クラブ通信」に共同図書環の5大学交流についての学生投稿記事が掲載されました→



どくしょ応援団

みんなのための  
Book Surfing

# ブックサーフィン

読書クラブ  
通信

愛知県立大など5大学  
共同図書環で交流

「BOOK PARTY」の参加者ら  
(前列左端が松林さん)

名古屋東部丘陵地域の5大学、愛知県立大、愛知県立芸術大、愛知淑徳大、名古屋外国語大、名古屋学芸大の図書館では、既存の図書とは別に共同購入した蔵書の貸し借り、様々なイベント、展示などを実施する「共同図書環」という連携事業を行っています。

私たち12人の5大学学生企画委員は、共同購入図書と学生との交流イベント「BOOK PARTY」を企画しています。昨年11月のテーマは「もぎもぎ秋の本まつり」。愛知県立大で、食べ物にまつわる思い入れのある本を持ってきた人たちが集まり、お茶会を兼ねて語り合いました。次回2月のテーマは「ひとめ惚れ」。愛知淑徳大で、ステキなデザイン、装丁の本を紹介する会となる予定です。そのほか共同図書環公式サイトでは、5大学の登録者が書き込める書評、コメントなどによる交流もしています。

(松林真衣・愛知県立大3年)

# ▲▼ 連携校 探索 名古屋外国語大学・名古屋学芸大学 ▼▲▼▲▼▲

第10回は名古屋外国語大学・名古屋学芸大学の紹介です。

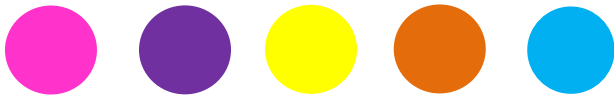
大学マーク入りブックマーク、ペーパーナイフ、メモ帳等オシャレなデザインの大学グッズがあります。→

図書館では、雨の日だけのお楽しみ、特製ビニールバッグが配布されます。

オリジナル イベント「スタンプラリー」開催中です！

共同図書を読んで、Tosho Ringへ書評投稿してオリジナルグッズをもらいましょう！

《詳しくは図書館カウンターでお尋ねください》



## ▲▼ オススメ図書 ▼▲▼▲▼▲

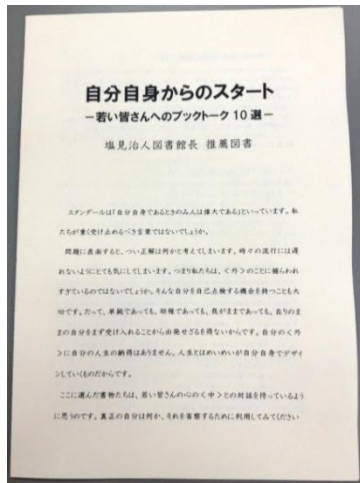


図書館長・塩見治人先生推薦図書

「自分自身からのスタート」

-若い皆さんへのブックトーク10選-

- ・「悩む力」(姜尚中著)  
(共同図書・請求番号 149/Ka43)
  - ・「入社一年目の教科書」(岩瀬大輔著)  
(共同図書・請求番号 159.4/I96)
- など10冊です。



↑塩見先生書評 配布中



「真正の自分は何か、それを省察するために利用してみてください」～塩見先生のお言葉より、どうぞご活用下さい！

## ▲▼ 共同図書ラベル ▼▲▼▲▼▲

名古屋外国語大学・名古屋学芸大学で選書された共同図書はオレンジ色のラベルです。

書架には連携校から図書取寄せ交流の証として4色のラベルが混在しています。

自館で所蔵していない共同図書はTosho Ring 検索画面から無料取寄せできます。









# 共同図書 巡回展示

共同図書環事業 平成25年度 共同図書巡回展示企画



## 企画テーマ「世界へ踏み出す最初的一步～地球市民になる～」

平成23年3月11日の東日本大震災を受け、本事業では平成23年度「・・・私たちにできることは何か？」をテーマとし、東北と震災に関連する共同図書展示を行いました。平成24年度はそのテーマを継承して「つなげる“いのち”－ワタシがダレカを救うとき」として、医療基礎情報・知識習得・奉仕・人道的協力活動を目的とし、日本赤十字社と協賛した共同図書巡回展示を行いました。

そして平成25年度はその意を継承して、多角的な視点を身に付け、幅広い分野にまたがる普遍的な知の習得目的として「JICA 中部（独立行政法人国際協力機構）」と協力して国際協力・国際貢献・フェアトレード関連の共同図書の巡回展示を行います。



### 【巡回展示期間・大学】



- 6月26日～ 7月26日 愛知県立芸術大学
- 8月19日～ 9月 6日 愛知淑徳大学 長久手キャンパス
- 9月11日～ 9月27日 愛知淑徳大学 星が丘キャンパス
- 10月 7日～11月 7日 名古屋外国語大学・名古屋学芸大学
- 11月18日～12月27日 愛知県立大学 長久手キャンパス

巡回展示時期に JICA 中部のイベント案内やパンフレットなども同時展示・配布しています。

「トリイの葉」も配布します！（配布場所は各大学図書館により異なります。）

グローバルの波に乗りどんどん変化していく“世界”。  
で学び、研究する分野が何であっても、異文化交流  
や相互理解の精神は様々な場面で求められています。  
単に世界を知るというだけではなく、広い世界へと  
一歩踏み出すためには？ 共同図書巡回展示の本を読んで考えてみませんか？



共同図書巡回展示はあいちトリエンナーレ2013のパートナーシップ事業となりました。

# 愛知県立芸術大学での共同図書巡回展示



平成25年6月27日より、愛知県立芸術大学図書館2階開架室にて共同図書巡回展示を行っています。

「100円からできる国際協力」「世界を考えるデザイン」「世界の市場」など約70冊の共同図書を巡回展示・貸出をしています。

この機会にどうぞご利用ください。

巡回展示装飾：愛知県立芸術大学図書館  
ボランティア LIB LAB 内山

## 募集!

### BOOK PARTY@愛知県立大学 長久手キャンパス 現在募集中!

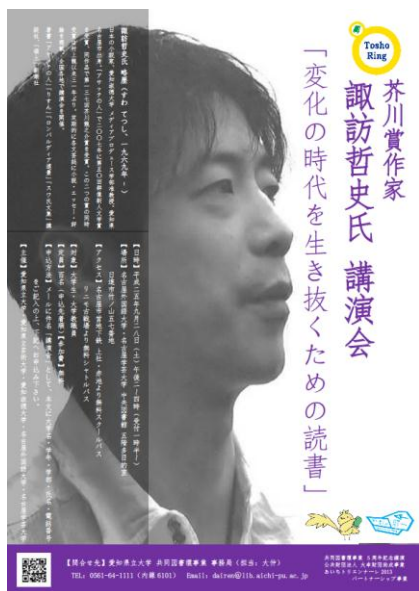
平成25年7月10日(水)午後1時~ 長久手キャンパスラウンジ(第2食堂2階)  
 テーマ:「自然・人」 自然が登場する図書の紹介してください。  
 参加希望の方は、メール件名「BOOK PARTY」として、  
 7月9日までに大学名、学年、学籍番号、氏名を記載して  
 下記アドレスへお申込みください。



### BOOK PARTY@愛知淑徳大学 星が丘キャンパス

平成25年9月13日(金)、星が丘キャンパス1号館交流ラウンジ(WEST)で開催予定です。  
 近日中に募集案内を出しますので、詳しくは共同図書環 HP、学内、図書館内の掲示チラシ、学内案内メール等でご確認ください。

### 芥川賞作家・諏訪哲史氏講演会! 現在募集中!



共同図書環5周年を記念して平成25年9月28日(土)午後2時~  
 名古屋外国語大学・名古屋学芸大学 中央図書館 5階多目的室にて、  
 芥川賞作家・愛知淑徳大学准教授 諏訪哲史氏による講演会を開催します。  
 図書、読書、文学、図書館などについてのお話を交え「変化ある時代を生き抜く読書」を展望する試みです。

大学生・教職員対象の無料講演で、定員100名(先着順)  
 参加ご希望の方は、メール件名「講演会」として、  
 9月27日までに大学名、学年、学籍番号、氏名を記載して  
 下記アドレスへお申込みください。

#### 申込共通アドレス

[dairen@lib.aichi-pu.ac.jp](mailto:dairen@lib.aichi-pu.ac.jp)



## 編集後記

Tocho Ring News 11号をお届けします。愛知県立芸術大学図書館を取材させていただきました。  
 連携校探索・共同図書巡回展示装飾品制作・展示にご協力ありがとうございました。  
 新緑に包まれた若い芸術家の森は、いつも爽やかな風に包まれています。その中で巡回展示装飾  
 が生まれました。どうぞ巡回展示の図書とともに魅力ある装飾もご覧ください。

共同図書環事業は、独立行政法人国際協力機構(JICA 中部)とあいちトリエンナーレ2013の  
 パートナーシップ事業として協力していきます。

共同図書環事業事務局 大仲聡子

Tocho Ring News 2013 11号

編集 : 共同図書環事業事務局 愛知県立大学学術情報部  
 発行 : 〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間 1522-3  
 問合せ先 : 共同図書環事業事務局 0561-64-1111 (内線 6101)  
 ホ-ムペ-ジ : <http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/dairen/>  
 E-Mail : [dairen@lib.aichi-pu.ac.jp](mailto:dairen@lib.aichi-pu.ac.jp)





## ▲▼ 連携校 探索 愛知淑徳大学 ▼▲▼▲▼▲▼▲

第12回は愛知淑徳大学の紹介です。

大学名入りのフリクションペンやクルトガ（シャーペン）、お弁当箱、クリアケースなど、さまざまな大学オリジナルグッズがあります。（オープンキャンパス配付グッズを含む）。鮮やかな青「PRIDE OF BLUE」を基調色としたロゴ入りのデザインが目を惹きます。



## ▲▼ Lib. Mates (リブメイツ) 図書館ボランティア ▼▲▼▲▼▲▼▼

愛知淑徳大学には、図書館学生サポーターとして、Lib. Mates（リブメイツ）が長久手33名、星が丘5名で今年度活動中です。『Lib. let（りぶれっと）』を年4回編集・発行しています。このほか図書展示そして共同図書環活動協力をしています。

《BOOK PARTY のミーティング中》

## ▲▼ 2013 BOOK PARTY @ 愛知淑徳大学 ▼▲

平成25年9月13日（金）午後1時より、愛知淑徳大学星が丘キャンパス1号館 交流ラウンジ WESTにてBOOK PARTY テーマ「ミステリー」を開催しました。参加者15名、紹介図書21点でした。図書の話題中心に和気藹々としたお茶会もできました。



## ▲▼ おすすめ図書 ▼▲ (BOOK PARTY 参加のリブメイツ よい)



「名前探しの放課後」上・下  
辻村深月 著  
これから起こる“誰か”の自殺を止めるため名前を探し始めます。

「オリエント急行とパンドラの匣」はやみね かおる 著  
パンドラの匣を手にするのはいったい誰だ？  
「キング&クイーン」柳 広司 著  
見えていたはずのものが全て裏返る。迫真の心理戦！



「凍りのクジラ」  
辻村深月 著  
各章がドラえものの道具になっています。

このほか、

「真夏の方程式」東野圭吾 著  
「樂園のカンヴァス」原田マハ 著  
「少女」湊かなえ 著 などが紹介されました。





# 募集!

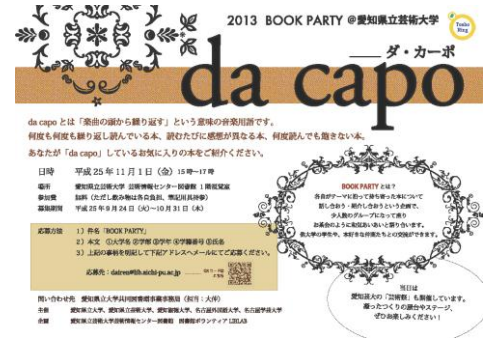
## BOOK PARTY @ 愛知県立芸術大学

現在募集中!

平成25年11月1日(金)午後3時~5時 愛知県立芸術大学 図書館1階視覚室  
 テーマ「da capo (ダ・カーポ)」繰り返し読んでいる図書をご紹介します。  
 参加希望の方は、メール件名「BOOK PARTY」として、  
 10月31日までに大学名、学年、学籍番号、氏名を記載して  
 下記アドレスへお申込みください。

### 申込アドレス

[dairen@lib.aichi-pu.ac.jp](mailto:dairen@lib.aichi-pu.ac.jp)



# お知らせ!

## BOOK TALK @ 名古屋外国語大学・名古屋学芸大学

名古屋外国語大学 亀山郁夫学長のBOOK TALKを開催します。

日時:平成25年10月26日(土)午前11時~12時

会場:名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館

テーマ:「ロシアの文化と文学~あなたにとってロシアは、

今も“近くて遠い国”ですか？」

当日は大学祭を行っていますので、お気軽にご参加ください。

図書館5階にて、亀山学長の著作展を10月21日より開催します。

(詳細・問合せ:10月21日より名古屋外国語大学 図書館ウェブサイト)にあり)



# 編集後記

Tosho Ring News 12号をお届けします。愛知淑徳大学図書館を取材させていただきました。連携校探索・共同図書巡回展示、BOOK PARTYにご協力ありがとうございました。

いつも明るい笑顔のリブメイツさん達。これからも明るい図書活動を期待します!巡回展示では共同図書環マスコットのトリイが民族衣装をまとって図書案内?をしています。国際協力・貢献・フェアトレードについて考えてみませんか?

共同図書環事業は、独立行政法人国際協力機構(JICA 中部)とあいちトリエンナーレ2013のパートナーシップ事業として協力していきます。

共同図書環事業事務局 大仲聡子

Tosho Ring News 2013 12号

編集 : 共同図書環事業事務局 愛知県立大学学術情報部  
 発行 : 〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間 1522-3  
 問合せ先 : 共同図書環事業事務局 0561-64-1111 (内線 6101)  
 ホ-ムペ-ジ : <http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/dairen/>  
 E-Mail : [dairen@lib.aichi-pu.ac.jp](mailto:dairen@lib.aichi-pu.ac.jp)



## ▲▼ 連携校 探索 愛知県立大学 ▼▲▼▲▼▲▼▲

第13回は愛知県立大学のグッズ紹介です。

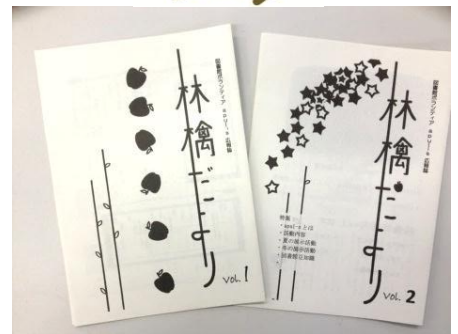


大学名・マーク入りクリアファイル、紙製バック等のシンプルなデザインの大学グッズがあります。大学のマークは愛知県の花・カキツバタがデザインされて、紫色が基調となっています。



## ▲▼ aplu-s(アップルス)図書館サポーター ▼▲

愛知県立大学には、図書館学生サポーターとしてaplus(アップルス)が長久手15名活動中です。『林檎だより』を年1回編集・発行しています。このほか講義の合間などに書架整理、図書修繕、企画展示をしています。



## ▲▼ 学術機関リポジトリ ▼▲

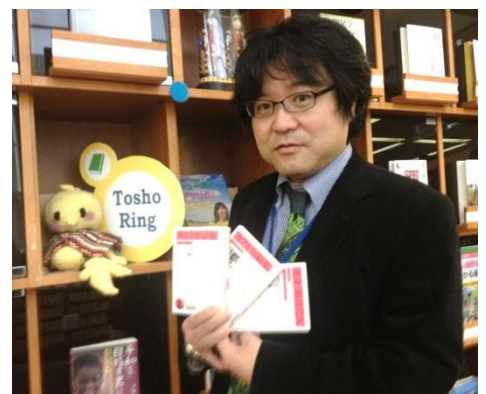


愛知県立大学学術リポジトリ  
Aichi Prefectural University Academic Repository

平成25年10月より愛知県立大学の学術成果物を公開するために、学術機関リポジトリを開設しました。右記URLで公開しています。<https://aichi-pu.repo.nii.ac.jp/>

## ▲▼ オススメの共同図書 (長久手キャンパス荻田主査) ▼▲

カフカは不思議な作家です。チェコに生まれ、ドイツ語で書き、自身はユダヤ人。作品は、片手で持てるぐらい寡作なのに、世界中で出版された関連書籍の数は、優に1つの図書館ができるほどです。カフカの謎めいた作品に接すると、読者は無限のイマジネーションを触発され何かを語らずにはいられなくなるようです。今年は、カフカ生誕130周年に当たります。この機会に、敢えてカフカの迷宮に迷い込んでみてはいかがでしょうか。



- ・『変身・断食芸人』 F. カフカ著 (山下肇、山下万里訳) 岩波文庫  
[共同図書・請求記号: 943/Ka15]
- ・『カフカ短篇集』 F. カフカ著 (池内紀編訳) 岩波文庫  
[共同図書・請求記号: 943.7/Ka15]
- ・『カフカ寓話集』 F. カフカ著 (池内紀編訳) 岩波文庫  
[共同図書・請求記号: 943.7/Ka15]
- ・『絶望名人カフカの人生論』 (頭木弘樹編訳) 飛鳥新社  
[共同図書・請求記号: 945.7/Ka15]
- ・『カフカ「断食芸人」〈わたし〉のこと』 (三原弟平著) みすず書房  
[共同図書・請求記号: 943.7/Mi17]





## お知らせ

### 「至福と共苦の旅」@ 名古屋外国語大学・名古屋学芸大学

名古屋外国語大学 亀山郁夫学長の全著作展を図書館5階にて展示開催しています。(～12月21日(土)入館無料)

ロシア文化・ロシア文学の研究者である亀山学長の研究活動を振り返ると同時に、少年期からの全体像を捉えようとする企画展です。著書、訳書のほか、中学時代の作文や大学時代の読書ノート等 これまでほとんど紹介されなかった資料も展示します。



### 図書館総合展 ポスターセッション 報告

平成25年10月29日～31日、パシフィコ横浜での第15回図書館総合展(3日間の来場者数:29,963名)の「ポスターセッション」に出展しました。全国の図書館関係者が集うこの展示会で共同図書環事業は企画・成果・報告等をまとめ、展示発表しました。

#### 展示ポスター



### 編集後記

Tosho Ring News 13号をお届けします。愛知県立大学図書館を取材させていただきました。連携校探索・おススメ本紹介・共同図書巡回展示にご協力ありがとうございました。

共同図書環事業は、大学間連携そして読書推進・学生交流が本業です。図書館総合展で成果発表できるような内容のことを日常業務としている幸せを感じました。



共同図書環事業事務局 大仲聡子



Tosho Ring News 2013 13号

編集 : 共同図書環事業事務局 愛知県立大学学術情報部  
 発行 : 〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間 1522-3  
 問合せ先 : 共同図書環事業事務局 0561-64-1111 (内線 6101)  
 ホームページ : <http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/dairen/>  
 E-Mail : [dairen@lib.aichi-pu.ac.jp](mailto:dairen@lib.aichi-pu.ac.jp)



# BOOK PARTY 冊子



	時期	名称	開催会場	テーマ	参加者・図書数
1	H23 秋	BOOK PARTY 1	名古屋外国語大学・名古屋学芸大学	おススメの一冊	15名 / 34冊
2	H23 春	BOOK PARTY 2	愛知県立大学サテライトキャンパス	新入学・新生活応援の一冊	8名 / 19冊
3	H24 夏	BOOK PARTY 3	愛知県立大学サテライトキャンパス	選書の一冊	16名 / 16冊
4	H24 夏	BOOK PARTY 4	愛知県立芸術大学	夜の図書館 こわ〜い本	13名 / 19冊
5	H24 秋	BOOK PARTY 5	愛知県立大学長久手キャンパス	もぎもぎ秋の本祭り	10名 / 13冊
6	H24 冬	BOOK PARTY 6	愛知淑徳大学星が丘キャンパス	一目惚れ、	11名 / 34冊
7	H25 夏	2013BOOK PARTY @愛知県立大学	愛知県立大学長久手キャンパス	自然・人	4名 / 7冊
8	H25 夏	2013BOOK PARTY @愛知淑徳大学	愛知淑徳大学星が丘キャンパス	ミステリー	15名 / 21冊
9	H25 秋	2013BOOK PARTY @愛知県立芸術大学	愛知県立芸術大学	da capo (ダ・カーポ)	8名 / 16冊



学生編集 共同図書館事業関係掲載冊子

平成24年度



愛知県立大学 学生出版会「aps！」2012 Vol.4

愛知淑徳大学 図書館広報誌「Lib.let」9号

平成25年度



愛知県立大学 学生出版会「aps！」2013 Vol.7

愛知淑徳大学 図書館広報誌「Lib.let」13号

新聞掲載記事

平成23年度

**共同で本の購入ツアー**  
 図書選書部 図書リング蔵書選ぶ



自分が選んだ本の魅力を語る参加者一名名古屋市千種区の書店で

職員からアドバイザーを受けながら計三百六十一冊を選んだ。書店に随分、それぞれ選んだ本の概要や魅力を説明する意見交換もあつた。

参加は二百日という県立外国語学専攻一年の小栗万生子さん(こがし まんし)は、知識集や英語のお話を聞いたり、十七冊を購入。「大学や学生が購入した本を通じて交流できたら」とうれしそうに話した。

図書は、七月中に本を選定し学生の大学に配架されるが、「図書リング」を通じて図書館間での融通ができる。(原田晋也)

毎年開かれておけ五日、リニモ拍攝の五

平成23年6月23日  
 中日新聞(なごや東版)朝刊  
 中日新聞社許諾済み

**街ダス** 学生

**本の選び方にも個性**

愛知県内の県立大、愛知淑徳大、愛知淑徳大、名古屋外国語大、名古屋学芸大の五大学は図書部の本の一部を共有し、いずれの大学の学生も使えるようにしている。新しい共有図書を生きかたを企画「学生選書バスツアー」が六月行われ、ツアーの運営を手伝う学生と教職員約三十人が参加し、ちくさ正文館書店(名古屋)

**学生選書バスツアー**  
 愛知県立大2年 松林 真衣



市へ、一時間半の限を決めてきた人、直感で選んだ書籍と一人当たりに選入、じっくり内容を確認する人など個性が表れていた。大層の本を揃えた表情は一種に染みわたった。学生同士の間を繋ぐために意見交換も行われた。お気に入りの一冊を持ち寄り、選んだ理由を話す。「好きな作家さんだから」「自分の生活に役立つ」となると目を輝かせて紹介、盛り上がった。

私が紹介したのは村上春樹さんの『トワイライヴ』。神楽を舞台にした小説で、引きが事件を解決する内容だ。自分が選んだ本を他の学生に読んでもらった方がいい。

限られた時間と予算の中で思い入れのある本を選ぶ参加者たち一名名古屋市千種区のちくさ正文館書店で

平成25年7月12日  
 中日新聞(名古屋版)朝刊  
 「学生之新聞」  
 中日新聞社許諾済み

平成24年度



平成24年6月15日  
 中日新聞 (なごや東版) 朝刊  
 中日新聞社許諾済み



平成24年7月12日  
 中日新聞 (なごや東版) 朝刊  
 中日新聞社許諾済み



平成24年6月29日  
 中日新聞 (なごや東版) 朝刊  
 中日新聞社許諾済み



平成25年1月27日  
 朝日新聞 (全国版) 朝刊  
 承諾書番号 A13-3160

平成25年度

## 大学図書館 交流の輪

### 「図書リング」に5校参加

「図書リング」は、各大学図書館が連携して、学生が自由に蔵書を選べるという。参加校は、愛知淑徳大、名古屋外語大、名古屋学芸大、日進市竹の山、名古屋学芸大の5校。各校の蔵書を共有し、学生が自由に選べるという。参加校は、愛知淑徳大、名古屋外語大、名古屋学芸大、日進市竹の山、名古屋学芸大の5校。各校の蔵書を共有し、学生が自由に選べるという。

貸し借り自由 ■ 学生合同で蔵書選び




平成25年6月7日  
朝日新聞（名古屋版）朝刊  
承諾書番号 A13-3160

諏訪哲史さん講演会 芥川賞作家で愛知淑徳大准教授、諏訪哲史さんの講演会が9月28日後2から、名古屋外国語大と名古屋学芸大の図書館（愛知県日進市竹の山）で開かれる。他大を含む大学生と大学教職員が対象。先着100人。無料。メールで愛知県立大の共同図書課事務局に申し込む。 郵 同事務局＝電0561(64)1111

平成25年8月27日  
中日新聞（名古屋版）朝刊  
中日新聞社許諾済み

講演会  
◆諏訪哲史氏講演会  
9月28日14時、日進市竹の山の名古屋外国語大・名古屋学芸大中央図書館5階多目的室。芥川賞作家で愛知淑徳大准教授の諏訪哲史さんが、「変化の時代を生き抜くための読書」と題した講演を行う。大学生と大学教職員が対象。無料。電子約（メール）、先着100人。問い合わせは、愛知県立大共同図書課事務局（0561-641111）。地下鉄上社駅が赤池駅から無料スクールバス、リニモ長久手古戦場駅から徒歩10分。シャトルバス運行。

平成25年8月30日  
毎日新聞（名古屋版）朝刊  
毎日新聞社許諾済み

### 10冊を購入

#### 図書リング参加の5大共通書ツアー

ネットワーキング（Networks）に参加している

尾張旭で雑誌配達6日午後8時ごろ、尾張旭市北山のフロンティアで、女性2人が店を閉めて帰ろうとしたところ、裏口付近で2人組の男に包丁を突きつけられ、一店を閉めた。店の1人が逃げ出し、2人は逃走した。名古屋・守山署によ

尾張旭で雑誌配達6日午後8時ごろ、尾張旭市北山のフロンティアで、女性2人が店を閉めて帰ろうとしたところ、裏口付近で2人組の男に包丁を突きつけられ、一店を閉めた。店の1人が逃げ出し、2人は逃走した。名古屋・守山署によ

平成25年6月7日  
中日新聞（なごや東版）朝刊  
中日新聞社許諾済み

## 読書は時代超えて

### 芥川賞作家 諏訪さん講演

井川賞作家の諏訪哲史「いたものが小説」と話した。

日進市竹の山の名古屋外国語大・名古屋学芸大図書館であり、諏訪さんは学生ら百人を前に「自分の絶対的孤独の中に全身を浸して書

講演会は両大のほかに、愛知淑徳大が主催して開いた。諏訪さん、5大が共同図書を購入したり、無料で取り寄せて借りたりする。

諏訪さんは「古典は非常に孤独ななかには、自分が自分の中から排出したものが書かれる」と語った。

（並木智子）

平成25年9月29日  
中日新聞（なごや東版）朝刊  
中日新聞社許諾済み

# 》》》共同図書環事業報告書

## 2011》》》2013

共同図書環事業ホームページはこちら》》》



平成 20 年度戦略的大学連携支援事業ホームページはこちら  
(この事業報告書はホームページからダウンロードできます。)

》》》



問合せ先 : 愛知県立大学 学術情報部 研究支援・地域連携課  
発行 : 〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間1522-3  
共同図書環事業事務局 0561-64-1111 (内線6101)  
ホームページ : <http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/dairen/>  
E-Mail : [dairen@lib.aichi-pu.ac.jp](mailto:dairen@lib.aichi-pu.ac.jp)